

^{デジタルカメラ} **D850** 使用説明書

- ・製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- •「安全上のご注意」(xページ)も必ずお読みになり、 正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管 してください。





お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してか ら正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られ るところに必ず保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用く ださい。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

○ 使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

表記について

- XQDメモリーカードを「XQDカード」と表記し、SDメモリーカード、SDHCメ モリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
 説明が「XQDカード」と「SDカード」で共通の場合は「メモリーカード」と表記しています。
- この使用説明書では、スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と 表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- この使用説明書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を 行っています。

☆安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはロx~xiiiをご覧ください。

D850の説明書について

このカメラには、次の3種類の説明書が用意されています。

使用説明書(本書) D850 基本操作や特徴的な機能について説明しています。 メニューガイド (PDF)

メニューの詳細やパソコン、プリンター、テレビと の接続などが詳しく記載されています。 メニューガイド (PDF) はニコンダウンロードセン ターからダウンロードできます。

ニコン ダウンロードセンター D850 🔍

https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/359/D850.html

オンラインマニュアル (HTML)

使用説明書とメニューガイドの内容をオンライン で確認することができます。 B850

下記のホームページにアクセスしてください。

ニコン オンラインマニュアル D850 🔍

https://onlinemanual.nikonimglib.com/d850/ja/

カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認して ください。万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡く ださい。





□ ボディーキャップ BF-1B (□ 18、287)

- □ D850カメラ本体(□1)
- □ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15a(端子カバー付)(□13、15)
- □ バッテリーチャージャー MH-25a (電源プラグ(直付け型)付)(□13)
- □ HDMI/USBケーブルクリップ(□289)
- □ USBケーブルUC-E22
- □ ストラップAN-DC18 (□13)
- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- メモリーカードは別売です。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。

☑ ニコンダウンロードセンターについて

デジタルカメラやニッコールレンズ、スピードライトなどの説明書、ファーム ウェアおよびNX Studioなどのソフトウェアをダウンロードできます。 https://downloadcenter.nikonimglib.com/

- □ 保証書
- □ 使用説明書(本書)
- SnapBridge接続ガイド (一眼レフカメラ用)

目次

カメラと付属品を確認する	ii
安全上のご注意	x
ご確認ください	xiv
お使いになる前に	1
各部の名称と機能	1
カメラ本体	1
表示パネル	5
ファインダー	6
視度調節ノブ	8
チルト式画像モニター	9
タッチパネル	11
撮影前の準備	13
撮影前の準備をする	13
ストラップを取り付ける	13
バッテリーを充電する	13
カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる	15
レンズを取り付ける	18
日付と時刻を設定する	20
基本操作	23
	23
メニュー項目の設定	24
撮影と再生の基本操作	28
バッテリーとメモリーカードの残量を確認する…	28
かんたんに静止画を撮影する	30
撮影した画像を確認する	32

オートフォーカスで撮影する	38
AF モードを変更する	
AF エリアモードを変更する	40
マニュアルフォーカスで撮影する	
i ボタンを使う	
2 点拡大	47
サイレント撮影(静止画 Lv)	
ネガフィルムデジタイズ	
情報表示について	
表示を切り換える	
タッチシャッターで静止画を撮影する	55
動画撮影と再生	58
インデックスマーキングについて	60

インデックスマ・	ーキングについて	50
i ボタンを使う		51
動画撮影時の撮	象範囲について	54
[画像サイズ / フ	レームレート] および	
[動画の画質]	について	55
情報表示につい	ζθ	57
表示を切り換え	る€	59
動画撮影時の静	上画撮影	70
動画の再生		74
動画の編集		76
動画の必要な部分	分を残す	76
動画の1フレー	ムを JPEG 画像として保存する 8	30

110

81
86
89
91

フォーカス

オートフォーカスで撮影する	92
AF モードを変更する	
AF エリアモードを変更する	
フォーカスポイントを自分で選ぶ	103
ピントを固定して撮影する(フォーカスロック)) 105
マニュアルフォーカスで撮影する	108

レリーズモード

1 コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、レリーズモードを	
変更する	110
連続撮影速度について	111
セルフタイマーを使って撮影する(心)	113
ミラーアップして撮影する (Mup)	115
ISO 感度 1	16
	116
感度自動制御機能を使う	118

測光モードを設定する	121
シャッタースピードや絞り値で露出を設定する	
(露出モード)	123
P (プログラムオート)	124
S (シャッター優先オート)	125
A (絞り優先オート)	126
M (マニュアル)	128
長時間露出で撮影する(露出モード M のみ)	130
シャッタースピードと絞り値をロックする	133
AE ロックして露出を固定する	135
露出補正して画像の明るさを調整する	137
オートブラケティングで露出や調光、ホワイトバランス、	
アクティブ D- ライティングを変えながら撮影する	140

151

ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更する	151
ホワイトバランスを微調整する	155
色温度設定で色温度を指定する	157
プリセットマニュアルで基準となる白を設定する	159
ファインダー撮影時にプリセットマニュアル	
データを新規取得する	160
ライブビュー時にスポットホワイトバランスで	
プリセットマニュアルデータを取得する	164
プリセットマニュアルデータを管理する	167

ピクチャーコントロールを使って画像の仕上がりを	
簡単に設定したり、思い通りに調整する	170
ピクチャーコントロールを選ぶ	170
ピクチャーコントロールを調整する	172
白とびや黒つぶれを抑えて撮影する	175
アクティブ D- ライティングで撮影する	175
HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う	177

スピードライトをカメラに装着して撮影する 182

別売スピードライトをカメラに装着して撮影する	182
カメラに装着したスピードライトの発光モードを	
設定する	185
フラッシュモードを設定する	187
フラッシュモードを切り換える	188
調光補正してフラッシュの発光量を変更する	189
FV ロックして調光量を固定する	191
カメラに装着したスピードライトの設定を確認する	193
各発光モードの表示について	193
別売スピードライトのシステム構成	197

撮影の便利な機能

198

🔤 ボタンを使う	198
インフォ画面表示中にボタンと	
コマンドダイヤルで設定を変更する	201
i ボタンを使う	202
ツーボタンリセットで基本的な機能を初期設定に戻す	203
ピント位置を変えながら連続撮影する	
(フォーカスシフト撮影)	206
非 CPU レンズを使う(レンズ情報手動設定)	212
位置情報を画像に記録する	215

画像を再生する	217
1 コマ表示モード	217
サムネイル表示モード	217
画像再生時のボタン操作	218
再生時にタッチパネルでできること	220
i ボタンを使う	222
画像情報を表示する	223
画像を拡大表示する	232
プロテクトで画像を削除できないように保護をする…	234
画像にレーティングを設定する	235
スマートフォンに取り込みたい画像をカメラで	
送信指定する	236
表示中の画像を送信指定する	236
複数の画像をまとめて送信指定する	237
画像を削除する	238

メニュー一覧

🖉 メニューについて

メニューの詳細については、当社ホームページに用意されているメニューガイド(□□i)をご覧ください。

▶ 再生メニュー	241
✿ 静止画撮影メニュー	243
🕊 動画撮影メニュー	249
∮ カスタムメニュー	253
♀ セットアップメニュー	263
┫ 画像編集メニュー	269
🗄 マイメニュー / 🗐 最近設定した項目	271

使用できるレンズ	272
ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)	
について	280
使用できるアクセサリー	287
別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D18 に	
ついて	290
カメラのお手入れについて	302
保管について	302
クリーニングについて	302
撮像素子のお手入れについて	303
撮像素子前面をブロアーで掃除する	305
カメラとバッテリーの使用上のご注意	309
チャージャーの使用上のご注意	314
故障かな?と思ったら	315
警告メッセージ	323
主な仕様	332
AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR 使用説明書	344
使用できるメモリーカード	352
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数	353
撮影可能コマ数(電池寿命)について	356
索引	358
修理サービスのご案内	366
ニコンプラザについて	367

▼ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめしま す。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがありま す。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象と なりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセ サリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご 確認ください(ロxiv)。

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

⚠️ 危険	「死亡または重傷を負うおそれが大きい内 容」です。
▲ 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内 容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや財産の損害が発生する おそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



	▲ 警告
	 歩きながらや運転しながらの操作はしない 事故やけがの原因になります。
S 分解 禁止	ク解、修理または改造をしない 落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電やけがの原因になります。
9 実行	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電 源を取り外す 放置すると、発火、やけどの原因になります。
○ 禁止	水でぬらさない ぬれた手で触らない ゆれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電や発火の原因になります。
── 禁止	電源を入れたまま長時間直接触らない 低温やけどの原因になります。



xi



禁止 夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や発火の原因になります。



<u> </u>	告(電池について)
----------	-----------

○ 禁止	電池を乳幼児の手の届く所に置かない 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
○ 禁止	電池をペットなどが触れる場所に置かない 噛みつきなどにより、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
○ 禁止	水につけたり、雨にぬらしたりしない 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。
○ 禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない リチャージャブルバッテリー EN-EL15aは、所定の時間を超えて も充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
● 実行	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニー ルテーブなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただく か、自治体の規則に従って廃棄してください。
り 実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で 洗い流す 放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買 い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご 購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」を お受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになりま す。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

https://www.nikon-image.com/support/

●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常 に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害 (撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご容赦 願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャー ジャー、ACアダプターなど)に適合するように作られておりますので、当社製品 との組み合わせでお使いください。

 Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL15aには、ニコン純正 品であることを示すホログラムシールが貼られています。



- ・
 様倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が 発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発 火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能
 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書およびメニューガイドについて

- 使用説明書およびメニューガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- •「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作 権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的で あっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありま すのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、 完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使っ てデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使って データを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空 や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に 破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、 無線LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー [**カメラの初期化**]を行って削除してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使 用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます)
- (ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾 されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

https://www.mpegla.com をご参照ください。

■ Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能について

●電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域に よって、法律によりWi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機能が使用できない場 合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載の ニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 本製品のWi-Fi (無線LAN) およびBluetoothの無線機能は、2.4 GHz 帯の周波数 を使用します。





Wi-Fi (無線LAN) 機能: 2.4DS2/OF2

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式は DS-SS、OFDM、与干渉距離は約20mです。

Bluetooth機能: 2.4FH2/XX2

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式は FH-SS、その他の方式、与干渉距離は約20mです。

本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす

- •本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - アマチュア無線局(免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信 の途絶が双方に生じることがあります。

- •本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアク セスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局 に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、 本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合 わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
 データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の 発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

●本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機器としてお使いください。 Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任 を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求 される用途には使わないでください。
- Wi-Fi および Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

●セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続 が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行ってい ない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス: 悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりす まし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュ リティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な 方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用 ください。
- スマートフォンに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

●本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米 国法の対象です。EAR の輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シ リア:変更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許 可は不要です。

●個人情報の管理および免責事項

- ・使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi(無線 LAN)接続設定 等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他 の取り扱いで変化、消失する場合があります。 必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害 および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー [カメラの初期化] で工場出荷時の設定にリセットしてください(印268)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は 一切の責任を負いません。

お使いになる前に

各部の名称と機能

<u>カメラ本体</u>



1	QUALボタン87、90、203
2	レリーズモードダイヤル
	ロックボタン110
3	レリーズモードダイヤル110
4	ストラップ取り付け部
	(吊り金具)13
5	WB ボタン153、158
6	MODE ボタン123
7	O ボタン122
8	マイク(ステレオ)

10 電源スイッチ	9	動画撮影ボタン58、260
 シャッターボタン	10	電源スイッチ 3、15、20
12 図ボタン 137、203 13 ISO (空回) ボタン 116、120 14 表示パネル 5 15 視度調節ノブ 8 16 -> 距離基準マーク 109 17 フラッシュ取り付け部 (アクセサリーシュー) 182	11	シャッターボタン
13 ISO (∞) ボタン 116、120 14 表示パネル 5 15 視度調節ノブ 8 16 → 距離基準マーク 109 17 フラッシュ取り付け部 (アクセサリーシュー) 182	12	ビボタン 137、203
 14 表示パネル	13	ISO (丽) ボタン 116、120
 15 視度調節ノブ	14	表示パネル5
 16 ↔ 距離基準マーク109 17 フラッシュ取り付け部 (アクセサリーシュー)	15	視度調節ノブ8
17 フラッシュ取り付け部 (アクセサリーシュー)182	16	↔ 距離基準マーク109
(アクセサリーシュー)182	17	フラッシュ取り付け部
		(アクセサリーシュー)182

<u>カメラ本体(つづき)</u>



🖉 端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤 作動の原因となることがあります。



✓ 表示パネルの照明(イルミネーター)について 電源スイッチを塗マークの方向に 回すと、表示パネルとボタンのイル ミネーター(照明)が点灯し、電源 スイッチを放すと、数秒間点灯し続 けます。ただし、シャッターをきる か、もう一度塗マークの方向に回す と消灯します。・ ボタン照明が点灯すると、暗い場 所で操作しやすくなります。

カメラ本体(つづき)



▼ スピーカーについてのご注意

スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れること があります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。

<u>表示パネル</u>

カメラの電源をONにすると、表示パネルが点灯します。表示パネルに はカメラの設定に関するさまざまな情報が表示されます。

初めて電源をONにしたときは、次の情報が表示されます。その他の情報については、本文中の各機能で説明しています。



🖉 📖マークについて

表示パネルで mosa が点滅している場合、カメラの内蔵時計が初期化されていま す。その場合は撮影日時が正しく記録されないため、セットアップメニュー [地 域と日時](□263)の [日時の設定]で日時設定をしてください。カメラの内 蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリー を入れるか、別売のパワーコネクターとACアダプターを接続すると、時計用電 池が充電されます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約3カ 月の間時計を動かすことができます。 ファインダー(説明のため、全ての表示を点灯させています)



ISO感度マーク116	23	絞り込み段数マーク 126、275
感度自動制御設定マーク118	24	インジケーター
ISO感度116		露出129
ホワイトバランスプリセット		露出補正137
マニュアルデータ取得モード	25	バッテリー警告表示
表示160	26	オートブラケティング
アクティブD-ライティング		マーク141
度合い表示		WBブラケティングマーク145
AFエリアモード100		ADLブラケティングマーク148
1000コマ以上補助表示	27	記録可能コマ数29、353
レディーライト*4		連続撮影可能コマ数 112、353
		露出補正値137
FVロックマーク191		調光補正量189
フラッシュシンクロマーク259		PC接続中マーク
	ISO感度マーク 116 感度自動制御設定マーク 118 ISO感度 116 ホワイトバランスプリセット 116 マニュアルデータ取得モード 160 アクティブD-ライティング 度合い表示 AFエリアモード 100 1000コマ以上補助表示 29 レディーライト*4 182、191、337 FVロックマーク 191 フラッシュシンクロマーク 259	ISO感度マーク 116 23 感度自動制御設定マーク 118 24 ISO感度 116 116 ホワイトバランスブリセット 25 表示 160 26 アクティブD-ライティング 26 度合い表示 100 AFエリアモード 100 1000コマ以上補助表示 29 レディーライト*4 182、191、337 FVロックマーク 191 フラッシュシンクロマーク 259

※1 カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能](□260)で、[ファインダー 内水準器]を割り当てたボタンを押したときに水準器インジケーターを表示 します。

- ※2 カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ピッチング方向の水準器になります。
- ※3 カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ローリング方向の水準器になります。
- ※4 別売のスピードライト(□280)使用時のみ点灯します。スピードライトの 充電が完了してフラッシュ撮影できることを示します。

▼ ファインダーについてのご注意

カメラにバッテリーが入っていない、またはバッテリー残量がない状態では、ファ インダー内が暗くなります。充電したバッテリーを入れると明るくなります。

▶ 高温、低温下での液晶表示について

表示パネルやファインダーの液晶表示は、高温・低温下で色の濃さが変わった り、低温下で応答速度が多少遅くなることがありますが、常温時には正常に戻 ります。

視度調節ノブ

視度調節ノブを回すと、ファインダー内が はっきり見えるように調節できます。

 ノブを引き出し、ファインダーをのぞきな がら視度調節ノブを回して、フォーカスポ イントまたはAFエリアフレームの枠が最も はっきり見えるように調節してください。





- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- 調節が終わった後は、視度調節ノブを押し込んで戻してください。





<u>チルト式画像モニター</u>

このカメラの画像モニターは、角度を変えて使えます。



通常の撮影

通常の撮影では、画像モニターを収納している状態 でお使いください。



ローアングル撮影 ライブビュー撮影時にモニター 画面を上に向けると、カメラを低い位置に構えて撮影できます。





ハイアングル撮影 ライブビュー撮影時にモニター 画面を下に向けると、カメラを高 い位置に構えて撮影できます。





▼ チルト式画像モニター取り扱い上のご注意

- ・ 画像モニターの角度を変える場合は、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。無理な力がかかると、カメラ本体や画像モニターの破損の原因となります。
- 画像モニターの内側には触れないでください。
 故障の原因となります。
- ・
 ・
 画像モニターの内側に水などの液体がかからない ようにご注意ください。
 故障の原因となります。
- 撮影時以外は、画像モニターをカメラ本体に収 納することをおすすめします。
- 画像モニター部分を掴んで、カメラを持ち上げたりしないでください。カメラが破損することがあります。
- 三脚使用時には、画像モニターが三脚に接触しないように注意しながら角度を変えてください。



特にこの部分には 触れないでください。

<u>タッチパネル</u>

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に タッチして操作できます。操作方法は次の通りです。

フリック

タッチパネルを指で左右に払う操作です。



スライド

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動 かす操作です。



広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の 間隔を広げたり、つまむように狭めたりする 操作です。



☑ タッチ操作の有効/無効について

セットアップメニュー [**タッチ操作**](口266)で、タッチ操作の有効/無効を 切り換えられます。

🖉 関連ページ

次の画像を表示するときのフリックの方向を変更する → ¥ [タッチ操作](□266)

■ タッチ操作でできること

再生時(□220)

- 前後の画像を表示する
- •静止画を拡大/縮小表示する
- サムネイル表示する
- 動画を再生する

ライブビュー撮影時

- タッチシャッターで静止画を撮影する(ロ55)
- スポットホワイトバランスでプリセットマニュアルデータを取得 する(四164)

その他

- メニューの操作をする(□23)
- ・
 iボタンを押したときの操作をする
 (□ 44、61、202、222)
- 文字を入力する (凹265)

▼ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

▼ タッチパネル操作時のご注意

- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。
- スライド/広げる/つまむ操作時に次の操作をすると、適切に動作しないことが あります。
 - タッチパネルをはじく
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい





<u>ストラップを取り付ける</u>

ストラップの取り付け手順は次の通りです。



<u>バッテリーを充電する</u>

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15aは、お使いになる 前に付属のバッテリーチャージャー MH-25aでフル充電してください。 ・電源プラグ(直付け型)を取り付けた後(①)、電源プラグ(直付け 型)回転ロックを矢印の方向にスライドさせながら(②)、電源プラ グ(直付け型)を90°回転させ、しっかりと固定させます(③)。

電源プラグ (直付け型)

▶ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(ロx)、「カメラとバッテリーの使用上のご注意」(ロ309)をお読みになり、記載事項をお守りください。

 フル充電するには約2時間35分かかります(残量のないバッテリーの 場合)。



▼ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く(1秒間に8回)点滅する 場合の原因と対処方法

- バッテリーのセットミス:電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーを 取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- 指定温度外での使用:チャージャーを指定温度範囲内(0℃~40℃)でお使い ください。

上記の処置をしても不具合が続く場合は、直ちに電源プラグをコンセントから 抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャー ジャーおよびバッテリーをお持ちください。

▶ 付属の電源プラグ(直付け型)についてのご注意

付属の電源ブラグ(直付け型)は、バッテリーチャージャー MH-25a以外の機器 に接続しないでください。この電源ブラグ(直付け型)は、日本国内専用(AC 100V対応)です。海外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別 売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。ま た、オンラインショップ(ニコンダイレクト)<u>https://shop.nikon-image.com/</u> でもお求めいただけます。

<u>カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる</u>

- バッテリーやメモリーカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- バッテリーとメモリーカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。



バッテリーロックレバー

メモリーカードは、カチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。

- XQDカードの場合:





▼ メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やメモリーカードの故障の原因となります。
 - メモリーカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- メモリーカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- •曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- •熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

🖉 SDカードの書き込み禁止スイッチについて

 SDカードには、書き込み禁止スイッチ が付いています。このスイッチを 「LOCK」の位置にすると、データの書 き込みや削除が禁止され、カード内の 画像を保護できます。



書き込み禁止スイッチ

 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告 メッセージが表示され、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは 「LOCK」を解除してください。

🖉 メモリーカードが入っていないときの表示について

メモリーカードが入っていないときは、表示パ ネルとファインダー内表示の記録可能コマ数 表示部に[-**{-**]マークが表示されます。電源を OFFにしても、バッテリー残量があるときは、 表示パネルの[-**{-**]マークは点灯します。


■ バッテリーとメモリーカードの取り出し方

バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてからバッテリー室カバーを 開けてください。バッテリーロックレバーを矢 印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出し ますので、引き抜いて取り出してください。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードアクセスランプの消灯を確認し、電源をOFFにしてから メモリーカードカバーを開けてください。

- XQDカードを取り出すときは、メモリーカードイジェクトレバーを奥に押し込みます
 (①)。カードが押し出されるので引き抜いてください(②)。
- SDカードを取り出すときは、カードを奥に 押し込んでから放します(①)。カードが押 し出されるので引き抜いてください(②)。



SDカードの場合





<u>レンズを取り付ける</u>

- この使用説明書では、主にAF-S NIKKOR 50mm f/1.4Gのレンズを使用して説明しています。
- •ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



• 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

🖉 レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレ ンズ取り外しボタンを押しながら(①)、レンズ を矢印の方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜 いてください。

 レンズを取り外した後は、カメラのボディー キャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付 けてください。



☑ 絞りリングのあるCPUレンズについてのご注意

絞りリングのあるCPUレンズ(□275)を取り付ける場合は、最小絞り(最大 値)にして、ロックしてください。

日付と時刻を設定する

カメラの内蔵時計を合わせます。画像に正しい日時を記録するために、 お使いになる前に次の手順で場所と日時を設定してください。



- セットアップメニューの [地域と日時]を選んでマルチセレクターの()を押す
 - ご購入後、初めて電源をONにして MENUボタンを押したときは、セット アップメニュー画面で [地域と日時] が選ばれています。
 - メニューの操作方法については、「メニューの操作方法」をご覧ください (ロ23)。



MENUボタン



SnapBridgeを使ってスマートフォンに接続する

お使いのスマートフォンにSnapBridge アプリをインストールす ると、カメラからスマートフォンへの撮影画像の送信やスマート フォンを使ったリモート撮影などを行うことができます。詳しく は付属の「SnapBridge接続ガイド(一眼レフカメラ用)」をご覧 ください。



- [地域と日時] 画面で [現在地の設定] を選びます。
- [現在地の設定] 画面で表示される地図 上で、現在地が黄色くハイライトされ るようにしてから、∞ボタンを押して ください。
- 世界地図の上に選択中のタイムゾーン に含まれる主な都市名や、UTC(協定 世界時)との時差が表示されます。



- [地域と日時] 画面で [**夏時間の設定**] を選びます。
- ・現在地で夏時間(サマータイム)制を 実施しているときは、「する」に、実施 していないときは [しない]にして、
 ◎ボタンを押してください。







• [する] にすると、[しない] のときよりも時刻が1時間進みます。

5日付と時刻を合わせる

- [地域と日時] 画面で [**日時の設定**] を 選びます。
- ●[日時の設定]画面でマルチセレクター を操作して現在地の日時に合わせてか ら、∞ボタンを押してください。



6日付の表示順を選ぶ

- [地域と日時] 画面で [**日付の表示順**] を選びます。
- ●画像モニターに表示する日付の年、月、
 日の表示順を選んで®ボタンを押します。

7 メニュー操作を終了する

 シャッターボタンを半押しする(軽く 押す)と、メニュー操作を終了して、 撮影できる状態になります。





基本操作

メニューの操作方法

撮影や再生、カメラの基本的な設定をすると きは、主にメニューを使います。 MENUボタンを押すと、画像モニターに次のよ うなメニュー画面(例:セットアップメ ニュー)を表示します。





<u>メニュー項目の設定</u>

メニューの操作には、マルチセレクターと®ボタンを使います。タッチ パネルで操作することもできます。



🖉 ⑦(ヘルプあり表示)

ヘルブがある場合に**〇・・**(ご)/?)ボタンを押すと、その項目のヘルプ(説明)を表示します。

- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの⊕を押して、次のページ を表示してください。
- もう一度Om(ご)ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



■ メニュー項目の設定方法

- 1 メニュー画面を表示する
 - MENUボタンを押します。





3 メニューを切り換える

・・●または・●を押して、メニューのタブを切り換えます。



4 選んだメニューに入る

●を押して、選んだメニューに入ります。



	再生メニュー	
	削除	卣
÷	再生フォルダー設定	ALL
	非表示設定	~
4	再生画面設定	
1	画像コピー	
	撮影直後の画像確認	0FF
	削除後の次再生画像	
?	連続撮影後の再生画像	

5 メニュー項目を選ぶ

・③または
 ・で項目を選びます。



	再生メニュー	
	削除	卣
÷.	再生フォルダー設定	ALL
	非表示設定	~
4	再生画面設定	
Ţ	画像コピー	
	撮影直後の画像確認	OFF
13	削除後の次再生画像	
	連続撮影後の再生画像	

6 設定内容を表示する

 ・
 ・
 を押して設定内容を表示
 します。





7 設定内容を選ぶ
 ・ ③または ④ で設定内容を選びます。





8 決定する

- ●ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル(中止)する には、MENUボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、 シャッターボタンを半押ししてくだ さい。



®ボタン

▼ メニュー項目の設定について

- カメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- ◎ボタンの代わりにマルチセレクターの ③ や中央ボタンを押しても決定できますが、画像の削除やメモリーカードの初期化などの重要な設定項目については、 ◎ボタンしか使えない項目があります。

■ タッチパネルでのメニュー項目の設定方法

このカメラの画像モニターは、指で画面にタッチして次のメニュー操作 ができます。

メニューをスクロールする

上下にスライドすると、メニュー画面をスク ロールします。

メニューを切り換える

画面左端のアイコンにタッチすると、選んだ アイコンのメニュー画面が表示されます。



	再生メニュー	
	削除	Ó
1	再生フォルダー設定	ALL
	非表示設定	~
4	再生画面設定	
	画像コピー	
	撮影直後の画像確認	0FF
	削除後の次再生画像	□ø _≥
	連続撮影後の再生画像	₽

メニュー項目を選ぶ/設定する

メニュー項目にタッチして選択します。

- アイコンやスライドバーにタッチして項目や数値を選びます。
- つにタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。





撮影と再生の基本操作

バッテリーとメモリーカードの残量を確認する

撮影を始める前に、バッテリーの残量と記録可能コマ数を確認してくだ さい。

■ バッテリーの残量について

表示パネルまたはファインダー内表示で、 バッテリーの残量を確認できます。



表示パネル



(4.01^k

表示パネル

表示パネル	ファインダー	意味	
477778	—	残量は充分に残っています。	
- 7776	—	残量が減り始めました。	
- 111			
4	_		
41		残量は残りわずかです。予備のバッテリーを準備 するか、バッテリーを充電してください。	
4		撮影できません。バッテリーを交換するか、バッ	
(点滅)	(点滅)	テリーを充電してください。	

✓ 電源OFF時のパネル表示について

バッテリーが入っていると、カメラの電源がOFF のときも、表示パネルのメモリーカードマークと 記録可能コマ数が点灯します。メモリーカードの 種類によっては、電源がOFFのときにメモリー カードを挿入しても、まれにメモリーカードマー クと記録可能コマ数の表示が点灯しないことがあ ります。この場合、カメラの電源をONにすると点灯します。

■ メモリーカード表示と記録可能コマ数について

このカメラは、XQDスロットとSDスロット の2つのメモリーカードスロットを装備して おり、XQDカードとSDカードをそれぞれ1枚 ずつ使用することができます。

 両方のスロットにメモリーカードを入れる と、[主スロットの選択] で選択されている 優先的に使うスロット(主スロット)から 記録し、空き容量がなくなったら、記録先 をもう一方のスロット(副スロット)に変



XQDスロット

更します([**副スロットの機能**](四91)が初期設定の[**順次記録**]のとき)。

 表示パネルには、使用しているスロットの アイコンが表示されます(例:両方のスロッ トにメモリーカードが入っている場合)。

何らかのエラーが発生しているときは、

エラーが発生しているメモリーカードの



アイコンが点滅します(ロ323)(例:メモリーカードの残量がなくなった場合やカードがロックされている場合など)。

- 表示パネルまたはファインダー内表示で、 メモリーカードの記録可能コマ数(これから撮影できる枚数)を確認できます。
- 記録可能コマ数が1000 コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。







ファインダー内表示

かんたんに静止画を撮影する

1 カメラを構える

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、 左手でレンズを支えます。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。





2 構図を決める

- ファインダーをのぞいて、構図を決め てください。
- 被写体を中央のフォーカスポイントに 合わせます。



フォーカスポイント



• ピントが合うと、ファインダー内のピント表示(●)が点灯します。

ファインダー内 ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
▶ (点灯)	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀ (点灯)	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀ (点滅)	オートフォーカスでのピント合わせができません(「オー トフォーカスの苦手な被写体について」(四107)をご覧 ください)。

4 シャッターボタンを半押 ししたまま、さらに深く 押し込んで(全押しして) 撮影する

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、
 画像を記録しています。
 メモリーカードやバッテ

リーを取り出したり、ACアダプター(別売)を取り外さないで ください。

撮影した画像を確認する

1 ▶ボタンを押す

 撮影した画像をカメラ背面の画像モニ ターに表示します。



▶ボタン

 表示中の画像がどちらのスロットのメ モリーカードに入っているかは、画像 の左下のメモリーカードマークで確認 できます。



2 マルチセレクターの①または①を押 して他の画像を確認する

• 画面を左右にフリックしても画像を切 り換えられます(ロ220)。



• 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

✓ 撮影直後の画像確認について

再生メニューの [**撮影直後の画像確認**] (□242)を [**する**] に設定すると、 **▶** ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に画像モニターに表示します。

🖉 関連ページ

画像を表示するスロットを切り換える→「画像再生時のボタン操作」(□218)

■ 画像を削除する

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意 ください。

1 削除したい画像を表示する

 ● ■ボタンを押して画像モニターに 画像を表示してから、マルチセレ クターの ③または ④ で削除したい 画像を選びます。



▶ボタン

 削除する画像がどちらのスロットのメ モリーカードに入っているかは、画像 の左下のメモリーカードマークで確認 できます。



2 画像を削除する

- (●) ボタンを押すと、削除確認画 面が表示されます。もう一度●(●) ボタンを押すと、表示中の画像を削除 して、再生画面に戻ります。
- ・削除確認画面で
 ●ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。







☑ 再生メニュー [削除]

再生メニューの [**削除**] (□241) では、複数の画像を選んで削除したり、再生 フォルダー内の全画像を一括して削除したりできます。また、メモリーカード を2枚使っているときは、全画像を削除するメモリーカードスロットを指定でき ます。

✓ ファインダー撮影時の半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイ マー」という機能があります。半押しタイマーは、シャッターボ タンを軽く押す(半押しする)とオンになり、何も操作が行われ ないまま約6秒経過すると、オフになります。半押しタイマーがオ フになると、表示パネルの一部の表示とファインダー内の全ての



表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマー がオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタム メニュー c2 [**半押しタイマー**] (□256) で変更できます。



✓ 撮影時のマルチセレクターの操作について

半押しタイマーがオンのときにマルチセレクター の���� またはななめを押すと、フォーカス ポイントを自分で選べます(□103)。



ライブビュー撮影

画像モニターで被写体を見ながら静止画を撮影できます。

1 ライブビューセレクターを▲(静止画ライブビュー)に合わせる



ライブビューセレクター

2 回ボタンを押す ・ミラーアップしてライブビューを開始 します。ファインダー内が暗くなり、 画像モニターに被写体が表示されます。



3 フォーカスポイントを被写体に重ねる

 フォーカスポイントの形状はAFエリアモードによって異なります (ロ40)。

4 シャッターボタンを半押しして、 ピントを合わせる



- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。
- フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、 ピントが合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点 滅します。
- 露出を固定(AEロック)するには、サブセレクターの中央を押し 続けます(四135)。
- ライブビュー時に∞ボタンを押すと、
 図のような露出プレビュー画面に切り
 替わります。露出プレビューに設定す
 ると、表示されたシャッタースピード、
 絞り値、ISO感度での撮影で、どのよう
 な露出(明るさ)になるのかを画像モ



ニターで確認しながら静止画撮影できます。露出補正(皿137) は、通常と同じ±5段まで設定できますが、画像モニターで確認 できるのは±3段までになります。

5 シャッターボタンを全押しして撮影 する



- 撮影時は画像モニターが消灯します。
- 6 ビボタンを押してライブビューを 終了する



▶ 露出プレビューについて

- シャッタースピードがらいこち(バルブ)または・・(タイム)の場合、露出プ レビューには切り替わりません。また、次の場合は、露出プレビューの表示が 実際に撮影される画像と異なります。
 - 別売スピードライト装着時
 - 「アクティブ D- ライティング」(□175) または 「HDR (ハイダイナミック レンジ) (ロ177) を設定した場合
 - ピクチャーコントロールの [コントラスト] が [A] (オート) の場合 (四173)
 - シャッタースピードをx 25oに設定した場合
 - オートブラケティング撮影時
- 被写体が極端に明るい場合や暗い場合には、画像の明るさを正しく表示できな。 いことがあります(露出インジケーターが点滅します)。

✓ ライブビュー時の拡大表示

ライブビュー中に♥ボタンを押すと、拡大表示できます(最大約16倍)。

- (ボタンを押すごとに拡大率が上がり、 (4) ボタンを押すごとに拡大率 が下がります。
- 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲー ションウィンドウ(グレーの枠)が表示されます。
- 拡大表示中は、マルチセレクターを操作すると、見たい部分に移動できます。





モボタン

ナビゲーションウィンドウ

ダ ライブビュー時のプレビュー機能

ライブビュー中にPvボタンを押すと開放絞りになり、ピントが確認しやすくな ります。再度Pvボタンを押すか、オートフォーカスでピントを合わせると、設 定した絞り値に絞り込まれます。開放絞りにしたままでシャッターボタンを全 押しすると、設定した絞り値に絞り込まれてから撮影します。開放絞り中は画 像モニターに開放絞りのアイコンが表示されます(凹53)。



フォーカスモードセレクターをAF フォーカスモード に合わせると、オートフォーカス セレクター になります。ここでは、ライブ ビュー時のオートフォーカスでの ピントの合わせ方について説明し ています。



AFモードを変更する

		静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボ
		タンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスが
AF-S	シングル	ロックされます。
	AFサーボ	• 画像モニターにタッチした場合は、タッチした位置に
		フォーカスポイントを移動してピント合わせを行いま
		す。タッチしている間はピントが固定されます。
		動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタ
		ンを半押しするまで、カメラは被写体の動きに合わせてピ
	⇔ισμο	ントを合わせ続けます。半押しすると、ピントが合った時
AF-F	市时AI サーザ	点でフォーカスがロックされます。
	9-11	• 画像モニターにタッチした場合は、タッチした位置に
		フォーカスポイントを移動してピント合わせを行いま
		す。タッチしている間はピントが固定されます。

■ ライブビュー時のAFモードの変更方法 AFモードボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す • AFモードは画像モニターに表示されます。







ダイヤル



AFエリアモードを変更する

e	顏認識AF	 記念写真など、人物の顔にピントを合わせたい場合に適しています。カメラが人物の顔を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。このとき、マルチセレクターで二重枠を移動して他の顔を選ぶこともできます。途中で顔が後ろを向くなどしてカメラが顔を認識できなくなると、枠が消えます。 顔を認識している場合に画像モニターをタッチすると、タッチした位置に最も近い顔にピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。
رد ع Wide	ワイド エリアAF	風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。フォーカス ポイントは、マルチセレクターまたはタッチ操作で任意の位置 に移動できます。 中央 ボタンを押すと、フォーカスポイントは 中央に移動します。
[c] Norm	ノーマル エリアAF	画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせたい場合 に適しています。フォーカスポイントは、マルチセレクターま たはタッチ操作で任意の位置に移動できます。 中央 ボタンを押 すと、フォーカスポイントは中央に移動します。三脚の使用を おすすめします。
Co) Pin	ピン ポイント AF	ノーマルエリアAFよりも小さいフォーカスポイントを使って、 ピンポイントでピントを合わせることができます。フォーカス ポイントは、マルチセレクターまたはタッチ操作で任意の位置 に移動できます。中央ボタンを押すと、フォーカスポイントは 中央に移動します。三脚の使用をおすすめします。
Ð	ターゲット 追尾AF	指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを動かした い場合に適しています。フォーカスポイントを被写体に重ねて中 央ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わ せてフォーカスポイントが移動します。もう一度中央ボタンを押 すと、追尾を終了します。 ・ 画像モニターをタッチすると、タッチした位置の被写体を追 尾します。指を放すとシャッターがきれます。 ・ ターゲット追尾中に画像モニターをタッチすると、現在追尾 中のフォーカスポイントの位置でピント合わせを行い、指を 放すとシャッターがきれます。

 ・AFエリアモードの変更方法
 AFモードボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

 ・AFエリアモードは画像モニターに表示されます。



▼ ライブビュー時のオートフォーカスについてのご注意

- ライブビュー時のオートフォーカスは、通常のオートフォーカスより、ピント 合わせに時間がかかります。また、次の被写体はピントが合わない場合があり ますので、ご注意ください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見 える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体(ビルの窓やブラインドなど)
 動く被写体
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- フォーカスポイントが緑色に点滅しているとき(オートフォーカス作動中)は、 シャッターはきれません。ただし、赤色に点滅しているとき(ピントが合って いないとカメラが判断したとき)でもシャッターはきれます。
- ピントが合わなくてもピント表示(緑枠)が点灯する場合があります。
- AF-SやAF-P以外のレンズやテレコンバーターを使用した撮影では、充分なピント精度が出ない場合があります。

▼ ターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意 ください。

- 被写体の色、明るさが背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

マニュアルフォーカスで撮影する

マニュアルフォーカス(凹108)で撮影する ときは、レンズのフォーカスリングを回して、 被写体にピントを合わせます。

ピントの状態を細部まで確認したい場合は、
 は、
 マボタンを押して被写体を拡大表示してください(ロ37)。

 ・
 iボタンを押して表示されるメニューで
 [ビー キングの検出]
 を選び、
 [しない]
 以外に設定 するとピントが合っている部分(ピーキング)
 の輪郭に色を付けて表示できます(ロ44)。







iボタンを使う

ライブビュー撮影時に*i*ボタンを押すと、次の機能の設定を変更できます。項目を選んで マルチセレクターの ◆を押すと、選んだ項目 の設定画面が表示されます。

- ・
 iボタンを押したときの設定は、タッチ操作
 (ロ11)でも行えます。
- ・設定終了後、∞ボタンを押して決定します。
 ●
 ●
- 撮影に戻るには、再度*i*ボタンを押してください。



iボタン



撮像範囲設定	ライブビュー撮影時の撮像範囲を選べます(凹81)。		
アクティブ D-ライティング	アクティブD-ライティングの設定を変えられます(凹175)。		
電子先幕 シャッター	電子先幕シャッターを有効にするかどうかを設定できます (皿257)。		
モニターの明るさ	 ライブビュー時の画像モニターの明るさを、③または ・②を押して調整できます。 画像モニターの明るさを調整すると、ライブビュー中の 表示に反映されますが、撮影 した画像や画像再生時の表示、メニュー表示などには反映されません。 		

✓ 画像再生時やメニュー表示時の明るさについて 画像再生時やメニュー表示時などの画像モニターの明るさは、セットアップメ ニューの「モニターの明るさ」(□263)で設定してください。

静止画Lv画面の ホワイトバランス	ライブビュー撮影時には、撮影 用のホワイトバランス(ロ151) とは別に、画像モニター用のホ ワイトバランス (画像モニターの色み)を設定できます。撮影 用のホワイトバランスを[フ ラッシュ]や[ブリセットマニコ アル] などに設定していると、実際に撮影される画像の色みと 画像モニターで表示されている色みが異なることがあります。 あらかじめ画像モニターの色みを撮影する画像の色みに合わ せておくことで、撮影画像の仕上がりをイメージしやすくなり ます。 • [撮影時と同じ] を選ぶと、画像モニター用ホワイトバラ ンスは撮影用ホワイトバランスと同じになります。 • 画像モニター用ホワイトバランスと同じになります。
2点拡大	同じ水平面上の異なる2カ所 を同時に拡大表示します。建築 物などの水平合わせの確認に 便利です(ロ47)。
サイレント撮影 (静止画Lv)	シャッター音を出さずに撮影できます(□148)。

	マニュアルフォーカスで撮影 するときに、ピントが合ってい る部分の輪郭が色付きで表示 されます。現在どこにピントが 合っているのかを簡単に確認 できます。	U125 ≠5.6 U100 (4.0k) C
ピーキングの検出	 ビーキングの感度を [3 (高 感度)]、[2 (標準)]、[1 (低 感度)]、または [しない] か ら選びます。感度を高くする とピントが合っていると判 断される範囲が広くなり、感 度を低くすると範囲が狭く なります。 	ビーキングの検出 2(標準) 2(標準) 2(第二) 2(第二) 2(第二) 2(1) 2(1) 2(1) 2(1) 2(1) 2(1) 2(1) 2(1
	 ・拡大表示中(ロ37)もピーキ ・カスタムメニューd8 [ビーキの色を変更できます(ロ258) 	-ング検出されます。 キング表示色]でピーキング)。
ネガフィルム デジタイズ	カラーネガフィルムやモノクロ 表示させて撮影できます(ロ5	コネガフィルムをポジに反転 1)。

<u>2点拡大</u>

ライブビュー撮影時に**i**ボタンを押して[**2点** 拡大]を選ぶと、左右に並んだ拡大表示画面 が表示されます(2点拡大表示)。それぞれの 画面には、ナビゲーションウィンドウの2カ 所の□部分が拡大されて表示されます。

- (ボタンを押すごとに拡大率が上がり、
 (\$)ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- マルチセレクターの
 ● または
 ● を押すと、 た右それぞれの拡大表示画面を横方向にス クロールできます。
 た右の画面を切り換え る場合は
 ● (ご) パタンを押します。
- マルチセレクターの ◆または ◆を押すと、 左右の拡大表示画面が縦方向に同時にスク ロールします。
- シャッターボタンを半押しすると、
 選択されている画面の中心点にピントが合います。



ナビゲーション ウィンドウ



ピントが合う部分

•*i*ボタンを押すと、2点拡大表示を終了します。

サイレント撮影(静止画Lv)

ライブビュー撮影時に *i* ボタンを押して、[サイレント撮影(静止画Lv)] で [する (モード1)] または [する (モード2)] を選ぶと、シャッター 音を出さずに撮影できます。

	シャッターをきるときの振動をなくして撮影できます。風景や静物
	など動きの少ない被写体を撮影する場合に適しています。撮影時は、
する	三脚をお使いいただくことをおすすめします。
(モード1)	• レリーズモード(ロ110)がCHの場合の連続撮影速度は約6コマ/秒
	になります。
	● ISO感度(□116)はLo 1~25600の間で設定できます。
	[する(モード1)] よりも高速で連続撮影できます。
	 レリーズモード(四110)がS、Q、 ひ、およびMUPの場合は、シャック
+7	ターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。CLおよび
9 @ (T 1° ?)	Qcの場合は約15コマ/秒、CHの場合は約30コマ/秒の高速連続撮
$(t-r_2)$	影を最大3秒間行えます。
	• 撮像範囲は [DX (24×16)]、画像サイズは3600×2400、画質
	モードは [NORMAL★]に固定されます。
しない	サイレント撮影を行いません。

ダ サイレント撮影について

- 記録可能コマ数の表示部分に、連続撮影できる残り時間が表示されます。
- 画像モニターの表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は 静止画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する(ロ251)
 - 動きのある被写体が歪む
 ・電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 ・カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーション などの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯 が発生する
- 連続撮影中は、撮影開始時のピントおよび露出に固定されます。
- 多重露出撮影(□247)はできません。
- フラッシュ撮影はできません。
- 長秒時ノイズ低減(□246)は無効になります。
- サイレント撮影は、静止画撮影メニューの[サイレント撮影(静止画Lv)](□248) でも設定できます。

✓ サイレント撮影時の動作音について

- 撮影時にオートフォーカスの動作音がすることがあります。
- 露出モードがAまたはMの場合は、絞り値を変えると動作音がすることがあります。
- 露出モードがPまたはSの場合は、撮影時に絞りの動作音がすることがあります。

☑ カスタムメニュー d11 [連続撮影中の表示(Lv)] が [する] の場合の表示について

- [する(モード1)]のときにカスタムメニューd11 [連続撮影中の表示(Lv)]
 (□258)が[する]の場合、シャッターが切れた瞬間に画像モニターが暗くなり、再び画像モニターが点灯すると撮影画像を表示します。
- [する(モード2)]のときに[連続撮影中の表示(Lv)](□258)を[する] にしていても、撮影画像は表示されずにライブビュー表示します。[する(モー ド2)]で撮影すると画像モニターに ○が表示され、連続撮影時は ○が点滅 表示します。

☑ [する (モード2)] に設定した場合

 絞り値、シャッタースピード、ISO感度を設定できるかどうかは、露出モード によって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO感度*3
P、S ≋1	—	—	—
A	0	_	—
М	0	○*2	0

※1 露出モードがSの場合は、Pに設定したときと同じ露出制御になります。

※2 露出モードがMの場合、シャッタースピードを1/30~1/8000秒の範囲で 設定できます。

- ※3 露出モードがMの場合、ISO感度(□116)をLo1~25600の間で設定で きます。また、感度自動制御(□118)の設定が可能です。その他の露 出モードでは、ISO感度をカメラが自動で設定します。
- 露出補正(□137)の設定は、±3段までになります。
- ●[する(モード2)]に設定しているときは、画像モニターに表示されている露出(明るさ)で撮影されます。◎ボタンを押すと、露出インジケーター(□129)が表示され、自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差を確認できます。もう一度◎ボタンを押すと、露出インジケーターが消えます。
- 次の場合など、[する (モード2)]とは同時に使用できない機能や設定があります。
 - プログラムシフト(ロ124)
 - オートブラケティング撮影(四140)
 - ピクチャーコントロールの [明瞭度] (四173)
 - アクティブD-ライティング(四175)
 - HDR (ハイダイナミックレンジ) (ロ177)
 - ヴィネットコントロール (ロ246)
 - 自動ゆがみ補正(□246)
 - 露出ディレーモード (CL257)
- 静止画撮影メニュー [**副スロットの機能**]を [**RAW+JPEG分割記録**] に設定 していた場合は、両方のスロットにJPEG画像が保存されます。

// [する(モード2)]で撮影した画像の撮影情報表示について

[サイレント撮影(静止画Lv)]を[する(モード2)]に設定し、ホワイトバラ ンスをAUTO(オート)に設定して撮影した場合、再生時の撮影情報(ロ228)に 色温度は表示されません。

<u>ネガフィルムデジタイズ</u>

ライブビュー撮影時に**t**ボタンを押して [**ネガフィルムデジタイズ**] で [**カラーネガフィルム**] または [**モノクロネガフィルム**] を選ぶと、カ ラーネガフィルムやモノクロネガフィルムをポジに反転表示させて撮 影できます。

1 撮影するネガフィルムを白やグレーなど無地の背景の前に 固定する

- ネガフィルムデジタイズには、AF-S Micro NIKKOR 60mm f/2.8G EDなどのマイクロレンズをお使いいただくことをおすす めします。
- 自然光下での撮影、または、高演色性蛍光灯やライトボックスなど Ra(平均演色評価数)の高い光源を使った撮影をおすすめします。

ライブビュー撮影時にiボタンを押して、[ネガフィルムデジタイズ]
 を選ぶ

- マルチセレクターの④または④で「ネ ガフィルムデジタイズ」を選んで④を 押すと、表示が反転されます。
- フラッシュモードは③に変更されます。フラッシュ撮影を行う場合は、④以外に設定してください。

3 フィルムの種類を選ぶ

●または
 ・で
 「カラーネガフィルム]
 または
 [モノクロネガフィルム]
 を選
 んで
 ・ボタンを押します。



4 ネガフィルムが撮像範囲内に収まるように構図を決める



5 明るさを補正する

 ● ●ボタンを押すと [明るさ補正] 画面 が表示されます。マルチセレクターの
 ●または ●を押して明るさを調整でき ます。もう一度 ◎ボタンを押すと明る さの調整を終了します。



ネガポジ反転画像を表示中に
 ペボタンを押すと、拡大表示できます(ロ37)。

6 撮影する

• 撮影した画像はJPEG画像として記録されます。

▶ ネガフィルムデジタイズについてのご注意

- フィルムのゴミや傷などの補正、およびフィルムの劣化によるムラの補正はできません。
- 露出モードはAに固定されます。
- ・ 画質モード(□26)を [RAW] および [TIFF (RGB)] に設定していても、記録される画像はJPEG形式になります。JPEG画像は [RAW] および [TIFF (RGB)]の場合 [FINE★]で、それ以外の場合は画質モードで選んだJPEGの設定で保存されます。
- フォーカスシフト撮影やオートブラケティングなど、使用できない機能や選択 できないメニューがあります。
情報表示について



1	ライブビュー 残り時間	ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブ ビュー残り時間のカウントダウンを表示します(ロ56)。
2	静止画Lv画面の ホワイトバランス	画像モニターの色み(画像モニター用ホワイトバランス) を表示します。 i ボタンを押して表示されるメニューで、 [静止画Lv画面のホワイトバランス]を選ぶと設定を変更 できます(口44)。
3	開放絞り表示	₧ボタンを押して開放絞りにすると表示されます(□137)。
4	AFモード	AFモード(□138)を表示します。
5	AFエリアモード	AFエリアモード(□140)を表示します。
6	フォーカス ポイント	枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの 形状は、選んだAFエリアモード(ロ40)により異なります。

表示を切り換える

Mボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



- ※1 露出プレビュー時または [サイレント撮影(静止画 Lv)](四48)が [する (モード2)]のときに表示されます。
- ※2 ネガフィルムデジタイズ撮影時(四51)は表示されません。

タッチシャッターで静止画を撮影する

タッチした位置にフォーカスポイントを移 動してピント合わせを行います。タッチして いる間はピントが固定され、指を放すと シャッターがきれます。

撮影画面でアイコンにタッチすると、画面を タッチしたときの機能を切り換えられます。





Ĩ	タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、 指を放すとシャッターがきれます。
[]	タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせを行い ます。
- AF	• AFエリアモードがターゲット追尾AF(ロ40)の場合、追尾中に画面 をタッチすると、追尾している被写体にピント合わせを行います。
GFF 📲	タッチ操作は無効になります。

タッチしたときのオートフォーカスでのピントの合わせ方については、¹³⁸をご覧ください。

▼ タッチ操作で撮影するときのご注意

- フォーカスモードセレクターをMにしている場合(□108)は、タッチしても ピント合わせを行いません。
- 🛱に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画撮影中に静止画の撮影(ロ70)はできません。
- レリーズモードをCL、CH、またはQcに設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー(□113)設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが 固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフ タイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。セル フタイマーの作動時間と撮影コマ数は、カスタムメニューc3 [セルフタイ マー]で変更できます(□256)。
- フォーカスポイントロックレバーがL(ロック)の位置になっている場合、タッ チ操作によるフォーカスポイントの移動はできません。ただし、AFエリアモー ドが顔認識AFの場合は、タッチした顔に黄色の二重枠を移動します(ロ40)。

▶ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する30秒前から、画像モニターの左上にカウント ダウンを表示します(ロ53)。

- ・カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] (□256)の設定により終 了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示しま す。[モニターのパワーオフ時間]の [ライブビュー表示]を [制限なし] に 設定している場合も、カメラ内部の温度上昇などによりライブビューが終了す る場合があります。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

▶ ライブビュー撮影時のご注意

- ・画像モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に記録される画像に影響はありません。
 - 動きのある被写体が歪んで表示される
 ・電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
 カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーション などの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯 が発生する
- ・ 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、動画撮影メニューの「フリッカー低減」(ロ251)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターを閉じてください(四113)。
- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- ライブビュー中は、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー](□256)の設定
 にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。

✓ ライブビュー撮影時の動作音について

ライブビュー撮影時に次の動作を行うと動作音がすることがあります。

- ライブビューセレクターを切り換える

🖉 関連ページ

- ライブビュー中の動画撮影ボタンとコマンドダイヤルの機能を設定する

動画撮影と再生

動画を撮影する

画像モニターを見ながら音声付きの動画を撮影できます。

ライブビューセレクターを ライブビュー)に合わせる



ライブビューセレクター

2 回ボタンを押す

- ミラーアップしてライブビューを開始 します。ファインダー内が暗くなり、
 画像モニターに被写体が表示されます。
- ライブビュー中は、実際に撮影される 動画や静止画の露出(明るさ)を画像 モニターで確認できます。



3 動画撮影時のAFモードを設定する

動画撮影時のAFモードの設定方法については、「AFモードを変更する」
 (□38)をご覧ください。



4 動画撮影時のAFエリアモードを 設定する

動画撮影時のAFエリアモードの設定方法については、「AFエリアモードを変更する」(□140)をご覧ください。

5 AF-ONボタンを押して、ピントを 合わせる

動画撮影を開始する前に、被写体にピントを合わせます。





AF-ONボタン



- 動画記録中は録画中マークが画像モニターに表示されます。メモリーカードに記録できる残り時間の目安も画像モニターで確認できます。
- •動画記録中も、AF-ONボタンを押すと被 写体にピントを合わせられます。
- 内蔵マイクで音声を記録します。録画 中は、マイクを指でふさがないように してください。
- ・露出を固定(AEロック)するには、サ ブセレクターの中央を押し続けます (ロ135)。
- 動画記録中は±3段の範囲で露出補正ができます(□137)。



動画撮影ボタン

録画中マーク



残り時間

 動画撮影中に画面をタッチすると、タッチした位置にフォーカス ポイントが移動してピントを合わせることができます。 7 もう一度動画撮影ボタンを押して、 動画記録を終了する



8 回ボタンを押してライブビューを 終了する



インデックスマーキングについて

動画記録中に、カスタムメニューg1 [カスタ ムボタンの機能](凹262)で [インデックス マーキング]を割り当てたボタンを押すと、 記録中の動画にインデックスマークを付ける ことができます。インデックスマークを付け ると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ 素早く移動できます(凹74)。インデックス マークは1つの動画に最大20個まで付けられ ます。



インデックスマーク

✓ ピンポイントAFについて 動画撮影時、ピンポイントAFは選択できません。

🖉 動画撮影時のピント合わせについて

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせることもできます。

<u>iボタンを使う</u>

動画撮影時に i ボタンを押すと、次の機能の 設定を変更できます。項目を選んでマルチセ レクターの ∲を押すと、選んだ項目の設定画 面が表示されます。

- ・
 iボタンを押したときの設定は、タッチ操作
 (□11)でも行えます。
- 設定終了後、 ◎ボタンを押して決定します。
- 撮影に戻るには、再度*i*ボタンを押してください。



iボタン



撮像範囲設定	動画撮影時の撮像範囲を選べます(印64)。	
画像サイズ/ フレームレート	動画を記録するときの画像サイズ(ピクセル)/フレームレートを設定します(凹65)。	
動画の画質	動画の画質を選べます(印65)。	
アクティブ D-ライティング	動画撮影時のアクティブD-ライティングの設定を変えられま す(ロ175)。 ・動画の画像サイズ(ロ65)が3840×2160または1920×1080 スローの場合、アクティブD-ライティングは機能しません。 ・アクティブD-ライティングは、[ビーキングの検出]とは同 時に使用できません。	
マイク感度	内蔵マイクまたは外部マイク (□287)の感度を、◆または ◆を押して調整できます (□251)。 マイク感度 オート ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ の の 感度を、 ・ または ロ ロ ロ ロ ロ の の 感 度 本 ・ し または し ロ ロ ロ ロ こ の の 感 た で きます し ロ ロ の の 、 し ます し の の 感 た し し の の 感 た し の の 感 た で きます し の の に ひ し の の 、 の ちます し の の に ひ し の の の の の で きます の の の の の の の の の の の の の	
アッテネーター	大音量の環境下で動画記録をするときに、マイク感度を減衰 させて音割れを抑えます。	
録音帯域	内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します (印251)。	

風切り音低減	内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えるローカットフィル ター機能を有効にするかどうかを設定できます(ロ251)。		
動画記録先	メモリーカードを2枚使用している場合に動画を記録するス ロットを設定できます(ロ249)。		
モニターの明るさ	 動画撮影時の画像モニターの明るさを、③または③を打て調整できます。 画像モニターの明るさを調整すると、ライブビュー中の示に反映されますが、撮影した画像や画像再生時の表示ニュー表示などには反映されません。 		
マルチセレクター によるパワー絞り	マルチセレクターによるパワー絞りを有効にするかどうかを 設定できます。 • [有効] に設定すると、④を押している間、開放絞り側に絞 りが動きます。また、④を押している間、最小絞り側に絞 りが動きます。		
マルチセレクター による露出補正	マルチセレクターによる露出補正を有効にするかどうかを設 定できます。 • [有効] に設定すると、 ●または ●を押して露出補正を設定 できます。		
ハイライト表示	[パターン1] または [パターン2] を選ぶと、動画撮影時に ハイライト部分 (非常に明るい部分) を斜線で表示できます。 ハイライトされている部分 「パターン1 パクーン2 ・どの程度の明るさをハイライトとして扱うかをカスタムメ ニュー g2 [ハイライト表示の明るさ設定] で設定できます (ロ262)。 ・ハイライト表示が有効になっている場合、[ビーキングの検 出] は無効になります。		
ヘッドホン音量	ヘットホン音重を、、のまたは、のを押して調整できます。		

電子手ブレ補正	 動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。 動画の画像サイズ(口65)が3840×2160または1920×1080 スローの場合、電子手ブレ補正は機能しません。 電子手ブレ補正は、[ビーキングの検出]とは同時に使用できません。 電子手ブレ補正を [する]に設定すると画角が小さくなるため少し拡大されます。
	マニュアルフォーカスで動画 撮影するときに、ビントが合っ ている部分の輪郭が色付きで 表示されます。現在どこにピン トが合っているのかを簡単に 確認できます。 ・ビーキングの感度を【3(算
ビーキングの検出	「「「「」」」」)」)の認定をにして、「「」 「「「「」」」)、「」(「「「」」」)、「」(「「」」) 「」」、または「しない」か ら選びます。感度を高くする とピントが合っていると判断 される範囲が広くなり、感度 を低くすると範囲が狭くなり ます。
	 カスタムメニュー d8 [ビーキング表示色] でピーキングの 色を変更できます(□258)。 動画の画像サイズ(□65) が3840×2160や1920×1080ス ローの場合、またはハイライト表示が有効になっている場合 はビーキングの検出はできません。 [アクティブD-ライティング]、[電子手ブレ補正] とは同時 に使用できません。

🖉 ヘッドホンについて

- 市販のヘッドホンをヘッドホン端子に接続すると、音声はヘッドホンから再生 されます。
- マイク感度を最大にして撮影した動画を再生すると、大音量で再生される場合 がありますので、ヘッドホン使用時は特にご注意ください。

動画撮影時の撮像範囲について

動画撮影メニュー [**撮像範囲**] の [**撮像範囲設定**] で撮像範囲を変更で きます。[**FX**] に設定した場合はFXベースの(動画)フォーマットに、 [**DX**] に設定した場合はDXベースの(動画)フォーマットになります。 動画撮影時の撮像範囲は次の図のようになります。



撮像範囲のサイズは、FXベースの(動画)フォーマットとDXベースの(動画)フォーマットでは異なります。それぞれの撮像範囲のサイズは次の通りです。

フォーマット	サイズ	
FXベースの(動画)フォーマット	約35.9×20.2 mm	
DXベースの(動画)フォーマット	約23.5×13.2 mm	

- 動画撮影メニュー [撮像範囲]の [DX自動切り換え] (□82)を [する] に設定してDX レンズを装着した場合は、DXベースの (動画) フォーマットになります。
- 動画の画像サイズを1920×1080スローに設定した場合は、装着レンズや[撮像範囲設定]の設定にかかわらず、DXベースの(動画)フォーマットで撮影します。
- ・
 iボタンを押して表示されるメニューで
 [電子手ブレ補正]を選んで
 [す
 る]
 に設定すると、
 画角が小さくなるため少し拡大されます
 (□61)。

[画像サイズ/フレームレート] および [動画の画質] について

動画撮影メニュー [**画像サイズ/フレームレート**] では、動画を記録する ときの画像サイズ (ピクセル) とフレームレートを設定します。[**動画の 画質**] では、動画の画質を高画質と標準から選べます。それぞれの設定 時の最大ビットレートと最長記録時間は次の通りです。

	[画像サイズ/フレームレート] *1	最大ビットレート ([動画の画質] *2: ★高画質/標準)	最長記録時間 および 最長再生時間
2160 P*	3840×2160 (4K UHD) 30p		
2160	3840×2160 (4K UHD) 25p	144Mbps	
2160	3840×2160 (4K UHD) 24p		- 29分59秒* ³
1080 P* / 1080 P	1920×1080 60p	48Mbps/24Mbps	
1080 P* / 1080 P	1920×1080 50p	401010/05/241010/05	
$\frac{1080}{1080} \frac{P \star}{E0} / \frac{1080}{1080} \frac{P}{E0}$	1920×1080 30p		
1080 P#/1080 P	1920×1080 25p		
1080 PX/1080 P	1920×1080 24p	24Mbps/12Mbps	
720 PA 50/720 P	1280×72060p		
720 pt / 720 p	1280×720 50p		
1080 *4	1920×1080 30p 4倍スロー ^{※4}	26Mbps	記録:3分
1080 24	1920×1080 25p 4倍スロー* ⁴	Solvides	再生:12分
1080 25	1920×1080 24p 5倍スロー ^{※4}	29Mbps	記録:3分 再生:15分

- ※1 60p:59.94コマ/秒 (fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、 25p:25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒
- ※2 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。画像サイズ を3840×2160に設定した場合は、常に高画質で記録されます。
- ※3 動画は最大8個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイル サイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイル あたりの記録時間は (画像サイズ/フレームレート) および (動画の画質) の 設定によって異なります。
- ※4「スローモーション動画について」(四66)をご覧ください。

■ スローモーション動画について

動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] で [1920×1080 30p 4倍スロー]、[1920×1080 25p 4倍スロー]、または [1920×1080 24p 5倍スロー] を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。音声 は記録されません。

- 例えば [1920×1080 30p 4倍スロー]の場合、120pのフレームレートで読み出した画像を30pの動画として記録します。
- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生する ときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときの フレームレート	動画を記録・再生する ときのフレームレート
1920×1080 30p 4倍スロー	120p*	30p*
1920×1080 25p 4倍スロー	100p*	25p*
1920×1080 24p 5倍スロー	120p*	24p*

※ 120p:119.88コマ/秒(fps)、100p:100コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、 25p:25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒

▼ スローモーション動画撮影時のご注意

- スローモーション動画の撮像範囲(□281)は、装着レンズや動画撮影メニュー [撮像範囲]の[撮像範囲設定]の設定にかかわらず、[DX]に固定されます。
- スローモーション動画の画質は標準に固定されます。
- AFエリアモード(ロ40)で、顔認識AF、ピンポイントAF、およびターゲット追尾AFは選べません。顔認識AF、ピンポイントAF、またはターゲット追尾 AFが選ばれている場合は、ワイドエリアAFで撮影します。

情報表示について



1	動画記録禁止マーク	動画が記録できない状態のとき表示します。
2	風切り音低減マーク	風切り音低減(□251)が有効の場合に表示します。
3	電子手ブレ補正マーク	電子手ブレ補正(ロ251)が有効の場合に表示します。
	ヘッドホン辛号	市販のヘッドホン接続時に表示されます。ヘッドホ
J		ン出力の音量レベルを表示します。
(5)	録音帯域マーク	録音帯域(□251)の設定を表示します。
6	マイク感度	マイク感度(凹251)のレベルを表示します。
		音声を記録するときの音量レベルを表示します。イ
	音声レベル	ンジケーターの色が赤で表示される場合、音量が大
U	インジケーター	きすぎることを示しています。マイク感度を調節し
		てください。
	動面同期記得了	HDMI対応機器と接続して同期記録を行うときに表示
٢	動画问知記録マーノ	されます (皿266)。
	マッニューターフーク	アッテネーター(凹251)を有効にしているときに表
a	アップネーターマーク	示されます。
	動面記得球り時間	動画記録時に、メモリーカードに記録できる残り時
U	割凹記 跡 残り 时间	間を表示します (四58)。
Ð	動画の画像サイズ	動画の画像サイズ(印65)を表示します。
12	ハイライト表示マーク	ハイライト表示が有効の場合に表示します。
13	パワー絞り禁止マーク	パワー絞りができないときに表示します。

▼ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、画像モニターの左上にカウントダウンを表示します(ロ53)。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、画像モニターの右上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

✓ 動画撮影中の調整について

- ヘッドホンの音量は変更できません。
- マイク感度をと以外に設定すると、動画記録中にマイク感度を変更できます。
 として、動画記録中にマイク感度を変更できます。

<u>表示を切り換える</u>

Mボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



動画撮影時の静止画撮影

カスタムメニューg1 [カスタムボタンの機 能]の[シャッターボタン](ロ262)を[静 止画撮影]に設定した場合、動画撮影中(ラ イブビュー時または動画記録時)にシャッ



ターがきれるまでシャッターボタンを全押しし続けると、静止画を撮影 します。撮影される静止画のアスペクト比(横:縦)は、16:9になります。

- 動画記録中の場合、動画記録は終了し、そこまでの動画を記録します。
- 画質モードは、静止画撮影メニュー [画質モード] (□86) で設定した内容になります。
- 動画撮影時の静止画撮影の露出は画像モニターでは確認できません。 露出モードP、S、Aでの撮影をおすすめします。露出モードMで撮影 する場合は、一度ライブビューセレクターを▲に合わせて露出を確認 してから撮影することをおすすめします。

■ 撮影できる静止画の画像サイズ

撮影できる静止画の画像サイズは、次の通りです。

撮像範囲(□□64)	撮影される静止画の画像サイズ(🗆 89)
	L (8256×4640ピクセル)
FX	M (6192×3480ピクセル)
	S (4128×2320ピクセル)
	L (5408×3040ピクセル)
DX	M (4048×2272ピクセル)
	S (2704×1520ピクセル)

✓ 動画撮影について

- ●使用しているメモリーカードの書き込み速度によっては、最長記録時間
 (□65)に満たないで記録が自動的に終了する場合があります。
- 動画撮影時は、AFエリアモードが顔認識AFの場合に認識できる人数が少なくなります。
- 🕅 (動画記録禁止) マーク (凹67) が表示されているときは、動画記録できません。
- •1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 動画撮影中は測光モードをスポット測光に設定できません。
- 動画を撮影するときは、常にsRGBの色空間で撮影されます。
- 動画撮影時は、別売のスピードライト(□280)は発光しません。
- 露出モードP、Sで画像が明るくなりすぎたり、暗くなりすぎたりする場合は、 ライブビューを終了してからもう一度ライブビューを開始するか、露出モード をAにして、絞りの調整を行ってください。
- 動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO感度を設定できるかどうかは、 露出モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO感度**2
P、S *1	—	_	<u> </u>
A	0	—	— * 3
М	0	0	○*4

※1 露出モードがSの場合は、Pに設定したときと同じ露出制御になります。

※2 動画撮影メニューの [電子手ブレ補正] が [する] のときにISO感度が高 感度(Hi 0.3~Hi 2) になった場合は、ISO 25600に制限されます。

- ※3 動画撮影メニュー [ISO 感度設定] (□ 250)の [制御上限感度] でISO 感度の上限を設定できます。
- ※4 動画撮影メニュー [ISO感度設定]の [Mモード時の感度自動制御]を [する] に設定した場合、[制御上限感度] でISO感度の上限を設定できます。
- 動画撮影中にWBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスを変更できます。また、AUTO(オート)と業(蛍光灯)のときはサブコマンドダイヤルで種類を設定できます(ロ151)。

🖉 マニュアル露出での動画撮影について

露出モードMで動画撮影する場合、シャッタースピードを1/25~1/8000秒の範 囲で設定できます(動画のフレームレート(□□65)によって、低速側の制限が 異なります)。

▶ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の画像モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する(ロ251)
 - 動きのある被写体が歪む
 ・電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーション などの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯 が発生する
 - パワー絞り作動中、画面にちらつきが発生する
- 動画撮影時に、 ♥ボタンで画面を拡大した場合(□□43)、ノイズ(ざらつき、 むら、すじ)、色の変化が発生しやすくなります。
- 次のような場合は、動画記録は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達したとき
 - メモリーカードの残量がなくなったとき
 - ライブビューセレクターを切り換えたとき
 - レンズを取り外したとき
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が 破損するおそれがあります。
- •次のような場合は、動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - パワー絞り作動中
 - 絞り値を変更した場合
 - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合

🖉 ワイヤレスリモートコントローラーとリモートコードについて

カスタムメニューg1 [カスタムボタンの機能](ロ262)の [シャッターボタ ン]を [動画撮影]に設定すると、ワイヤレスリモートコントローラー(ロ287) やリモートコード(ロ287)のシャッターボタンを半押ししてライブビューを 開始したり、全押しして動画記録の開始と終了を行えます。

✓ 外部マイクについて

別売のステレオマイクロホンME-1またはワイヤレスマイクロホンME-W1を外 部マイク入力端子に接続すると、外部マイクを使用して動画撮影することがで きます(ロ287)。 ✓ 関連ページ

- 動画撮影時のオートフォーカスについてのご注意→「ライブビュー時のオート フォーカスについてのご注意」(□□41)
- レンズのフォーカスリングを使って(マニュアルフォーカスで)ピントを合わせる→「マニュアルフォーカスで撮影する」(□43)
- ライブビュー表示中や動画記録時のフリッカー現象を低減する → 県 [フリッカー低減] (□251)

- 動画撮影時のPvボタン、Fn1ボタン、Fn2ボタン、サブセレクターの中央、シャッターボタンの機能を設定する → ▲ a1 [カスタムボタンの機能](□262)
- ・サブセレクターの中央を押し続けなくてもAEロック状態を維持できるようにする →
 *g*1 [カスタムボタンの機能]の[サブセレクター中央](□262)

動画の再生

1コマ表示モード(□217)で
、マークが表示されている画像が動画で す。マルチセレクターの
中央ボタンを押すか、または画面上の
のアイ コンをタッチして動画を再生します(プログレスバーで再生中の位置の 目安を確認できます)。



■動画再生中の操作方法

一時停止する	マルチセレクターの⇔を押すと一時停止します。		
声牛を声明する	ー時停止中または早送り/巻き戻し中に 中央 ボタンを押すと		
舟主で舟用りる	動画再生を再開します。		
	• 動画の再生中に ● 動画の再生中に ⑦ [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]		
	し、③を押すと早送りします。同		
	じ方向のボタンを押すごとに、巻		
	き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わ		
巻き戻しする/	ります。		
早送りする	 ⑦を押し続けると、最初のコマに移動し、③を押し続けると、 		
	最後のコマに移動します。		
	• 先頭フレームには アイコンが、最 ॥ [10m00s/10m00s] り		
	終フレームには ・ アイコンが、 画面		
	右上に表示されます。		
スロー再生する	一時停止中に⇔を押すとスロー再生します。		

コマ戻しする/	● 一時停止中に④または●を押すと、コマ戻し/コマ送りします。
コマ送りする	● ④または●を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
10秒進める/	メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動し
10秒戻す	ます。
インデックフ	動画記録時に設定したインデックスマークに移動するには、
インテックス	サブコマンドダイヤルを回します。サブコマンドダイヤルを
	回すと、前後のインデックスマークに移動します。
先頭フレームに	動画に インデックファークがたい 担合にサブファンドダイヤ
移動する/最終フ	動画にインテックスマークかない場合にリフコマンドダイヤ
レームに移動する	ルを回すこ、元頭ノレームまたは最終ノレームに移動します。
	🔍 ボタンを押すと音量が大きくなり、 🖓 🖬 (\$) ボタンを押す
日里で詞即9 る	と小さくなります。
動画を短生する	一時停止中に ぇ または∞ボタンを押すと、[動画編集] 画面を
割凹で柵朱9 る	表示します (四76)。
再生終了	●または▶ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
信息に百ろ	シャッターボタンを半押しすると画像モニターが消灯し、す
加彩に氏る	ぐに撮影できます。



動画の編集

撮影した動画を編集できます。

🗔 始点/終点の設定	動画の必要な部分だけを残します。
🔂 表示中のフレームを	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保
保存	存します。

<u>動画の必要な部分を残す</u>



1 1コマ表示モード(□217)で編集したい動画を表示する

2 残したい範囲の冒頭部分(始点)で 動画を一時停止する

 マルチセレクターの中央ボタンを押す と、動画が再生されます。再生中にマ ルチセレクターの令を押すと、一時停 止します。



- プログレスバーで再生中の位置の目安 を確認できます。
- ③または④、メインコマンドダイヤル、サブコマンドダイヤルで 再生中の位置を調整できます。



4 始点を選ぶ

「始点」を選んで◎ボタンを押すと、
 そこから後ろの部分が残ります。





5 手順4で選んだ位置を調整する

- ◆ または ◆ を押して、残したい部分の 最初の位置を調整します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、 10秒前または後に移動します。
- サブコマンドダイヤルを回すと、先頭 フレームまたは最終フレームに移動し ます。



 動画記録時にインデックスマークを設定した場合(0060)は、 サブコマンドダイヤルを回すと、前後のインデックスマークに移 動します。

6残したい範囲の末尾の部分(終点) を選ぶ

 • On (ご)/?) ボタンを押して∮(終点) に切り換え、手順5と同じ手順で∮(終 点)の位置を調整します。



Оп (🖾/?) ボタン



7 ④を押して決定する

8保存する動画を確認する

- 「プレビュー」を選んで◎ボタンを押す と、編集後の動画のプレビューが再生 されます(プレビューを終了するには ◎を押します)。
- [キャンセル]を選んで[∞]ボタンを押す と、手順5の画面に戻ります。



9 動画ファイルの保存方法を選ぶ

• [新規保存] を選ぶと、編集前の動画と は別に、新しい動画として保存します。 [上書き保存] を選ぶと、編集前の画像 が上書きされます。



10動画ファイルを保存する

●ボタンを押して決定します。

▶ 動画編集時のご注意

- メモリーカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- [始点/終点の設定] では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

☑ 動画の前半または後半だけを残すには

- 動画の前半だけを残したい場合は、手順4で [終点] を選んで⊗ボタンを押してから、手順6では○n(四・/?)ボタンを押さずに手順7に進みます。
- 動画の後半だけを残したい場合は、手順6で**○** (□ /?) ボタンを押さずに 手順7に進みます。

☑ 画像編集メニュー [動画編集(始点/終点設定)]

動画の切り出しおよび保存は、画像編集メニューの [**動画編集 (始点/終点設** 定)] でも行えます (ロ270)。

<u>動画の1フレームをJPEG画像として保存する</u>

1 保存したい位置で動画を一時停止する

- 動画の再生中にマルチセレクターの を押すと、一時停止します。
- または を押すと、再生中の位置を 調整できます。



- 2 [表示中のフレームを保存] を選ぶ
 - ・
 iまたは
 ※ボタンを押して、
 [表示中の フレームを保存]を選んで
 wボタンを 押すと
 JPEGの
 画像として
 保存します。



- 動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] (□265) で設定した画像サイズで記録されます。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報(□ 223)で表示されない項目があります。

画像の記録

撮像範囲を変更する

撮像範囲を切り換えて撮影できます。

■ 撮像範囲設定

このカメラで設定できる撮像範囲は次の通りです。撮像範囲は、静止画 撮影メニューの[**撮像範囲**]の[**撮像範囲設定**]で設定するか(印84)、 ボタンとコマンドダイヤルで設定します(印84)。

FX FX (36×24)	35mm判カメラに準じた画角のFXフォーマットで画像を 記録します。35mm判カメラ用のニッコールレンズを装 着して撮影するときに設定します。
₩ 1.2× (30×20)	レンズに表記されている焦点距離の約1.2倍のレンズに相 当する画角になります。
₩ DX (24×16)	DXフォーマットで画像を記録します。レンズに表記され ている焦点距離の約1.5倍のレンズに相当する画角になり ます。
5:4 (30×24)	アスペクト比(縦横比)が5:4の画像を記録します。
1:1 (24×24)	アスペクト比(縦横比)が1:1の画像を記録します。



■ DX自動切り換え

静止画撮影メニュー [撮像範囲] の [DX自動切り換え] では、DXレン ズを装着したときに自動的に撮像範囲を [DX (24×16)] (DXフォー マット) に切り換えるかどうかを設定できます。

する	DXレンズを装着すると、自動的に撮像範囲を [DX (24×16)] に切 り換えます。	
しない	自動的に切り換えません。	

■ ファインダーのマスク表示

静止画撮影メニュー [**撮像範囲**]の [ファインダーのマスク表示]を [する] にすると、撮像範囲が [1.2× (30×20)]、[DX (24×16)]、 [5:4 (30×24)]、および [1:1 (24×24)]のときに記録されない部 分を薄暗く表示します。



1.2× (30×20)



5:4 (30×24)



DX (24×16)



1:1 (24×24)

🗹 「ケラレ」 について

DXレンズは通常の35mm判力メラ用レンズに比べ、イメージサークルが小さく なっています。このため、DXレンズを装着して[DX自動切り換え]を[しな い]に設定して[撮像範囲設定]を[FX (36×24)]や[1.2×(30×20)]、 [5:4 (30×24)]、[1:1 (24×24)]にして撮影すると、画面周辺部が黒くなる ことがあります。これを「ケラレ」といいます。ファインダー上ではケラレが ないように見えても、撮影した画像を再生すると周辺部が暗くなっていること や、充分な解像度が得られないことがあります。

✓ 撮像範囲の表示について

撮像範囲は、インフォ画面に表示されます。



■ 静止画撮影メニューの [撮像範囲] で設定する場合

1 静止画撮影メニューの [撮像範囲] を選んでマルチセレクターの③を 押す



2 [撮像範囲設定] を選ぶ

 ・[撮像範囲設定]を選んで
 ・を押すと、
 [撮像範囲設定]画面が表示されます。



3 設定したい撮像範囲を選ぶ

- ・設定したい撮像範囲を選んで、∞ボタンを押します。
- 設定に応じた撮像範囲がファインダー 内で確認できます(ロ81)。

	撮傷 撮傷	、範囲 、範囲設	定	Ð
	FX	FX	(36×24)	
-	122	1. 2×	(30×20)	
<u> </u>		DX	(24×16)	
	3	5:4	(30×24)	
	Ξ		(24×24)	

■ ボタンとコマンドダイヤルで設定する場合

1 カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能](□260) で任意のボタンに [撮像範囲選択]を割り当てる

- **2** [撮像範囲選択] を割り当てたボタンを押しながら、メイン コマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回す
 - 設定に応じた撮影範囲がファインダー内で確認できます (ロ84)。
 - [撮像範囲選択]を割り当てたボタンを 押すと、表示パネルやインフォ画面で 撮像範囲の設定を確認できます。



撮像範囲	表	示	
FX (36×24)	36 -	- 6	24
1.2× (30×20)	30 -	- i	20
DX (24×16)	24 -	-	15
5:4 (30×24)	30 -	- i	24
1:1 (24×24)	24 -	- i	24

▶ 撮像範囲の切り換えについて

撮像範囲の [**DX自動切り換え**]を [**する**] (四82) に設定してDXレンズを装着している場合、[**撮像範囲選択**]を割り当てたボタンでは撮像範囲は切り換えられません。

✓ 撮像範囲を変更したときの画像サイズについて

同じ画像サイズでも、[**撮像範囲**]の設定により、撮影画像のピクセル数が変化 します。

🖉 関連ページ

- •「動画撮影時の撮像範囲について」(四64)
- •「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□353)

画質モードを変更する

■ 画質モードについて

画像を記録する際の画質モードを選びます。

	画質モード	ファイル形式	内容
	RAW	NEF	撮像素子の生データを未現像の状態で 記録します。撮影時に設定したホワイ トバランスやコントラストなどを、撮 影後に変更できます。
1	RAW+FINE★/ RAW+FINE RAW+NORMAL★/ RAW+NORMAL RAW+BASIC★/ RAW+BASIC★/	NEF + JPEG	RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を 同時に記録します。
			RAWとJPEG (NORMAL) の2種類の画 像を同時に記録します。
			RAWとJPEG (BASIC) の2種類の画像 を同時に記録します。
	FINE★/FINE 高 ↑		画像データを約1/4に圧縮して記録し ます(サイズ優先時)。
	NORMAL★/ NORMAL	JPEG	画像データを約1/8に圧縮して記録し ます(サイズ優先時)。
	BASIC★/ ↓ BASIC 低		画像データを約1/16に圧縮して記録し ます(サイズ優先時)。
	TIFF (RGB)	TIFF (RGB)	画像を8ビット非圧縮のTIFF-RGB形式 で記録します。多くの画像アプリケー ションで使用できます。

✓ JPEG画像の圧縮方式について

JPEG画像は★の有無によって圧縮方式が異なります。

- ★がある項目は画質優先となり、画質の劣化を抑えて圧縮します。画像によってファイルサイズは異なります。
- ★がない項目はサイズ優先となり、ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。

🖉 関連ページ

「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□353)

■ 画質モードの設定方法

QUALボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

画質モードは表示パネルに表示されます。



QUALボタン

ダイヤル

RAW画像について

· 画像編集メニューの「RAW現像」(□269)、またはNX Studioなどのソフト ウェアを使うと、RAW画像を現像できます。

🦉 [画質モード] について

画質モードは静止画撮影メニュー(□244)でも設定できます。

RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- 画質モード[RAW+FINE★]、[RAW+FINE]、[RAW+NORMAL★]、[RAW +NORMAL]、「RAW+BASIC★」、「RAW+BASIC」で撮影したとき、カメ ラでは IPFG 画像のみを再生します。メモリーカードを1枚使用している場合、 IPFG画像と同時記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。
- メモリーカードを1枚使用しているときや、メモリーカードを2枚使用してい ても「副スロットの機能](□91)が「順次記録]または「バックアップ記 録〕のときに画質モード「RAW + FINE★」、「RAW + FINE」、「RAW + NORMAL \star], [RAW + NORMAL], [RAW + BASIC \star], [RAW + BASIC] で撮影した場合、RAW画像と同時記録されたIPFG画像をカメラ上で削除する と、RAW画像も削除されます。
- 「**副スロットの機能**]を「RAW+JPFG 分割記録]に設定してメモリーカード を2枚使用している場合は、画質モード [**RAW+FINE★**]、 [**RAW+FINE**]、 $[RAW + NORMAL \star]$, [RAW + NORMAL], $[RAW + BASIC \star]$, [RAW+BASIC]で撮影すると、RAW画像が主スロットに、IPFG画像が副スロット に記録されます。RAW画像と同時記録された IPFG画像を削除する場合は、そ れぞれのスロットから削除してください(ロ238)。

■ RAW画像の圧縮方式を選ぶ

静止画撮影メニュー [RAW記録] で [圧縮方式] を選んで、RAW画像の記録時の圧縮方式を設定します。

ONĪ	ロスレス 圧縮RAW	可逆圧縮します(データを完全に復元できます)。[非圧縮 RAW]に対してファイルサイズが約60~80%になります。 記録した画像は [非圧縮RAW] と同等の画質になります。
ONŸ	圧縮RAW	非可逆圧縮します(データは完全には復元できません)。 [非圧縮RAW]に対してファイルサイズが約45~65%にな ります。非可逆圧縮ですが、記録した画像は [非圧縮RAW] とほぼ同等の画質になります。
	非圧縮RAW	圧縮しないため、[ロスレス圧縮RAW]や[圧縮RAW]に 比べ、ファイルサイズが大きくなります。

■ RAW画像の記録ビット数を選ぶ

静止画撮影メニュー [RAW記録] で [記録ビットモード] を選んで、 RAW画像の記録ビット数を設定します。

12-bit	12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
		RAW画像を14ビットで記録します。[12ビット記録]の場
14-bit	14ビット記録	合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイ
		ルサイズは[12ビット記録]よりも大きくなります。
画像サイズを変更する

画像のサイズ(大きさ)は [サイズL]、[サイズM]、[サイズS]のい ずれかに設定できます。画像サイズは撮像範囲との組み合わせで変わり ます(印81)。

撮像範囲	画像サイズ
FX (36×24)	L (8256×5504ピクセル)
	M (6192×4128ピクセル)
	S (4128×2752ピクセル)
	L (6880×4584ピクセル)
1.2× (30×20)	M (5152×3432ピクセル)
	S (3440×2288ピクセル)
DX (24×16)	L (5408×3600ピクセル)
	M (4048×2696ピクセル)
	S (2704×1800ピクセル)
	L (6880×5504ピクセル)
5:4 (30×24)	M (5152×4120ピクセル)
	S (3440×2752ピクセル)
1:1 (24×24)	L (5504×5504ピクセル)
	M (4128×4128ピクセル)
	S (2752×2752ピクセル)

■ 画像サイズの設定方法

QUALボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

- •表示パネルに画像サイズが表示されます。
- RAW画像の画像サイズは静止画撮影メニュー[画像サイズ]の[RAW]
 で設定してください。



[画像サイズ] について JPEGまたはTIFFの画像サイズは、静止画撮影メニュー [画像サイズ]の [JPEG/TIFF]でも設

定できます。

 RAW 画像の画像サイズが [サイズ M] または [サイズS] の場合、[RAW記録] の [圧縮方式] (印88) は [ロスレス圧縮RAW] に、[記録ビッ トモード] (印88) は [12ビット記録] に固定 されます。



2枚のメモリーカードに記録する (主スロットの選択、副スロットの機能)

このカメラは、XQDカードとSDカードを同時に使うことができます。 このとき、優先的に使うスロット(主スロット)を選んだり、もう一方 のスロット(副スロット)の機能を設定できます。

■優先的に使うスロットを決める

静止画撮影メニュー [**主スロットの選択**]を選んで、撮影時や再生時に 優先的に使うスロットを設定します。

XQDスロット	XQDカードを優先的に使うときに選びます。
SDスロット	SDカードを優先的に使うときに選びます。

■ 副スロットの機能

静止画撮影メニュー [**副スロットの機能**]を選んで、副スロットへの記 録方法を設定します。

□▶□ 順次記録	主スロットから優先的に記録し、空き容量がなくなったら、 記録先を副スロットに変更します。
□+□ バックアップ 記録	バックアップ用として同じ画像を主スロット、副スロット に記録します。
ເଭົ•Ü RAW+JPEG 分割記録	 「画質モード」が「RAW+FINE★」、[RAW+FINE]、 [RAW+NORMAL★]、[RAW+NORMAL]、 [RAW+BASIC★]、または [RAW+BASIC]の場合、主ス ロットにRAW画像、副スロットにJPEG画像を記録します。 その他の画質モードの場合は、同じ画像を主スロットと副 スロットの両方に記録します。

☑ [バックアップ記録] と [RAW+JPEG分割記録] について

- 表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数には、記録可能コマ数が少ないスロットのコマ数を表示します。
- どちらか一方のスロットの空き容量がなくなると、シャッターがきれなくなります。

🖉 動画を記録するスロットについて

動画撮影メニューの[動画記録先]で、記録するスロットを設定できます(ロ249)。

フォーカス

オートフォーカスで撮影する

フォーカスモードセレクターを フォーカスモード AFに合わせると、オートフォーカ スになります。ここでは、ファイ ンダーを見ながら撮影するとき の、オートフォーカスでのピント の合わせ方について説明してい ます。

ヤレクター





 このカメラは、153点のフォーカスポイント を使用してピントを合わせます。そのうち の55点(図の□で表示されているポイント) は自分で選ぶことができます(四103)。



選択可能な フォーカスポイント

🖉 クロスセンサーについて

使用できるフォーカスポイントのうち、クロスセンサーを使用するポイントは 装着しているレンズによって異なります。

装着するレンズ	クロスセンサー ** ² (グレーのエリア内にある フォーカスポイント)
下記のレンズを除く開放絞り値**1がF4以上 明るいAF-S/AF-Pレンズ	 クロスセンサー 99点
 AF-S DX Zoom-Nikkor 12–24mm	D:0 0:0 0:0 0:0 0:0 0:0
f/4G IF-ED AF-S Micro NIKKOR 60mm f/2.8G ED AF-S NIKKOR 600mm f/4G ED VR AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR AF-S Nikkor 600mm f/4D IF-ED II AF-S Nikkor 600mm f/4D IF-ED	0:0 0:0 0:0 0:0 0
 AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II AF-S VR Zoom-Nikkor 200–400mm	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
f/4G IF-ED AF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VR AF-S Nikkor 500mm f/4D IF-ED II AF-S Nikkor 500mm f/4D IF-ED 開放絞り値*1がF4より暗いAF-S/AF-Pレンズ AF-S/AF-Pレンズを除くその他のレンズ	0.0 0.0 0.0 0.0

※2 クロスセンサー以外のポイントは、ラインセンサーで横線を検出します。

☑ AF-S/AF-Iテレコンバーター使用時のフォーカスポイントについて

AF-S/AF-Iテレコンバーターを使用する場合、オートフォーカスとフォーカスエ イドが可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです(合成絞り値がF5.6よ り暗い場合は、コントラストの低い被写体や輝度の低い被写体の撮影時にピン トが合わないことがあります)。

使用する テレコンバーター	装着する レンズの 開放絞り値 ^{※1}	使用可能なフォーカスポイント (グレーのエリア内にある フォーカスポイントは クロスセンサー* ²)
TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III TC-17E II TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III	F2	 ローローの ローの ロ
TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III	F2.8	 クロスセンサー 99点
TC-17E II TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III	F2.8	
TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III	F4	 153点(選択可能ポイント55点) クロスセンサー 45点
TC-17E II	F4	
TC-800-1.25E ED	F5.6	 37点(選択可能ポイント17点) クロスセンサー 25点
TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III	F4	
TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III	F5.6	 15点(選択可能ポイント9点) クロスセンサー5点

※1 ズームレンズの場合は最も望遠側の開放絞り値。

- ※2 クロスセンサー以外のポイントは、ラインセン サーで横線を検出します。ただし、クロスセン サー5点の場合、図の■のポイントのみ縦線を 検出します。
- AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDをお使いの場合、オートフォーカス撮影はできません。

AFモードを変更する

AF-S	シングル AFサーボ	 静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはシャッターはきれません。 初期設定はピントが合うとシャッターがきれるフォーカス優先モードです(□253)。
AF-C	コンティニュアス AFサーボ	ファインダー内のピント表示(●)がいったん点灯し てもフォーカスロックはされず、シャッターをきるま でピントを合わせ続けるモードです。スポーツなど動 きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボ タンの半押しを続けると、被写体が動いている場合に は予測駆動フォーカス(□97)に切り替わり、被写 体の動きに合わせてピントを追い続けます。 •初期設定ではピントの状態に関係なく、いつでも シャッターがきれるレリーズ優先モードです (□253)。

■ AFモードの変更方法

AFモードボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

• AFモードは、表示パネルとファインダー内表示に表示されます。



🖉 関連ページ

- AF-Cをフォーカス優先モードにする →
 ▲ a1[AF-Cモード時の優先](□253)
- シャッターボタン半押しでオートフォーカスが作動しないようにする

 →
 ∲ a8 [半押しAFレンズ駆動](□254)
- ・サブコマンドダイヤルでAFモードを切り換えられるようにする →
 ∲ f4 [コ マンドダイヤルの設定]の[メインとサブの入れ換え](□261)
- ライブビュー / 動画撮影時の AF モードを設定する → 「AF モードを変更する」
 (□ 38)

✓ AF-ONボタンについて

AF-ON ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体 にピントを合わせます。



AF-ONボタン

🖉 予測駆動フォーカスについて

ファインダー撮影時のAFモードがAF-Cのときに、シャッターボタンを半押し するか、AF-ONボタンを押してピントを合わせる場合、被写体が近づいてきたり 遠ざかっていくのをカメラが認識すると、自動的に予測駆動フォーカスに切り 替わります。予測駆動フォーカスが作動すると、シャッターがきれる時点での 到達位置を予測しながらピントを合わせ続けます。

<u>AFエリアモードを変更する</u>

AFエリアモード	内容			
シングル ポイントAF	フォーカスポイントを自分で選べます(凹103)。選んた フォーカスポイントだけを使ってピント合わせをします。 計している被写体の撮影に適しています。			
ダイナミックAF・ 9点/ ダイナミックAF・ 25点/ ダイナミックAF・ 72点/ ダイナミックAF・ 153点	AFモードのAF-C (四96) との組み合わせで、撮影者が選ん だ1つのフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、 周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピン トを合わせます。 ・ダイナミックAF・9点/ダイナミックAF・25点:構図を決 めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォー カスポイントで被写体を捉えやすい撮影に適しています (例:陸上競技やモータースポーツ)。 ・ダイナミックAF・72点:動きがランダムで予測しにくい被 写体の撮影に適しています(例:フィールドスポーツ)。 ・ダイナミック AF・153 点:被写体の動きが速く、選んだ フォーカスポイントで被写体を捉えにくい場合の撮影に適 しています(例:野鳥撮影)。			
3D-トラッキング	AFモードのAF-C (四96) との組み合わせで、153点全ての フォーカスポイントを使って被写体を追尾する3D-トラッキ ングになります。選んだフォーカスポイントで被写体にピン トを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間は被 写体の動きに合わせて、フォーカスポイントを自動的に切り 換えて被写体にピントを合わせ続けます。左右に動く被写体 を自由な構図で撮影するのに適しています(例:テニス)。 ・カメラが途中で被写体を見失ってしまった場合は、いった んシャッターボタンを放して、もう一度フォーカスポイン トで被写体にピントを合わせてください。			

AFエリアモード	内容			
グループエリア AF	撮影者が選んだフォーカスポイント(グループ)を使ってピ ント合わせをします。広い範囲で被写体を捉えるため、誤っ て背景にピントが合ってしまうことが起こりにくくなりま す。1つのフォーカスポイントでは捉えにくい被写体を撮影 する場合に適しています。 • AFモードがAF-Sのときは、人物の顔を認識します。その場 合は、認識した顔を優先してピントを合わせます。			
オートエリアAF	カメラが自動的に全ての フォーカスポイントから被写 体を判別してピントを合わせ ます。また、人物の顔を認識し た場合は優先してピントを合 わせます。 • AF モードが AF-S のときは、 ピントが合った複数のフォーカスポイントを一瞬表示しま す。AF-Cのときは、使用するフォーカスポイント1点を表 示します。			

■ AFエリアモードの変更方法 AFモードボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す • AFエリアモードは、表示パネルとファインダー内表示に表示されます。





ファインダー内表示

3D-トラッキングについて

3D-トラッキングでは、半押ししていったんピントが合った時点で、選んだフォーカスポイント周辺の色を記憶します。そのため、被写体の色が周囲の色と似ていたり、半押し開始時の被写体が小さいと、うまく動作しない場合があります。

AFエリアモードの表示について

表示パネルおよびファインダー内表示の各AFエリアモードの表示は次のように なります。

AFエリアモード	表示パネル	ファインダー内表示	ファインダー内表示 (撮影時)
シングルポイント AF	5	5	
ダイナミックAF・ 9点*	d 9	6 9	
ダイナミックAF・ 25点※	d 25	6 25	
ダイナミックAF・ 72点*	57 6	55 8	
ダイナミックAF・ 153点*	d (53	d (53	$\begin{array}{c} \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.00 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 & 0.0 \\ \hline $
3D-トラッキング	30	36	
グループエリアAF	GrP	Gr P	
オートエリアAF	Ruto	Ruto	

※実際にファインダーに表示されるフォーカスポイントは1点のみです。 ピント情報として利用する周辺のフォーカスポイントの数を選択できます。

☑ AF-S/AF-Iテレコンバーター使用時のAFエリアモードついて

AF-S/AF-Iテレコンバーターを使用して合成絞り値がF5.6より暗い場合、AFエリ アモードを3D-トラッキングまたはオートエリア AF に設定していても、シング ルポイントAF に変更されます。

🖉 関連ページ

- 3D-トラッキング時に顔認識するかどうかを設定する →

 ▲ (3D-トラッキ
 ングの顔認識)(□253)
- 3D-トラッキング時に追尾する被写体の範囲を設定する →

 ▲ a5[3D-トラッ
 キングの捕捉領域](□253)
- カメラの縦位置と横位置で個別にフォーカスポイントやAFエリアモードを設定する → ▲ a7 [縦/横位置フォーカス切換](□254)
- フォーカスポイントの表示の設定を変更する →
 よ a12[フォーカスポイント 表示の設定](□254)
- メインコマンドダイヤルでAFエリアモードを切り換えられるようにする
 → ▲ f4 [コマンドダイヤルの設定]の [メインとサブの入れ換え](□261)
- ライブビュー/動画撮影時のAFエリアモードを設定する→「AFエリアモード を変更する」(□140)

<u>フォーカスポイントを自分で選ぶ</u>

153点のフォーカスポイントのうち、55点を 自分で選べます。フォーカスポイントを自分 で選ぶことで、構図を自由に変えられます。

1 フォーカスポイントロック レバーのロックを解除する

 フォーカスポイントロック レバーを回して・に合わ せ、ロックを解除すると、 マルチセレクターでフォー カスポイントを選べるよう になります。



フォーカスポイント ロックレバー

- 2 半押しタイマーがオンの ときに、ファインダーを のぞきながらマルチセレ クターでフォーカスポイ ントを選ぶ
 - ファインダー内で、フォー カスポイントが移動します。
 - 中央ボタンを押すと、中央
 部のフォーカスポイントが
 選ばれます。
 - フォーカスポイントロック レバーをLの位置に回すと、 フォーカスポイントをロッ ク(固定)します。







▼ オートエリアAFモードについて

AFエリアモードがオートエリアAFの場合、フォーカスポイントをカメラが自動 的に決めるため、自分ではフォーカスポイントを選べません。

🖉 サブセレクターについて

- サブセレクターは、中央を押す操作に加え、上下左右に倒して操作することもできます。側面から押すと、正しく動作しないことがあります。
- マルチセレクターの代わりにサブ セレクターを上下左右に倒して フォーカスポイントを選ぶことも できます。



- ・サブセレクターの中央を押している間、AEロック(□135)とフォーカスロック(□105)を同時に行います。
- サブセレクターを操作するときは、爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

🖉 関連ページ

- マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数を変える →
 ▲ a6 [AF点 数切り換え](□253)
- カメラの縦位置と横位置で個別にフォーカスポイントや AF エリアモードを 設定する → ▲ a7 [縦/横位置フォーカス切換](□254)
- フォーカスポイントの選択を循環方式にする →
 ★ a11[フォーカスポイント 循環選択](□254)
- フォーカスポイントの点灯に関する設定を変更する →
 ◆ a12[フォーカスポ イント表示の設定](□254)
- ・サブセレクターを上下左右に倒したときの機能を変更する →

 f1[カスタム ボタンの機能]の
 [サブセレクター](□260)
- ・サブセレクターの中央を押したときの機能を変更する → ∮ f1[カスタムボタンの機能]の[サブセレクター中央](□260)
- マルチセレクターの中央ボタンを押したときの機能を変更する → ∮ f2[中央 ボタンの機能](□260)

<u>ピントを固定して撮影する(フォーカスロック)</u>

ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らな いときや、オートフォーカスが苦手な被写体(ロ107)を撮影するとき には、次の手順でピントを固定(フォーカスロック)して撮影してくだ さい。

フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード(¹¹⁹⁸)をオートエリ アAF以外に設定することをおすすめします。



2 ピントを固定する

AFモード(196)がAF-Cのとき シャッターボタンを半押ししたまま (1)、サブセレクターの中央を押すと (2)、ピントが固定されます。サブセ レクターの中央を押している間は、 シャッターボタンから指を放しても、 ピントと露出が固定されます。

 サブセレクターの中央を押している 間、ファインダー内にはAE-Lマーク が点灯します。





AFモードがAF-Sのとき

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。 サブセレクターの中央を押してピントを固定することもできます。 **3** フォーカスロックを行ったままで構図を変え、 シャッターボタンを全押しして撮影する



 被写体との距離は変えない でください。フォーカス

ロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんフォーカ スロックを解除し、ピントを合わせ直してください。

🖉 シャッターボタンの半押しで露出を固定するには

カスタムメニュー c1 [**シャッターボタンAEロック**]を [**する(半押し)**] に設 定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます(ロ256)。

✓ ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- サブセレクターの中央を押してフォーカスロックを行った場合は、サブセレク ターの中央を押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

🖉 AF-ONボタンを使ったフォーカスロックについて

- シャッターボタンの代わりにAF-ONボタンを押してピントを合わせることもできます(ロ97)。
- ファインダー撮影時にカスタムメニュー a8 [半押しAFレンズ駆動](□254)が
 しない]に設定されている場合は、AF-ONボタンを押したときだけピント合わせを行い、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。このとき、AF-ONボタンでピントを合わせた後でAF-ONボタンから指を放してもフォーカスロックの状態を維持します。フォーカスロックを解除してピントを合わせ直すには、もう一度AF-ONボタンを押してください。

🖉 オートフォーカスの苦手な被写体について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッ ターがきれないことや、ピントが合わなくてもピント表示(●)が点灯し、シャッ ターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス (□108) でピントを合わせるか、フォーカスロック(□105)を利用してくだ さい。



被写体の明暗差がはっきりしない場合

(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)





フォーカスポイント内に遠くのものと近くのものが混 在する被写体

(オリの中の動物など)

連続した繰り返しパターンの被写体 (ビルの窓やブラインドなど)

被写体の明暗差が極端に異なる場合 (太陽を背景にした日陰の人物など)







絵柄が細かい場合 (一面の花畑など)

マニュアルフォーカスで撮影する

使用するレンズの種類によって、ピントを手動(マニュアル)で合わせ るときの設定が異なります。各レンズでのマニュアルフォーカスの設定 は次の通りです。

 AFレンズを使用している場合: カメラのフォーカスモードセレ クターをMにしてください。レ ンズにフォーカスモード切り換 えスイッチがある場合は、レン ズ側のフォーカスモードもMに してください。

フォーカスモード



- AF-S レンズやフォーカスモー ド切り換えスイッチのあるAF-Pレンズを使用している場合は、レン ズのフォーカスモード切り換えスイッチをMにしてください。カメラ のフォーカスモードセレクターを切り換える必要はありません。
- マニュアルフォーカスレンズを使用する場合:マニュアルフォーカス レンズを使用すると、常にマニュアルフォーカスで撮影できます。

ピントは、レンズのフォーカスリングを回し て、ファインダー内のメインの被写体がはっ きり見えるように合わせます。



▲ AF-S/AF-Pレンズ以外のAFレンズでマニュアルフォーカスをする 場合のご注意

必ずカメラのフォーカスモードセレクターをMにしてください。フォーカスモー ドセレクターがAFのままマニュアルフォーカスをすると、カメラやレンズの故 障の原因になります。

■ フォーカスエイドによるピント合わせ

マニュアルフォーカスで撮影するときは、ファ インダー内のピント表示(●)でピントが合っ ているかどうかを確認できます。ピントが合っ ているかどうかの基準となるフォーカスポイ ントは55カ所から選べます。



- ・ピントが合うとピント表示(●)が表示されます。
- オートフォーカスの苦手な被写体(□107)では、ピントが合っていなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。
- 別売の AF-S/AF-I テレコンバーターを装着した場合のフォーカスエイドが可能なフォーカスポイントについては、「AF-S/AF-I テレコンバーター使用時のフォーカスポイントについて」(ロ94)をご覧ください。

☑ AF-Pレンズ使用時のマニュアルフォーカスについて

AF-Pレンズを使ってマニュアルフォーカスでピントを合わせるときに、ファイ ンダー内のピント表示が点滅した場合、それ以上同じ方向にフォーカスリング を回しても、ピントは合いません(ライブビュー撮影時には、画像モニターの フォーカスポイントが点滅します)。

🖉 距離基準マークについて



1コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、 レリーズモードを変更する

レリーズモードダイヤルロックボタンを押し ながら、レリーズモードダイヤルを回すと、 シャッターをきる(レリーズする)ときの動 作を設定できます。

 レリーズモードのアイコンをレリーズモー ドダイヤル指標に合わせてください。



レリーズモードダイヤル 指標

レリーズモード	内容		
S 1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。		
CL 低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、カスタムメニューd1 [低速連続撮影速度](□256)で設定した速度で連続撮影し ます(□111)。		
CH 高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、「連続撮影速度について」(ロ111)に記載されている速度で連続撮影します。動きのある被写体などに使用すると便利です。		
Q 静音撮影	 1コマ撮影時より静かに撮影したい場合に適しています。静音撮影では、シャッターボタンを全押ししている間はミラーダウンしません。シャッターボタンを半押し状態に戻すとミラーダウンするため、ミラーダウン音のタイミングを遅らせることができます。また、ミラーダウンする音も1コマ撮影に比べ静かです。 静音撮影時には、セットアップメニュー [電子音](□265)の[電子音設定]の設定にかかわらず、電子音も鳴りません。 		
Qc 静音連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、連続静音撮影します (皿111)。		

レリーズモード	内容
心 セルフタイマー 撮影	セルフタイマー撮影ができます(口113)。
MUP ミラーアップ撮影	カメラ本体のミラーアップを行い、撮影時にミラーアップの 振動によるブレを防ぐことができます(ロ115)。超望遠撮影 時や接写撮影時に効果的です。

連続撮影速度について

このカメラは電源の種類で連続撮影速度が変わります。次の表は、AF モードがAF-C、露出モードSまたはM、1/250秒以上の高速シャッター スピードで、その他が初期設定のときの値です。

電源	Сн	CL
本体のみ(EN-EL15a、またはパワー コネクター EP-5BとACアダプター EH-5c/EH-5b)	最大約7コマ/秒	最大約1~6コマ/秒
MB-D18装着時 (EN-EL15aまたは 単3形電池)	最大約7コマ/秒	最大約1~6コマ/秒
MB-D18装着時(EN-EL18c)	最大約9コマ/秒	最大約1~8コマ/秒

•次の場合など、条件によって連続撮影速度が遅くなることがあります。

- シャッタースピードが低速の場合
- 感度自動制御を [する] にして感度が自動制御されているとき (□118)
- ISO感度を高感度(Hi 0.3~Hi 2)に設定している場合
- 静止画撮影メニュー [フリッカー低減]の [フリッカー低減機能] が [有効] のときに、フリッカーが検出されている場合 (ロ247)
- レンズの絞りを著しく絞り込んだ場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合
- バッテリーの残量が少ないとき
- 一部のレンズを使用したとき
- 非CPUレンズ装着時およびカスタムメニューf4 [コマンドダイヤルの設定]の [絞り値の設定方法]を [絞りリング] に設定した場合 (□261)
- マルチパワーバッテリーパックMB-D18で単3形電池を使用している場合に、電 池が消耗しているとき、または低温になっているとき
- レリーズモードがQcのときの連続撮影速度は、約3コマ/秒に固定されます。

✓ 連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可
 能コマ数が表示パネルとファインダー内表示の記録可能コマ数表示部に表示されます。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその 目安です。カメラの設定や撮影条件によって増 減することがあります。



- 電源をONにした直後は、連続撮影可能コマ数が一時的に少なく表示されることがあります。
- ライブビュー時は、画像モニターで連続撮影可能コマ数を確認できます。

▶ 連続撮影についてのご注意

- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度メモリーカードアクセスランプが点灯します。メモリーカードアクセスランプの点灯中にカメラからメモリーカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとメモリーカードに不具合が生じるおそれがあります。
- メモリーカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がメモリーカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されて終了します。

🖉 関連ページ

- 連続撮影した画像を最初のコマから再生するか最後のコマから再生するかを設定する→
 「連続撮影後の再生画像」(□242)
- 「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□353)

セルフタイマーを使って撮影する(🕚)

レリーズモードダイヤルを レリーズモードダイヤルを (セル フタイマー撮影)に合わせる

 レリーズモードダイヤルロックボタン を押しながら、
 ひに合わせます。

2 構図を決め、ピントを合わせる

AFモードがAF-Sでピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。

3 セルフタイマー撮影を 開始する

- シャッターボタンを全押し すると、セルフタイマー
 ランプが約8秒間点滅後、約2秒間点灯して合計で約10秒後に シャッターがきれます。
- レリーズモードダイヤルを他のモードに切り換えると、セルフタ イマーは解除されます。

🖉 ファインダーから顔を離して撮影するときは

ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファ インダーから入った光が適正露出や画像に影響を 与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前 にアイピースシャッターレバーを回してアイピー スシャッターを閉じることをおすすめします。







🖉 関連ページ

- セルフタイマー撮影時の電子音を設定する → ¥ [電子音](□265)

ミラーアップして撮影する(MUP)

ミラーアップ撮影すると、撮影時にミラーアップの振動によるブレを防 ぐことができます。

- レリーズモードダイヤルロックボタンを押しながら、レリーズモードダイヤルをMUP (ミラーアップ撮影)に合わせます。
- シャッターボタンを半押ししてピントと露 出を合わせた後、全押しするとミラーアッ プします。ミラーアップ時は表示パネルに 「rdy」が表示されます。





•もう一度シャッターボタンを全押しすると撮影できます。

▶ ミラーアップ中のご注意

- ファインダーで構図を確認できません。
- オートフォーカスと測光は使えません。

🖉 ミラーアップ撮影について

- 三脚の利用をおすすめします。
- ブレを防ぐため、シャッターボタンは静かに押してください。
- 撮影が終了すると、ミラーダウンします。
- ミラーアップ開始後約30秒経過すると、自動的にシャッターがきれます。
- ライブビュー撮影時は、シャッターボタンを一度全押しするだけで撮影できます。

ミラーアップ撮影時の電子音について

セットアップメニュー [電子音] (ロ265)の [電子音設定] を [有効] に設定 しているときは、ミラーアップ後のシャッターボタン全押しのときに電子音が 鳴ります。

✓ 関連ページ

ISO感度

ISO感度を変更する

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度(ISO感度)を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます(同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合)。ISO感度はISO 64~25600の間で1/3段ステップで設定できます。また、ISO 64から約0.3段~約1段の範囲での減感と、ISO 25600から約0.3段~約2段の範囲での増感ができます。

IIIISO感度の設定方法

ISO(wm)ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

• ISO感度は、表示パネルとファインダー内表示に表示されます。



メインコマンドダイヤル

🖉 [ISO感度] について

ISO感度は静止画撮影メニューの [**ISO感度設定**] (ロ244) でも設定できます。

	静止画撮影メニュー	
	画質モード	NORM
o N ¥ [画像サイズ	
	RAW記録	
	1SO感度設定	
1	ホワイトバランス	AUT0o
	ピクチャーコントロール	ΞA
	カスタムビクチャーコントロール	
	色空間	sRGB

✓ ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効 果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発 生する場合があります。

/ 高感度(Hi 0.3~Hi 2)に設定した場合

ISO 感度を [**Hi 0.3**] に設定すると、ISO 25600 に対して約 0.3 段分増感し (ISO 32000相当)、[**Hi 2**] では約2段分の増感になります (ISO 102400相当)。 これらのISO感度に設定したときは、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生し やすくなります。

🖉 低感度(Lo 0.3~Lo 1)に設定した場合

ISO感度を[Lo 0.3]に設定すると、ISO 64に対して約0.3段分減感します(ISO 50 相当)。[Lo 1] では約1段分の減感になります(ISO 32相当)。明るい場所で絞 りを開きたい場合などに使用してください。これらのISO感度で撮影した画像 は、やや硬調な仕上がりになりますので、通常の撮影では[64] 以上をお使い ください。

🖉 関連ページ

- ・高感度撮影時のノイズを低減する → △/環 [高感度ノイズ低減](□246、
 251)

感度自動制御機能を使う

感度自動制御機能は、設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、 カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。

■感度自動制御の設定方法

静止画撮影メニューの[ISO感度設定]で[感度自動制御]を選んでマルチセレクターの€を押す



2 [する] を選ぶ

 [する]を選んで∞ボタンを押すと、カ メラが自動的にISO感度を変更するよう になります。フラッシュ撮影時も、フ ラッシュの光量が適正となるように感 度自動制御が機能します。



• [**しない**] を選ぶと、[**ISO感度**] で設定したISO感度に固定されます。

3 感度の制御方法を設定する

 カメラが感度を自動的に制御する方法 を選びます。



制御上限感度	感度自動制御するときにISO感度が高くなりすぎないよう に、上限感度(72~Hi 2)を設定できます。ISO感度の下 限は64になります。
↓ 使用時の 制御上限感度	別売スピードライト(四280)を使用した場合の上限感度 (72~Hi 2)を設定できます。[フラッシュなしの設定と同 じ]を選ぶと、[制限上限感度] と同じ設定になります。
低速限界設定	 露出モードPまたはAで感度自動制御が働き始めるシャッタースピードを1/4000~30秒から設定できます。また、 [オート] に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッタースピードの低速限界をカメラが自動で設定します(CPUレンズ装着時のみ)。例えば、望遠レンズ使用時は手ブレが発生しやすくなるため、低速限界が自動的に高速側に設定され、ブレを軽減できます。 「オート] を選んで ②を押すと、補正値の設定面面が表示されます。低速限界をカメラが自動で設定するときに、より高速側または低速側になるように調整できます。高速で移動する被写体を撮影する場合は、補正値を高速側に設定するとブレを軽減できます。 「SO感度を上欄の「制御上限感度」まで上げても露出不足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<

[感度自動制御]を [する] にすると、表示 パネルとファインダー内表示にISO AUTO 表示が点灯します。その場合は、[ISO感度] で設定した感度で撮影されます。感度が自動 制御されるとISO AUTO表示が点滅し、制 御されたISO感度が表示されます。



☑ 感度自動制御の設定について

ISO (細) ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、[感度自動制御]をISO AUTO (感度自動制御する)とISO (感度自動制御しない) に切り 換えられます (口118)。

▶ 感度自動制御についてのご注意

- [制御上限感度] で設定したISO感度よりも[ISO感度](四116)で設定した ISO感度が高い場合、[ISO感度]で設定したISO感度を制御上限感度として撮 影します。
- フラッシュ撮影時のシャッタースピードはカスタムメニューe1 [フラッシュ 撮影同調速度] (ロ259) とe2 [フラッシュ時シャッタースピード制限] (ロ259) で設定した範囲内に制限されます。[低速限界設定] のシャッター スピードをこの範囲外に設定した場合は、シャッタースピードの下限はe2 [フ ラッシュ時シャッタースピード制限] で設定したシャッタースピードに制限さ れます。
- レンズ情報を登録していない非CPUレンズ使用時は、低速限界設定が1/30秒 に固定されます。
- 別売スピードライトの装着時にフラッシュモードをスローシンクロに設定していても、背景の明るさがより適正となるように感度自動制御が機能して感度が自動的に上がり、シャッタースピードが低速にならないことがあります(□182、187)。

✓ 関連ページ

測光・露出

測光モードを設定する

適正な露出を得るために、カメラが被写体の明るさを測ることを「測 光」といいます。

区 マルチパターン 測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い 領域を測光して、被写体の輝度(明るさ)分布、色、距離や構 図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画 像が得られます。
● 中央部重点 測光	 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 測光範囲はカスタムメニュー b6 [中央部重点測光範囲](ロ255)で変更できます。非CPUレンズおよびAF-S Fisheye NIKKOR 8-15mm f/3.5-4.5E ED使用時は φ 12mm相当にな b = t
・ スポット 測光	フォーカスポイントに重なる φ4mm 相当(全画面の約1.5%) の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいと きなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適し ています。 ・ 測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、 AFエリアモード(ロ98)がオートエリアAFのときや、非CPU レンズおよびAF-S Fisheye NIKKOR 8–15mm f/3.5–4.5E ED 使用時は、中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光 します。
 ・* ハイライト重点 測光 	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、 ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適してい ます。

■ **測光モードの設定方法** ②ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す ・測光モードは、表示パネルとファインダー内表示に表示されます。



🖉 マルチパターン測光とレンズの組み合わせについて

測光モードがマルチパターン測光のときの測光方式は、レンズの種類によって 変わります。

- CPUレンズ
 - 「3D-RGBマルチパターン測光III」:G、EまたはDタイプのCPUレンズ使用 時の測光方式です。距離情報を利用して測光します。
 - -「RGBマルチパターン測光町」:G、EまたはDタイプ以外のCPUレンズ使用 時の測光方式です。距離情報は利用しません。

非CPUレンズ

- セットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**] (□212) でレンズ情報を 設定すると、「RGBマルチパターン測光」になります。レンズ情報を設定し ない場合は、中央部重点測光になります。

🖉 ハイライト重点測光とレンズの組み合わせについて

測光モードがハイライト重点測光のときは、一部のCPUレンズ(G、E、Dタイ プ以外のAFレンズ、AI-Pニッコールレンズ)または非CPUレンズを使用すると、 自動的に中央部重点測光に変更されます(CP272)。

🖉 関連ページ

- ・中央部重点測光の測光範囲を変更する → ∮ b6 [中央部重点測光範囲]
 (□255)

シャッタースピードや絞り値で露出を 設定する(露出モード)

MODE ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、露出モードを設定できます。

•表示パネルの露出モードのアイコンが切り替わります。







MODEボタン

メインコマンド ダイヤル

Ρ	プログラムオート (□□124)	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに 使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが 自動制御します。
5	シャッター優先 オート(囗 125)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。 シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自 動制御します。
R	絞り優先オート (□□126)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使いま す。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラ が自動制御します。
Μ	マニュアル (皿128)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。 長時間露出 (バルブ、タイム)撮影も、このモードで行い ます。

▶ 使用レンズについてのご注意

- CPUレンズ(Gタイプ、Eタイプレンズを除く)の絞りリング(□275)は、 必ず最小絞り(一番大きい数値)にセットしてください。
- 露出モードがPまたはSのときに非CPUレンズ(ロ275)を装着すると、露出 モードを自動的にAに切り換えて制御します。このとき、表示パネルのPまた はSが点滅して警告し、ファインダー内表示にAが点灯します。

<u>P(プログラムオート)</u>

被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッター スピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピー ドと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。

🖉 プログラムシフトについて

露出モードPでは、カメラがシャッタースピード と絞り値を決めますが、半押しタイマーがオンの ときにメインコマンドダイヤルを回すと、適正露 出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合 わせを変えられる「プログラムシフト」が行えま す。プログラムシフト中は表示パネルにプログラ ムシフトマーク**★**が点灯します。



プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク*が消灯するまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにした

メインコマンド ダイヤル

り、他の露出モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

🖉 関連ページ

「ファインダー撮影時の半押しタイマーについて」(四34)
<u>S(シャッター優先オート)</u>

シャッタースピードを自分で決めると、露出 が適正になるようにカメラが自動的に絞り値 を決定します。動きの速い被写体の撮影や、 遅いシャッタースピードで被写体の動きを強 調する撮影に適しています。シャッタース ピードは、半押しタイマーがオンのときにメ インコマンドダイヤルを回して設定します。

- シャッタースピードは1/8000(8000)~
 30秒(30'')、x 250に設定できます。
- 設定したシャッタースピードはロックできます(□133)。



メインコマンド ダイヤル



<u>A(絞り優先オート)</u>

絞り値を自分で決めると、露出が適正になる ようにカメラが自動的にシャッタースピード を決定します。絞り値を設定するには、半押 しタイマーがオンのときにサブコマンドダイ ヤルを回します。

- 設定できる最小絞り値、開放F値はレンズの 種類によって異なります。
- •設定した絞り値はロックできます(四133)。



サブコマンドダイヤル



ℤ 非CPUレンズを取り付けた場合

非CPUレンズを装着してセットアップメニューの[レンズ情報手動設定] (皿212)でレンズの開放絞り値(開放F値)を設定した場合は、表示パネルと ファインダー内表示に絞り値が表示されます。絞り値の設定は、レンズの絞り リングで行ってください。この場合、絞りリングによる中間絞りの設定は可能 ですが、表示は1段単位になります。

・開放絞り値を設定しない場合は、表示パネルとファインダー内の絞り値表示が開放からの絞り段数表示(AF、開放絞りはAF?)となりますので、絞り値の設定と確認は、レンズの絞りリングで行ってください。



🖉 被写界深度のプレビュー

Pvボタンを押し続けると、レンズの絞り羽根が絞 り込まれます。この状態でファインダーをのぞく と、そのときの絞り値のおおよその被写界深度(ピ ントの合う前後の範囲)が確認できます。別売の ニコンクリエイティブライティングシステム (皿280)対応スピードライト使用時は、モデリン グ発光をします(皿283)。モデリング発光をしな いようにするには、カスタムメニューe5 [モデリ ング発光]を [しない] に設定してください (皿259)。



Pvボタン

<u>M (マニュアル)</u>

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空な どを長時間露出(バルブ撮影、タイム撮影、ロ130)で撮影する場合に は、この露出モードを使います。半押しタイマーがオンのときに、露出 インジケーターを確認しながら、コマンドダイヤルを回してシャッター スピードと絞り値を設定します。

- メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。シャッタースピードは、1/8000(8000)~30秒(30')およびbulb(バルブ)、・・(タイム)、x250に設定できます。
- サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。
- 設定できる最小絞り値、開放F値はレンズの種類によって異なります。
- ●設定したシャッタースピードと絞り値はロックできます(□133)。

絞り値の 設定





サブコマンドダイヤル



✓ AFマイクロレンズ装着時の露出倍数について

AFマイクロレンズをカメラに装着して、外部露出計の測光値を参考に絞り値を サブコマンドダイヤルでセットする場合、露出倍数を考慮する必要はありませ ん。レンズの絞りリングでセットする場合だけ、露出倍数を考慮した補正が必 要になります。

✓ 露出インジケーターについて

自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が、表示パネルとファ インダー内表示に表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通 りです(表示内容はカスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅](□255)の 設定によって変化します)。

	[露出設定ステップ幅] が [1/3段] のとき			
	海正委中の場合	1/3段	3 1/3段以上	
	旭正路山の吻口	アンダーの場合	オーバーの場合	
表示パネル	– ······ +	+		
ファインダー	_			

/ 露出の制御ができないときの警告について

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合や、ライブビューで の露出制御範囲を超えた場合には、露出インジケーターが点滅して警告します。

✓ 関連ページ

インジケーター表示の+/-方向を変更する→ *∲* f7[**インジケーターの+/-方** 向](□261)

長時間露出で撮影する (露出モードMのみ)

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花 火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなど に使います。



シャッタースピードをBulbに設定し、 絞り値をF25にして35秒間の長時間露出撮影した場合の画像

バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままに なり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままにな り、もう一度押すとシャッターが閉じます。

長時間露出撮影には、手ブレを抑えるために三脚、別売のワイヤレスリモートコントローラー(ロ287)、リモートコード(ロ287)などが必要です。

1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 MODEボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回し、 表示パネルにMを表示させる



MODEボタン



メインコマンド ダイヤル





タイム撮影

4 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する バルブ撮影:

シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。
 シャッターボタンは押し続けてください。

タイム撮影:

 シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露 出撮影を開始します。

5 長時間露出撮影を終了する

バルブ撮影:

- シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。
 タイム撮影:
- もう一度シャッターボタンを全押しします。

✓ 長時間露出について

- ファインダーから入った光が画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします(ロ113)。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生することがあります。
- ・静止画撮影メニューの[長秒時ノイズ低減](□246)を「する]に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、電源としてフル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。

シャッタースピードと絞り値を ロックする

露出モードSではシャッタースピードを、Aでは絞り値を、Mではシャッ タースピードと絞り値のロックを設定できます。

Pでは設定できません。

■ シャッタースピードと絞り値のロック方法

- 1 カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] (□ 260) で任意のボタンに [シャッタースピードと絞り値のロック] を割り当てる
- 2 シャッタースピードまたは絞り値をロックする シャッタースピードのロック:
 - 露出モードSまたはMで、「シャッター スピードと絞り値のロック」を割り 当てたボタンを押しながらメインコ マンドダイヤルを回し、表示パネル とファインダー内表示に【(シャッ タースピードロック)マークを表示 させます。



 シャッタースピードのロックを解除する場合は、[シャッタース ピードと絞り値のロック]を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回し、国マークを消します。

絞り値のロック:

 露出モードAまたはMで、[シャッター スピードと絞り値のロック]を割り 当てたボタンを押しながらサブコマ ンドダイヤルを回し、表示パネルと ファインダー内表示に■(絞り値の ロック)マークを表示させます。



 ・絞り値のロックを解除する場合は、
 [シャッタースピードと絞り 値のロック]
 を割り当てたボタンを押しながらサブコマンドダイ ヤルを回し、
 【マークを消します。

🖉 関連ページ

常にシャッタースピードと絞り値をロックする → *∲* β[シャッタースピードと 絞り値のロック](□260)

AEロックして露出を固定する

AE ロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、その まま構図を変えて撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲 とで、極端に明るさが異なる場合などに効果的です。

1 測光モードで中央部重点測光またはスポット測光を選ぶ (□ 121)

- 2 露出を合わせたい部分にフォーカ スポイントを重ねてシャッターボ タンを半押ししたまま、サブセレ クターの中央を押して露出を固定 する
 - サブセレクターの中央を押している間 は、測光モードに応じた部分の露出で 固定(ロック)され、構図を変えても 露出は変わりません。
 - ファインダー内表示にAE-Lマークが 点灯します。
 - オートフォーカス撮影時はフォーカス ロックも同時に行われますので、
 ピント表示(●)の点灯も確認してく ださい。











3 サブセレクターの中央を 押したまま、構図を決め て撮影する





✓ 測光モードをスポット測光に設定している場合

スポット測光で、測光エリアとフォーカスポイントが連動する場合(ロ121) は、選択中のフォーカスポイントの露出が記憶されます。

☑ AEロック中のカメラ操作について

サブセレクターの中央を押している間も次の操作ができます。

露出モード	操作
Р	プログラムシフト (皿124)
S	シャッタースピードの変更
A	絞り値の変更

 表示パネルやファインダー内表示には、変更後のシャッタースピード、絞り値 が表示されます。

• AEロック中は、測光モードは変更できません。

🖉 関連ページ

シャッターボタンの半押しでAEロックできるようにする → *∲* c1[シャッター ボタンAEロック](□256)

露出補正して画像の明るさを調整する

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることで す。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。露出補 正を行うときは、測光モード(ロ121)を中央部重点測光またはスポッ ト測光に設定すると効果的です。



-1段補正





■ 露出補正の設定方法

図ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

- 露出補正値は、表示パネルに表示されます。
- 露出補正は、1/3段ステップで+5段の範囲で設定できます。





メインコマンドダイヤル

 ・図ボタンを押すと、表示パネルとファインダー内表示で設定した補正 量を確認できます。



(図ボタンを押したとき)

補正量を設定すると、表示パネルとファインダー内表示に露出補正マーク2と露出補正インジケーターが表示され、露出モードがM以外の場合は[0]が点滅します。

被写体を明るくしたいときは+側に、暗く

- したいときは一側に補正してください。

 露出補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源 をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

✓ 露出モードMでの露出補正について

露出モードがMのときは、露出のインジケーター表示が変わるだけで、設定した シャッタースピードと絞り値は変わりません。

🖉 別売スピードライト使用時の露出補正

別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とスピードラ イトの発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わりますが、背景 の明るさだけを補正することもできます(カスタムメニュー e3 [フラッシュ使 用時の露出補正]、口259)。

🖉 関連ページ

- ・露出補正値を変えながら撮影する →「AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法」(□141)

オートブラケティングで露出や調光、 ホワイトバランス、アクティブD-ライ ティングを変えながら撮影する

明るさ (露出)、フラッシュの発光量、ホワイトバランス、アクティブD-ラ イティング (ADL) の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画 像の明るさやフラッシュの発光量の調整が難しい場合や複数の光源が混 在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

■ オートブラケティングの設定方法

オートブラケティングの種類は、静止画撮影 メニューの [オートブラケティングのセット] (印247) で設定できます。



AE・フラッシュ ゴーケー ハング	露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮
7797479	<u>影しみ</u> り。
AEブラケティング	露出値(AE)を変えながら撮影します。
フラッシュブラケティング	フラッシュの発光量を変えながら撮影します。
WBブラケティング	ホワイトバランス(ロ151)の色温度を変えながら 撮影します。
ADLブラケティング	アクティブD-ライティング (凹175) の効果の度合 いを変えながら撮影します。

■ AEブラケティング、フラッシュブラケティングの 撮影方法



1 撮影コマ数を設定する

 BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、撮影 コマ数を設定できます。



 ・ 計F以外に設定すると、表示パネルに
 (25,55 *)
 (37,00) * (30,00)

 BKTマークとオートブラケティングイ
 (37,00) * (30,00)
 (37,00) * (30,00)

ンジケーターが、ファインダー内表示にBKTが表示されます。

2 補正ステップを設定する

 BKTボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、補正ス テップを設定できます。



- 補正ステップは、露出設定ステップ幅が「1/3段」の場合、0.3 (1/3段)、0.7 (2/3段)、1.0 (1段)、2.0 (2段)、3.0 (3段)から 選ぶことができます。補正ステップを2.0または3.0に設定した場 合、撮影コマ数は最大5枚です。手順1で撮影コマ数を7枚または 9枚に設定していても、自動的に5枚に変更されます。
- 補正ステップが0.3のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

表示パコ	ネル	オートブラケティング インジケーター	撮影 コマ数	撮影順序
۵۶	0.3	-·····+	0	0
+ 35	0.B	+	3	0/+0.3/+0.7
35	0.3	+	3	0/-0.7/-0.3
+ 25	0.3	-····+	2	0/+0.3
25	0.3	- · · · · · · · · · · +	2	0/-0.3
35	0.3	+	3	0/-0.3/+0.3
SF	0.3	-·····+	5	0/-0.7/-0.3/ +0.3/+0.7
75	0.3	+	7	0/-1.0/-0.7/-0.3/ +0.3/+0.7/+1.0
9F	0.3	– ····· +	9	0/-1.3/-1.0/-0.7/ -0.3/+0.3/+0.7/ +1.0/+1.3

3 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 表示パネルとファインダー内表示には、オートブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに、コマ数を示す表示が、オートブラケティングインジケーター上から消えます。



 AEブラケティングと露出補正(ロ137)を同時に設定すると、 両方の補正値が加算されたAEブラケティング撮影が行えます。

III AE、フラッシュブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して表示パネルの撮影コマ数を℃Fにしてください(BXTマークが消灯します)。ただし、設定した補正ステップは記憶されます。また、ツーボタンリセット(□203)でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定した補正ステップもリセットされます。

AEブラケティング、フラッシュブラケティングについて

[AE・フラッシュブラケティング] では、AE ブラケティングとフラッシュブラ ケティングを同時に行います。AE ブラケティングだけを行いたいときは [AE ブ ラケティング] を、フラッシュブラケティングだけを行いたいときは [フラッ シュブラケティング] を選びます。フラッシュブラケティングはi-TTL 調光時お よび絞り連動外部自動調光 (〇A) 時 (別売の絞り連動外部自動調光対応スピー ドライト使用時のみ) に使用できます (CL184、280)。

AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュ ブラケティング撮影について

- レリーズモード(ロ110)をCL、CH、またはQCに設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある 他のメモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

🖉 AEブラケティング

AEブラケティングでは、露出モードによって補正される内容(シャッタースピード、絞り値)が異なります。

露出モード	変化する内容
Р	シャッタースピードと絞り値*1
S	絞り値*1
Α	シャッタースピード*1
М	シャッタースピード** ^{2、3}

- ※1 静止画撮影メニュー [ISO感度設定]の [感度自動制御](□118)が [する]のときは、シャッタースピードや絞り値が制御範囲を超えると自動的にISO感度が変化します。
- ※2 静止画撮影メニュー [ISO感度設定]の [感度自動制御] (□118) が [する] のときは、まずISO感度を変化させて基準となる露出を適正露出に近づけてから、オートブラケティングでシャッタースピードを変化させます。
- ※3 カスタムメニュー e6 [BKT変化要素(Mモード)] により変化する内容を シャッタースピードと絞り値の両方、絞り値のみ、あるいはフラッシュの 調光量のみに変更できます(印260)。

🖉 関連ページ

- オートブラケティングの撮影順を変更する → 🖋 e7 [BKTの順序](□260)

■ WBブラケティングの撮影方法

1 撮影コマ数を設定する

 BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、撮影 コマ数を設定できます。



 GF以外に設定すると、表示パネルに は、WEBEKTマークとWBブラケティ ングインジケーターが、ファインダー内表示にはBKTが表示され ます。

2 補正ステップを設定する

 BKTボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回すと補正ス テップを設定できます。



- 補正ステップは、1(1段)、2(2段)、3(3段)から選ぶことができます。
- ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大きくなるごとにブルーが強くなります(ロ155)。
- 補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

表示パネル	WB ブラケティング インジケーター	撮影 コマ数	補正 ステップ	撮影順序
0F (+•••••••	0	1段	0
63F (+ ····· +	3	B方向1段	0/B1/B2
83F (+	3	A方向1段	0/A2/A1
1 756	+••••••••	2	B方向1段	0/B1
1 758	+ ····· •••••••••••••••••••••••••••••••	2	A方向1段	0/A1
35 1	+ ····· •	3	各方向1段	0/A1/B1
5F (+·····+	5	各方向1段	0/A2/A1/B1/B2
7F 1	+ +	7	各方向1段	0/A3/A2/A1/ B1/B2/B3
9F (+·····+	9	各方向1段	0/A4/A3/A2/ A1/B1/B2/B3/ B4

3 撮影する

 シャッターボタンを1回全押しすると、 設定した全てのコマ数の画像が記録されます。



- ホワイトバランスを微調整している場合は、微調整値にWBブラケ ティングの補正ステップが加算されます。
- ・WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、表示パネルにFultが、ファインダー内表示にFultが点滅し、シャッターがきれません(表示パネルの残量のないメモリーカードのアイコンも点滅します)。新しいメモリーカードに交換すると撮影できます。



■ WBブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して表示パネルの撮影コマ数を の撮影コマ数を こ たしてください(WEBEKTマークが消灯します)。ただし、設定した補正ステップは記憶されます。また、ツーボタンリセット ト(ロ203)でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定した補正ステップもリセットされます。

✓ WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

WBブラケティング撮影について

- WB ブラケティングでは、色温度(A(アンバー)からB(ブルー)への横方
 向)の補正のみを行います(ロ155)。G(グリーン)からM(マゼンタ)への縦方向の補正は行いません。
- 撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
- セルフタイマー撮影時(四113)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](四256)で設定した撮影コマ数にかかわらず、四145の手順1で設定した撮影コマ数が全て記録されます。

■ ADLブラケティングの撮影方法

1 撮影コマ数を設定する

 BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回すと撮影 コマ数を設定できます。



- ・ ① F 以外に設定すると、表示パネルには、ADLE BKT マークとADLブ ラケティングインジケーターが、ファインダー内表示にはBKTが 表示されます。
- 設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように 異なります。

撮影コマ数	ブラケティングの内容		
2コマ	[しない] → (手順2で設定するアクティブD-ライティン グの度合い)		
3コマ	[しない]→[弱め]→[標準]		
4コマ	[しない]→[弱め]→[標準]→[強め]		
5コマ	[しない]→[弱め]→[標準]→[強め]→[より強め]		

•撮影コマ数を3コマ以上に設定した場合は、手順3に進んでください。

2 アクティブD-ライティングの度合いを設定する

BKTボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いを設定できます。



 アクティブD-ライティングの度合いは、表示パネルのADLブラケ ティングインジケーターで確認できます。



3 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してくだ さい。
- 表示パネルには、ADLブラケティング インジケーターが表示されます。撮影 するたびに、コマ数を示す表示が、 ADLブラケティングインジケーター上 から消えます。







■ ADLブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して表示パネルの撮影コマ数を CF にしてください(ADDEEXTマークが消灯します)。ただし、設定したアクティブD-ライティングの度合いは記憶されます。また、ツーボタンリセット(四203)でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定したアクティブD-ライティングの度合いもリセットされます。

ADLブラケティング撮影について

- レリーズモード(ロ110)をCL、CH、またはQCに設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある 他のメモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更する

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを 「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定のAUTO(オート) でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にな らないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してくだ さい。

	ホワイトバランス (設定される色温度)	内容
AUTO オート		カメラが自動的にホワイトバランスを調節
	AUTO0 白を優先する (約3500~8000K※)	し、ほとんどの光源に対応できます。また、 別売のスピードライト使用時は、フラッシュ
	AUTO1 標準 (約3500~8000K※)	 充立時の条件に応じて通じたホワイトハランスに調整されます。 AUTO(オート)で撮影した場合は、撮影時
	AUTO2 電球色を残す (約3500~8000K※)	の色温度を再生画面の撮影情報(口228) で確認できます。
¥A	自然光オート (約4500~8000K*)	自然光下での撮影に適したホワイトバラン スに調整され、AUTO(オート)より見た目に 近い色味で撮影できます。
- ^	電球 (約3000K*)	白熱電球下での撮影に適しています。

	ホワイトバランス (設定される色温度)	内容
	蛍光灯 	蛍光灯など、次の7種類の光源を使った撮影 に適しています。
	ナトリウム灯混合光 (約2700K*)	野球場、体育館などのナトリウム灯の混合光 を使った撮影に適しています。
	電球色蛍光灯 (約3000K※)	電球色蛍光灯下での撮影に適しています。
	温白色蛍光灯 (約3700K※)	温白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	白色蛍光灯 (約4200K※)	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼白色蛍光灯 (約5000K※)	昼白色蛍光灯下での撮影に適しています。
	昼光色蛍光灯 (約6500K※)	昼光色蛍光灯下での撮影に適しています。
	高色温度の水銀灯 (約7200K*)	高色温度の水銀灯などを使った撮影に適し ています。
☀	晴天 (約5200K※)	晴天の屋外での撮影に適しています。
4	フラッシュ (約5400K*)	別売のスピードライトを使って撮影する場合 に適しています。
2	曇天 (約6000K*)	曇り空の屋外での撮影に適しています。
₿⊾	晴天日陰(約8000K※)	晴天の日陰での撮影に適しています。
К	色温度設定 (約2500~10000K*)	色温度を直接指定できます(口157)。
		撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバ
PRE	プリセット	ランスを合わせたり、メモリーカード内の画
	マニュアル	像と向しホワイトハラン人で撮影したりで きます(皿159)。

※ 微調整が0の場合の値です。

■■ ホワイトバランスの設定方法 WBボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

 WBボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回すとホワイト バランスを変更できます。ホワイトバランスは、表示パネルに表示されます。



 ホワイトバランスがAUTO(オート)および
 (蛍光灯)のときに、WB ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、AUTO(オート) または
 (蛍光灯)の種類を変更できます。



☑ [ホワイトバランス] について
 ホワイトバランスは静止画撮影メニュー (□243) または動画撮影メニュー
 (□249) でも設定できます。

🖉 AUTO (オート) について

電球色の光源下で撮影した場合、[AUTO0白を優先する]を選ぶと電球色を残 さずに白く補正され、[AUTO2電球色を残す]を選ぶと暖かみのある画像の仕 上がりになります。

☑ ⋇▲(自然光オート)について

人工光下で撮影するときに**※A**(自然光オート)を選択していると、適正なホ ワイトバランスが得られないことがあります。AUTO(オート)または光源に合 わせたホワイトバランスを選択してください。

▶ スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、AUTO(オート)に設定していても 適正なホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、 (フラッ シュ)モードにして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色 を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度(K: ケルビン)という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど 赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



✓ 関連ページ

ホワイトバランスを変えながら撮影する → 「WBブラケティングの撮影方法」 (□□145)

ホワイトバランスを微調整する

- 1 静止画撮影メニューの [ホワイトバランス] で、設定したいホワイトバランスを選び、微調整画面が表示されるまで③を押す
- To 71トパランス
 To 71ト
 To 71ト
 To 71ト
 To 71トリーンス
 To 71トリンス
 To 71トリンス
 To 71ト
 To 71ト
 To 71ト
 To 71トリンス
 To 71トリンス
 To 71トリンス
 To 71ト
 To 71ト
 To 71ト
 To 71トリンス
 To 71トリンス
 To 71トリンス
 To 71ト
 To 71ト
 To 71ト
 To 71ト
- [プリセットマニュアル] での微調整回 のでのでのでのでは、「プリセットでのです」での微調整については、「プリセットでニュアルデータの微調整について」(ロ169)をご覧ください。

2 微調整値を設定する

 マルチセレクターを操作すると、A(アンバー)、B(ブルー)、G(グリーン)、M(マゼンタ)の4方向で、設定段数を 各方向6段階まで微調整できます。



- A (アンバー)、B (ブルー)方向は、色 温度の高さを0.5段単位で微調整できま す。1段は約5ミレッドに相当します。
- •G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向は、色補正用(CC) フィル ターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約 0.05に相当します。

3 微調整値を決定する

- ∞ボタンを押して微調整値を決定すると、メニューに戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、表示パネルにアスタリスク(*)が表示されます。



🖉 ホワイトバランスの微調整画面について

ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色 を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像には ならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを (電球)に設定し てB(ブルー)方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

🖉 ライブビュー撮影時にホワイトバランスを微調整する

ライブビュー撮影時にWBボタンを押しながらマルチセレクターを操作すると、 ホワイトバランスを微調整できます。

A (アンバー) および B (ブルー) 方向の調整を行うにはマルチセレクターの
 ③または ③を、G (グリーン) および M (マゼンタ) の調整を行うには ④または ③を押します。



WBボタン

🖉 ミレッド (MIRED) について

色温度の逆数を百万(106)倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色 温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小 さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変 化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく 変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温 度変換フィルターの単位としても利用されます。

 例) 色温度の差(K:ケルビン): ミレッドの差(M:ミレッド) 4000K-3000K=1000K: 83 M
 7000K-6000K=1000K: 24 M

色温度設定で色温度を指定する

■メニューの [ホワイトバランス] で設定する場合

A (アンバー) およびB (ブルー) 方向とG (グリーン) およびM (マゼ ンタ) 方向の両方の色温度を設定できます。

1 静止画撮影メニューの [ホワイトバランス] で、[色温度設 定] を選んでマルチセレクターの③を押す

2 色温度を設定する

- ③または ④を押してA(アンバー)およびB(ブルー)方向の色 温度の桁を選びます。また、G(グリーン)およびM(マゼンタ) 方向の色温度にカーソルを移動できます。



A(アンバー)および B(ブルー)方向の色温度



M (マゼンタ) 方向の 色温度

3 色温度を決定する

- ∞ボタンを押して色温度を決定すると、メニューに戻ります。
- G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の色 温度を0以外に設定すると、表示パネル にアスタリスク(米) が表示されます。



■ ボタン操作で色温度を設定する場合

(アンバーおよびブルー方向のみ)

ホワイトバランスが**区**(色温度設定)のときにWBボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す、またはマルチセレクターの④④④④を押す

WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、色温度が切り替わります(ミレッド単位、ロ156)。





WBボタン

サブコマンド ダイヤル

WBボタンを押しながらマルチセレクターの ④または
 たすすと、色温度を1桁ずつ選べます。
 ●または
 ●を押すと選んだ桁の数値を設定できます。



- A (アンバー)、B (ブルー) 方向の色温度のみ設定 できます。
- 色温度は、表示パネルに表示されます。



▶ ●温度設定についてのご注意

- ・光源が蛍光灯やフラッシュのときは、色温度設定を使わず、それぞれ 業(蛍光灯)、↓(フラッシュ)に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

プリセットマニュアルで基準となる 白を設定する

プリセットマニュアルでは、撮影する照明下で取得したホワイトバラン スデータまたは撮影済みの画像のプリセットマニュアルデータをカメ ラに保存し、ホワイトバランスを設定します。カクテル照明や特殊照明 下で、前記のAUTO(オート)や衆(電球)などの各設定や、色温度設 定では望ましいホワイトバランスが得られない場合に便利です。

最大6種類のプリセットマニュアルデータ(d-1~d-6)をカメラに保存 できます。プリセットマニュアルデータを保存するには、次の方法があ ります。

プリセットマニュアル データをカメラで 新規取得して保存する	撮影する照明下で白またはグレーの被写体を基準に して撮影を行い、撮影データから取得して保存します (凹160)。ライブビュー時(凹35、58)には、画像 モニターに表示中の被写体の一部分を選んでプリ セットマニュアルデータを取得できます(スポットホ ワイトバランス、凹164)。
撮影済みの画像の ホワイトバランスデータを コピーして保存する	メモリーカードにある画像のホワイトバランスデー タをコピーして保存します(ロ167)。

✓ すでに設定されているプリセットマニュアルデータの変更について
 プリセットマニュアルデータ(d-1~d-6)の内容は、静止画撮影メニュー「A」
 ~「D」(□243)で共用しています。このため、たとえば静止画撮影メニュー
 「A」でプリセットマニュアルデータの内容を変更すると、静止画撮影メニュー
 「B」~「D」のプリセットマニュアルデータも変更されます。

<u>ファインダー撮影時にプリセットマニュアル</u> <u>データを新規取得する</u>

プリセットマニュアルデータを取得する前に:

- プリセットマニュアルデータを取得する場合は、あらかじめホワイト バランスをセットする照明下で、無彩色(白またはグレー)の被写体 を用意しておいてください。スタジオ用大型ストロボにてホワイトバ ランスをセットする場合は、被写体をグレー(ホワイトバランス取得 用の18%標準反射板)にすることをおすすめします。
- ●無彩色(白またはグレー)の被写体を基準にプリセットマニュアル データを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーに なるように自動的に調整します。露出モードがMの場合は、露出イン ジケーターを確認して、適正露出になるよう設定してください (□129)。
 - WBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、 表示パネルのホワイトバランス表示をPREに合わせる



WBボタン



メインコマンド ダイヤル

d -	1	
WB		PRE
2 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、これから取得するプリセットマニュアルデータの保存場所をd-1~d-6の中から選びます。





いったんWBボタンから指を放し、
 再度WBボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モードになり、表示パネルにはPREが、ファインダー内表示にはPrをの文字がそれぞれ数秒間点滅します。



4 ?- {の点滅中に白またはグレーの被写体を撮影する

 撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色(白また はグレー)の被写体をファインダーいっぱいにとら えてシャッターボタンを全押しすると、プリセット マニュアルデータが取得され、手順2で選んだ保存場 所に保存されます。



 ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアル データが正常に取得されます。メモリーカードに画像は記録され ません。 **5** 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認する

- プリセットマニュアルデータが取得 されると、表示パネルに**じゅの**の文 字が、ファインダー内表示に**じゅ**の文 字が、それぞれ点滅します。シャッ ターボタンを半押しすると、プリ セットマニュアル取得モードが終了 し、撮影が可能になります。
- ・被写体が極端に低輝度または高輝度の 場合、カメラがプリセットマニュアル データを取得できないことがありま す。この場合、表示パネルとファイン ダー内表示にのの「」の文字が、それ ぞれ点滅します。このとき、シャッ ターボタンを半押しするとプリセット マニュアル取得モード(手順4)に戻 ります。



▼ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について(ファインダー 撮影時)

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままカスタムメニュー c2 [**半押しタイマー**](ロ256)で設定した時間が過ぎると解除されます。

プリセットマニュアルデータ取得時の制限について(ファインダー 撮影時)

次の場合は、プリセットマニュアルデータを取得できません。

- HDR (ハイダイナミックレンジ) 撮影時 (□177)
- タイムラプス動画撮影時(ロ252)
- 多重露出撮影時(□247)

🖉 ホワイトバランスのプロテクト設定について

プロテクト設定(四169)されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません(表示パネルとファインダー内表示で**?**,とが点滅します)。

✓ プリセットマニュアルデータについて

ご購入時のブリセットマニュアルデータd-1~d-6は、晴天モードと同じ色温度5200Kに設定されています。

静止画撮影メニューから「ホワイトバランス]の「ブリセットマニュアル」を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが表示されます。マルチセレクターでプリセットマニュアルデータを選んで®ボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。



<u>ライブビュー時にスポットホワイトバランスで</u> <u>プリセットマニュアルデータを取得する</u>

ライブビュー撮影時(凹35、58)には、画像モニターに表示されてい る被写体の一部分を選んでプリセットマニュアルデータを取得できま す(スポットホワイトバランス)。被写体の一部に白、またはグレーの 部分があれば、あらかじめプリセットマニュアル取得用の被写体を用意 する必要はなく、望遠レンズ装着時にも、レンズを交換せずにそのまま プリセットマニュアルデータを取得できます。

1 回ボタンを押す

 ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー内が 暗くなり、画像モニターに被写体が表示されます。

2 WBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、 画像モニターのホワイトバランス表示をPREに合わせる



WBボタン



メインコマンド ダイヤル



3 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、これから取得するプリセットマニュアルデータの保存場所をd-1~d-6の中から選びます。



4 プリセットマニュアル取得モードに する

 いったんWBボタンから指を放し、再 度WBボタンを押し続けると、プリ セットマニュアル取得モードになり、 画像モニターにPREが点滅します。



- **5** PREの点滅中に、マルチセレクター を操作して、口を被写体の白または グレーの部分に重ねる
 - ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示 され、□で選んだ部分を細部まで確認 できます。



タッチ操作でもプリセットマニュアルデータを取得できます。画像モニター上で被写体の白またはグレーの部分をタッチすると、
 □が移動してデータを取得します。タッチで取得した場合は、手順7に進んでください。

6 マルチセレクターの中央ボタンを押 すか、シャッターボタンを全押しし て、プリセットマニュアルデータを 取得する

 データが取得できなかった場合は、画像モニターにメッセージが表示されて 手順5の状態に戻ります。□の位置を 変えるなどして、再度プリセットマ ニュアルデータを取得してください。



7 WBボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終 了する

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー
 ニュー [ホワイトバランス]の[プリセットマニュアル]を選ぶと、ライブビューで取得したプリセットマニュアルデータを確認できます。ホワイトバランスを取得した範囲には白い枠が表示されます。



▼ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について(ライブビュー 撮影時)

ライブビュー撮影時のプリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタ ムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間]の[ライブビュー表示]で設定し た時間になります(ロ256)。

▼ プリセットマニュアルデータ取得時の制限について(ライブビュー 撮影時)

次の場合は、プリセットマニュアルデータを取得できません:

- HDR (ハイダイナミックレンジ) 撮影時 (ロ177)
- *i*ボタンを押して表示されるメニューの【**静止画Lv画面のホワイトバランス**】 が【**撮影時と同じ**】以外に設定されているとき(⁽¹⁴⁴⁾

<u>プリセットマニュアルデータを管理する</u>

■ 撮影済み画像のホワイトバランスデータをコピー する

選んだプリセットマニュアルデータの保存場所に、メモリーカード内の 画像で使用されたホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータと してコピーできます。

1 静止画撮影メニューの [ホワイトバ ランス] で [プリセットマニュア ル] を選んでマルチセレクターの を押す

2 コピー先を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を移動して d-1~d-6の中からコピー先を選びます。
- 中央ボタンを押すと設定画面が表示されます。



 ● [使用する画像の選択] を選んで ③ を押 すと、メモリーカード内の画像が一覧 表示されます。



ホワイトバランス

晴天日陰

プリセットマニュアル

≓ d-1:

トマニュアル

Þ

OK決定

④選択 (の決定

Ъ

4 ホワイトバランスデータをコピー したい画像を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を移動 して画像を選びます。
- 画像は、 ペボタンを押している間、拡 大して確認できます。
- 9☎(\$)ボタンを押すと、[スロット/ フォルダー指定]画面が表示され、ス ロットやフォルダーを切り換えられます (□219)。





- 5 ホワイトバランスデータをコピーする
 - ●ボタンを押すとメモリーカード内の画像のホワイトバランス データがコピーされます。
 - 選んだ画像に画像コメント(□265)がある場合、画像コメント
 もコピーされます。

🖉 プリセットマニュアルデータの微調整について

設定画面で「微調整」を選ぶと、微調整画面が表示され、選択中のプリセットマニュアルデータを 微調整できます(ロ155)。



設定画面で「コメント編集」を選ぶと、選択中の プリセットマニュアルデータにコメント(最大36 文字)を入力できます。コメントの入力方法は、 「文字を入力するには」(□265)をご覧ください。



🖉 プリセットマニュアルデータを保護する(プロテクト)

設定画面で「**ブロテクト**]を選ぶと、選択中のプ リセットマニュアルデータにプロテクト(保護) を設定できます。プロテクトの設定画面で「**する**] を選んで[®]ボタンを押すと、選んだプリセットマ ニュアルデータがプロテクト設定されます。プロ テクト設定されたプリセットマニュアルデータは 微調整やコメント編集ができなくなります。





ピクチャーコントロールを使って画像 の仕上がりを簡単に設定したり、思い 通りに調整する

ピクチャーコントロールを選ぶ

被写体や撮影シーンに合わせて、次のピクチャーコントロールから選びます。

መል ታ-ዞ	 【スタンダード】をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。 人物を撮影するシーンでは、[スタンダード]に比べて人物の肌を柔らかく表現した画像になります。 屋外のシーンでは、[スタンダード]に比べて青空や草木などの色が鮮やかな画像になります。 	
🖾SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 • ほとんどの撮影状況に適しています。	
四NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 • 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。	
四VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 • 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。	
恋MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。	
四PT ポートレート	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。	
巴LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。	
四FL フラット	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した 画像になります。 • 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適してい ます。	

1 Оп (四)?) ボタンを押す

 ピクチャーコントロールの一覧画面が 表示されます。



Оп (ご) ボタン

2 設定したいピクチャーコントロール を選ぶ

●ボタンを押して設定します。



☑ [カスタムピクチャーコントロール] について

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューで [カスタムビクチャーコント ロール]を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに名前を付けて登録した り、メモリーカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに 対応するソフトウェアと共用することができます。

🖉 [ピクチャーコントロール] について

ピクチャーコントロールは静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューでも設 定できます。

✓ 撮影中のピクチャーコントロールの確認について

使用しているピクチャーコントロールは、 mm ボタン を押すと表示されるインフォ画面で確認できます。



<u>ピクチャーコントロールを調整する</u>

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールの設定は、 撮影目的や好みに合わせて調整できます。輪郭強調、コントラスト、色 の濃さ(彩度)をバランス良く自動的に調整できる「クイック調整」や 各項目を手動で細かく調整する「手動調整」ができます。



 ピクチャーコントロールの一覧画面で、 マルチセレクターの③を押します。



2 ピクチャーコントロールを調整する



- 設定できる項目は、選んだピクチャー コントロールによって異なります。
- [クイック調整]を選んで€または€を押すと、各項目のレベルを 自動的に調整します。
- 面 (****) ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 設定する

● ●ボタンを押して設定します。

🖉 ピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、アイコンの横にアスタリスク(**★**)が表示されます。



■ レベル調整の設定項目

クイック調整 ^{※1}		輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動 的に調整します。
	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A](オート)を選ぶと、自動 で調整します。
Ŧ	明瞭度	画像の明瞭度を調整します。[A](オート)を選ぶと、自動 で調整します**2。明瞭度の設定は、動画には反映されません。
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A] (オート)を選ぶ と、自動で調整します。
動明るさ 白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさ		白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
調 整	色の濃さ (彩度)	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。[A](オート) を選ぶと、自動で調整します。
	色合い(色相)	画像の色合いを調整できます。
	フィルター 効果	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのよう な効果が得られます(ロ174)。
	調色	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます (ロ174)。

※1 カスタムピクチャーコントロールの場合、クイック調整できません。手動調 整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。

※2 設定する強度や撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。

✓ [四Aオート]を選んでいる場合

- [四Aオート]を選択している場合、オートの調整レベルを [A-2] ~ [A+2] から選ぶことができます。
- サブコマンドダイヤルを回しても値は設定できません。



✓ レベル調整時の手動調整とオートの切り換えについて

[輪郭強調]、「明瞭度]、「コントラスト]、「色の濃 さ(彩度)]の場合、^Qボタンを押して手動調整と [A](オート)を切り換えられます。



- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上が り具合は変化します。
- 充分な効果を得るには、Gタイプ、EタイプまたはDタイプのレンズをお使い になることをおすすめします。

🖉 ピクチャーコントロール調整時のΔマークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される▲マークは、調整する前の値を示しています。 前回調整した値を参考にして調整するときに便利 です。



🖉 [モノクローム] の [フィルター効果] について

[フィルター効果]には、次のような効果があります。

Y (黄*)	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさ
0 (オレンジ*)	を抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順
R (赤*)	にコントラストが強くなります。
G (緑*)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレー
	ト撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

🖉 [モノクローム] の [調色] について

[調色]の項目([B&W]以外)を選んでマルチセ レクターの ◆を押すと、さらに色の濃淡を選べま す。 ④または ④を押して選んでください。



🖉 ピクチャーコントロール調整時のタッチ操作について

ピクチャーコントロールの調整画面でインジケー ターをタッチすると、図のような画面が表示され、 タッチ操作で設定を変更できるようになります。



白とびや黒つぶれを抑えて撮影する

<u>アクティブD-ライティングで撮影する</u>

撮影の前にあらかじめ [**アクティブD-ライティング**] を設定しておくと、 ハイライト部の白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減する効果がありま す。見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外 の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影 するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測 光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめしま す(CL121)。



[しない]



[酤Aオート]

☑ 静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューの [アクティブD-ライ ティング] と画像編集メニュー [D-ライティング] の違い

[アクティブD-ライティング]を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて 露出や階調を制御し、ハイライト部やシャドー部および中間調を適切に調整し て画像を記録します。一方、[D-ライティング](□269)は、撮影済みの画像 に対して階調を再調整してシャドー部を明るく補正します。

▼ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が強調される場合があります。
- 露出モードが Mのときは、[昭Aオート]に設定していても [昭N標準] 相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度が高感度(Hi 0.3~Hi 2)のときは機能しません。

Ⅲ アクティブD-ライティングの設定方法



2 効果の度合いを選び、®ボタンを 押す

• [昭Aオート] に設定すると、撮影シーンに応じて自動的に効果の度合いを設定します。

A	アクティブD-ライティング	C
1	喧 A オート	
	喵Ҥ より強め	
5	稲日 強め	
<u> </u>	��N 標準	
	��L 弱め	
	しない	
?		

motor

AE\$

▲ 動画撮影時のアクティブD-ライティングについて

- 動画の画像サイズを3840×2160または1920×1080スローに設定している場合、動画撮影時のアクティブD-ライティングは機能しません。
- 静止画撮影メニューのアクティブDライティングが [オート]のときに、動画 撮影メニューで [静止画の設定と同じ]を選んだ場合は、[標準]と同じ設定 になります。

🖉 関連ページ

アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影する →「ADLブラ ケティングの撮影方法」(□148)

<u>HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う</u>

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝 度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。 明暗差が著しい撮影シーンなどで、シャドー部からハイライト部まで幅 広く再現された画像になります。HDRモードを設定したときは、測光 モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします (□121)。



露出暗めで撮影 した画像



露出明るめで撮影 した画像



HDRモードで合成 された画像

1 静止画撮影メニューの [HDR (ハイ ダイナミックレンジ)] を選んでマル チセレクターの ()を押す



☑ RAWを含む画質モードについて RAWを含む画質モードの場合、HDR撮影はできません。

2 [HDRモード] を設定する

- [HDRモード] を選んで ⑦を押します。
- ・ ③または ④を押してHDRモードを設定し、 ◎ボタンを押します。



0N ひ する (連続)	解除するまで連続してHDR撮影します。HDRモード を解除するには、もう一度 [HDRモード] を選んで [しない] を選んでください。
する(1回)	撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。
しない	HDRモードを解除します。

• [する(連続)] または [する(1回)] を選ぶと、HDRモードの撮影待機状態 になり、表示パネルにCDRマークが点灯 します。



- 3 [露出差] を設定する
 - 「露出差」を選んで()を押します。
 - ●または●を押して露出差を設定し、 のボタンを押します。
 - 露出差を大きく設定するほど、輝度範 囲のより広い被写体に対応できます。
 - 被写体の輝度範囲に適した露出差以上 に設定すると、不自然な画像になる場

合があります。被写体の輝度範囲に合わせて選んでください。

- 「オート」に設定すると、シーンに適した露出差が選ばれます。
- 4 [スムージング] を設定する
 - [スムージング]を選んで③を押します。
 - ●または●を押してスムージング(2) 枚の画像の境界のなめらかさ)の強さ を設定し、のボタンを押します。
 - スムージングを強めに設定するほど、 画像がよりなめらかに合成されます。





5 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
- 合成処理中は、表示パネルに よっと いろが、ファインダー内表示に よっと メオ・が点滅します。この表示 が消えるまで撮影できません。
- [する (連続)]の場合、[HDRモード]で[しない]を選んでHDRモードを解除するまで、HDRモードで撮影できます。



HDRモードが [する(1回)]の場合、1回撮影すると、HDRモードが解除され、UDRマークが消灯します。

☑ BKTボタンとコマンドダイヤルでHDRモードと露出差を設定する カスタムメニューf1 [カスタムボタンの機能]の[BKTボタン+毫]を[HDR (ハイダイナミックレンジ)]に設定すると、BKTボタンとコマンドダイヤルの操 作で手順2の[HDRモード]と手順3の[露出差]を設定できます。

 BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤ ルを回してHDRモードをoFF([しない])、 ([する(1回)])、【([する(連続)])から選ん でください。



BKTボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回して露出差を(3 ([1 EV])、2 ([2 EV])、3 ([3 EV])、Я ([オート])から選んでください。



▶ HDR撮影時のご注意

- 撮影した画像の画像周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されない場合があります。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の 周辺が明るくなったりします。[スムージング]の設定で調整できます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 測光モードが中央部重点測光またはスポット測光のときや、非CPUレンズ装着時に、[露出差]を[オート]に設定すると、露出差は[2 EV]相当の度合いに固定されます。
- 別売のスピードライトは発光しません。
- レリーズモード(ロ110)をCL、CH、またはQcに設定した場合にシャッター ボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- シャッタースピードは、buib (バルブ)または--(タイム)に設定できません。

✓ HDRモードの制限について

次の場合など、HDRモードとは同時に使用できない機能や設定があります。

- オートブラケティング撮影(□140)
- 多重露出撮影(□247)
- •フォーカスシフト撮影(凹206)
- タイムラプス動画撮影(□252)

HDRモードとインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

- HDRモードを [する (連続)] に設定してインターバルタイマー撮影 (凹248)
 を設定すると、設定されたインターバルでHDR撮影ができます。この場合、
 [インターバルタイマー撮影] で設定されたインターバルで撮影されます。
- HDRモードが [する(1回)]の場合は、1回だけHDRモードで撮影した後、インターバルタイマーとHDRモードが解除されます。

✓ 静止画撮影メニューの管理

HDRモードは、静止画撮影メニュー(「A」~「D」)(□243) ごとに設定でき ますが、多重露出撮影中(□247) またはインターバルタイマー撮影中(□248) にHDRモードを**[する(連続)**] または**[する(1回)**] に設定した静止画撮影 メニューに切り換えた場合、HDRモードが解除されます。また、HDRモードが **[する(連続)**] または**[する(1回)**] のときに、RAWを含む画質モードが選ば れている静止画撮影メニューに切り換えた場合も、HDRモードが解除されます。

スピードライトをカメラに 装着して撮影する

別売スピードライト(ロ280)をカメラに装着すると、フラッシュ撮影ができます。

- お使いのスピードライトの使用方法については、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- 複数のスピードライトをリモート制御する増灯撮影については、当社ホームページに用意されているメニューガイド(□□i)をご覧ください。

別売スピードライトをカメラに 装着して撮影する

カメラのアクセサリーシューに スピードライトを装着する

 スピードライトの装着方法については、 お使いになる各スピードライトの使用 説明書をご覧ください。



2 カメラとスピードライトの電源をONにする

 スピードライトの充電が開始され、撮影ができる状態になると ファインダー内表示にく(レディーライト)が点灯します。

3 発光モード(□185)とフラッシュモード(□187)を設 定する

4 シャッタースピード、絞り値を設定する

5 撮影する

✓ 別売スピードライト使用時のシャッタースピード

別売のスピードライト使用時にカメラで設定できるシャッタースピードと絞り 値は、次の通りです。

露出モード	設定可能なシャッタースピード	
P. A	カメラが自動的に1/250~1/60秒にセット*	
S	1/250~30秒	
М	1/250~30秒、 bulb (バルブ)、 (タイム)	

※フラッシュモード(ロ187)をスローシンクロモード、後幕スローシンクロ モード、赤目軽減スローシンクロモードに設定している場合は、シャッター スピードが最長30秒まで延長されます。

🖉 シンクロターミナル

シンクロコードを必要とするスピードライト撮影 時に、シンクロコードをシンクロターミナル(JIS-B型外れ防止ネジ付き)に接続してください。た だし、後幕シンクロ撮影ができるスピードライト をアクセサリーシューに装着して後幕シンクロを 行う場合には、シンクロターミナルに他のスピー ドライトを接続して増灯撮影などを行わないでく ださい。



▶ 他社製フラッシュについてのご注意

カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるフラッシュや、アクセサリーシュー 部の接点をショートさせてしまうフラッシュを使用することはできません。カ メラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシン クロ回路を破損することがあります。

✓ スピードライトの調光方式について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (皿280)をカメラに装着し、スピードライトの発光モードをTTLにセットする と、モニター発光を行う専用TTLモード(i-TTLモード)になり、i-TTL-BL調光な どによるフラッシュ撮影ができます。ニコンクリエイティブライティングシス テム非対応のスピードライトでは、i-TTLモードでの撮影はできません。i-TTL モード時は、次のような調光方式が利用できます。

	a contraction of the second
i-TTL-BL 調光	180Kピクセル(約180,000ピクセル)RGBセンサーによる測 光情報をもとに主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL (バランス)調光を行います。シャッターボタンを押すと、 シャッターの開く直前にスピードライトがモニター発光を行 い、被写体と背景光のバランスを考慮した最適な発光量を決 定します。 • G、EまたはDタイプレンズ装着時は、レンズから得られた被 写体までの距離情報も利用して最適な発光量を決定します。 • 非 CPU レンズ装着時は、レンズ情報(開放絞り値、焦点距 離)を設定することにより、より精度が向上します (CQ122)。
スタンダード i-TTL調光	背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

カメラの測光モード(四121)がスポット測光に設定されている場合、自動的にスタンダードi-TTL調光になります。

カメラに装着したスピードライトの 発光モードを設定する

ユニファイドフラッシュコントロールに対応 した別売スピードライトSB-5000、SB-500、 SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場 合、スピードライトの発光モードや補正量な どは、静止画撮影メニュー[フラッシュ発光] の[発光モード]で設定できます。選べる発



光モードは装着したスピードライトによって異なります(凹280)。選んだ項目によって [発光モード]の下に表示されるメニュー項目が変更 されます。

- SB-5000、SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した 場合、発光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。
- SB-5000をお使いの場合はスピードライト本体でも設定できます。

TTL調光	スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。 • [TTL調光補正]でスピードライトの調光補正値を設定します。 SB-500、SB-400またはSB-300を装着した場合、調光補正は ♀☎(\$)ボタンを押して行えます(□189)。
外部自動調光	スピードライトの発光による被写体からの反射光を外部自動調光 用センサー窓で測光し、スピードライトが発光量を制御します。 • [外部自動調光補正]でスピードライトの調光補正値を設定します。 • 「絞り連動外部自動調光」(のA)と「外部自動調光」(A)が あります。セットアップメニューの[レンズ情報手動設定] (ロ212)でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない 非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。詳しく はで使用のスピードライトの使用説明書をご覧ください。
距離優先 マニュアル発光	スピードライトから被写体までの距離を設定すると、カメラの 設定に合わせて適正な発光量をスピードライトが自動的に設定 します。 • [距離優先マニュアル発光設定]の[距離]で被写体までの距離 を、[調光補正]でスピードライトの調光補正値を設定します。

マニュアル発光	指定した発光量でスピードライトが発光します。 • [マニュアル発光量] でスピードライトの発光量を設定します。
リビーティング 発光	1回の露光中に、スピードライトを連続発光させて、被写体の連 続的な動きを多重露出のように写し込みます。 • [リビーティング発光設定]の[発光量]でスピードライトの 発光量を、[回数]で連続発光する回数を設定できます。[周 波数]で発光周波数(1秒あたりの発光回数)をHz(ヘルツ) 単位で設定できます。 • 最大連続発光回数は[発光量]と[周波数]の組み合わせに より異なります。詳しくはご使用のスピードライトの使用説 明書をご覧ください。

✓ ユニファイドフラッシュコントロールについて

ユニファイドフラッシュコントロールは、ユニファイドフラッシュコントロール に対応した別売スピードライトをカメラに装着しているとき、フラッシュ発光に 関する各種設定をスピードライトとカメラで共有できる機能です。カメラや別売 のCamera Control Pro 2を使用してスピードライトの設定を行えます。スピード ライトで設定を行った場合は、カメラやCamera Control Pro 2に反映されます。

フラッシュモードを設定する

モード	内容
な 先幕シンクロ モード	通常のフラッシュ撮影時にはこのモードを設定します。露出 モードをPまたはAにセットしてフラッシュ撮影すると、カメラ が適正露出となるようにシャッタースピードを1/250~1/60秒 (オートFPハイスピードシンクロ時は1/8000~1/60秒)に自 動的にセットします。
な 赤目軽減 モード	赤目軽減発光機能付きのスピードライトを使用することにより、暗いところで人物の目が赤く写るのを軽減できます。 • シャッターがきれるまで、カメラや被写体の人物が動かない ように注意してください(シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません)。
* まし まし まし まし まし	 赤目軽減モードとスローシンクロモードが同時にセットされます。露出モードはPまたはAに設定してください。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。 シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただくことをおすすめします。
5 LOW スローシンクロ モード	 露出モードをPまたはAに設定してフラッシュ撮影すると、背景の露出を考慮してシャッタースピードが最長30秒まで延長されます。これにより、背景を描写しながらスピードライトを発光させ、夕景や夜景の雰囲気を活かした撮影ができます。 シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただくことをおすすめします。
な REAR 後幕シンクロ モード	シャッター後幕の走行開始(シャッターが閉じる)直前にスピー ドライトが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や 軌道などを表現したい場合などに適しています。 ・露出モードをPまたはAに設定すると、スローシンクロモード も自動的にセットされます。シャッタースピードが遅くなり ますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただ くことをおすすめします。
③ 発光禁止	スピードライトは発光しません。

ℤ スタジオ用大型ストロボ使用時について

スタジオ用大型ストロボでは正しい同調が行えないため、後幕シンクロモード は使用できません。

<u>フラッシュモードを切り換える</u>

Q≅(4)ボタンを押しながら、 メインコマンドダイヤルを回す

 フラッシュモードは、表示パネル に表示されます。





9≅ (\$) ボタン

メインコマンド ダイヤル





- ※1 スピードライト側が赤目軽減発光機能に対応していない場合は、フラッシュ モード表示の赤目軽減マーク ●が点減します。
- ※2 露出モードがSまたはMの場合、赤目軽減スローシンクロモードは設定できま せん。このモードを選んだ場合は自動的に「赤目軽減モード」に変更されます。
- ※3 露出モードがSまたはMの場合、スローシンクロモードは設定できません。このモードを選んだ場合は自動的に「先幕シンクロモード」に変更されます。
- ※4 露出モードが₽またはAの場合は、スローシンクロモードも自動的に 5 セットされ、98(\$)ボタンから指を放すと図のように表示されます。

調光補正してフラッシュの発光量を 変更する

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対 する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くし て被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強 く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

■ 調光補正の設定方法

Q≅(\$)ボタンを押しながら、 サブコマンドダイヤルを回す

- 調光補正値は、表示パネルに表示 されます。
- 調光補正は、1/3段ステップで -3段~+1段の範囲で設定でき ます。



9≅ (\$) ボタン

サブコマンド ダイヤル

●
 ●
 (\$)ボタンを押すと、表示パネルとファインダー内表示で設定した補正量を確認できます。



ンを押したとき)

- 調光補正が設定されていると、表示パネルとファインダー内表示に
 2マークが表示されます。
- 9≅(\$)ボタンを押すと、表示パネルで設定した補正量を確認できます。

- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正してください。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源 をOFF にしても、補正量の設定は解除されません。

- 調光補正値を変えながら撮影する →「AEブラケティング、フラッシュブラケ ティングの撮影方法」(□141)

FVロックして調光量を固定する

別売のニコンクリエイティブライティングシステム(□280)対応ス ピードライト使用時は、調光量を固定(FVロック)することにより、被 写体に調光量を合わせたまま構図を変えたり、同じ調光量を維持したま ま撮影できます。被写体が画面の中央にない場合など、自由な構図で適 切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

•FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの 発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。

カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能](□260)で任意のボタンに [FV-L]を割り当てる



2 FVロック対応スピードライト(□280)をカメラのアク セサリーシューに装着する

- **3** スピードライトの電源をONにし、発光モードをTTLまたは 「モニター発光あり」の
 のAまたはAのいずれかにセットする
 - •別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの 使用説明書をご覧ください。

4 被写体にピントを合わせる

発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。





5 モニター発光を行う

- ファインダー内表示になが点灯していることを確認し、[FV-L] を割り当てたボタンを押すと、フラッシュがモニター発光を行い、調光量を計算します。
- FVロックが行われ、ファインダー内 表示にFVロックマーク(配)が表示 されます。

6構図を変更する



7 シャッターボタンを全押しして撮影する

• FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影 できます。必要に応じて手順6~7を繰り返してください。

8 FVロックを解除する

もう一度[FV-L]を割り当てたボタンを押すと、FVロックが解除され、ファインダー内表示のFVロックマーク(四)が消灯します。

カメラに装着したスピードライトの 設定を確認する

カメラのアクセサリーシューに、ユニファイドフラッシュコントロール に対応した別売スピードライトSB-5000、SB-500、SB-400、SB-300を 取り付けた場合、スピードライトの設定内容をカメラのフラッシュイン フォ画面で確認できます。フラッシュインフォ画面は、インフォ画面 (□198)表示中に再度■ボタンを押すと表示されます。

各発光モードの表示について





1	レディーライト182
2	バウンスマーク(スピードライトの
	フラッシュヘッドを上方向に設定し
	ている場合に表示されます)
3	照射角不適合マーク(照射角の
	設定が適切でない場合に表示され
	ます)
4	発光モード185
	FP発光表示259
5	TTL調光補正量189
6	フラッシュモード187
7	発光モード185
8	FVロックマーク191
9	調光補正量189



1	発光モード	
	FP発光表示	259
2	外部自動調光補正量	189

■ 距離優先マニュアル発光



■マニュアル発光



■ リピーティング発光



1	発光モ	ード	
2	発光量		185
3	回数		
	周波数		



🖉 フラッシュインフォ画面での撮影に関する情報について

フラッシュインフォ画面で、露出モードや シャッタースピード、絞り値、ISO感度など、 撮影に関する情報や設定の確認することもで きます。



🖉 設定を変更する

フラッシュインフォ画面表示中に**:**ボタンを押す と、フラッシュの設定を変更できます。表示される 項目は、接続しているスピードライトや設定によっ て異なります。テスト発光することもできます。



☑ インフォ画面の発光モード表示について

インフォ画面には、カメラに装着した別売スピー ドライト使用時の発光モードが、次のように表示 されます。



	通常発光	FP発光(□□259)
i-TTL-BL調光 スタンダードi-TTL調光	₽ TTL	≓∎ TTL FP
絞り連動外部自動調光(匆A)	¶⊊ A⊗	≓∎ ⊛A FP
外部自動調光(A)	≓ ° A	≓ A FP
距離優先マニュアル発光(GN)	≓∎ GN	≓∎ GN FP
マニュアル発光	≓∎ M	≓∎ M FP
リピーティング発光	≓∎ RPT	_
アドバンストワイヤレス ライティング	⊂mD	≓∎ CMD FP
別売スピードライトのシステム構成

次のようなシステム構成でもフラッシュ撮影ができます。詳しくは当社 ホームページに用意されているメニューガイド(ロi)をご覧ください。 また、別売スピードライトを装着して使用できる機能については、「ニ コンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組 み合わせで使用できる機能!(ロ280)をご覧ください。

 カメラに装着したスピードライトの光でリモート フラッシュを制御する

• 電波でリモートフラッシュを制御する※

- 電波制御したリモートフラッシュとカメラに装着
 したスピードライトを同時に発光させる※
- 電波制御のリモートフラッシュと、光制御のリ モートフラッシュを同時に使用する※

※ 電波でリモートフラッシュを制御するには、カメラにWR用変換アダプター WR-A10 およびWR-R10を装着する必要があります。







撮影の便利な機能

闘ボタンを使う

ファインダー撮影時に M ボタンを押すと、画像モニターに「インフォ 画面」が表示されます。シャッタースピードや絞り値、撮影コマ数、記 録可能コマ数、AFエリアモードなど、撮影に関する情報や設定の確認 ができます(図は、説明のため全ての表示を点灯させています)。



	18 19 20		21 22		
		SDLY		4	
	27 28 P* 1/12	5	56	1	
		<u> </u>		- 23	
		100	25600		
		PCR			
				24	
		×₩₩]≪ N + SD 4 N		25	
		20 4 14		- 26	
			[1] 設止发史	_ 20	
18	フラッシュシンクロマーク259	29	オートブラク	「ティング	
19	シャッタースピードロック		撮影コマ数表	辰	141
	マーク133		WBブラケテ	ィング	
20	シャッタースピード125、128		撮影コマ数表	えって	145
21	絞り込み段数マーク126、275		AULノフケァ 座へいまニ	-インク	1.40
22	絞り値126、128		度合い衣示		148
	絞り込み段数126、275		HUK路山左.		
23	インジケーター		DUK (注税) 名舌靈山提緊	マーン シコン物	//I
	露出129		シ 主路山 取京 多 舌 索 止 (這	/コ、奴 [結] マーク	247 2/17
	露出補止	30	シ主路山(ほ オートブラク	=ハレ) ヽ ン	247 アーク
	オートノフケティング	50	1 1 2 2 2 2	71271	141
24	WBノフグテインク145		WBブラケテ	ィングマー	カ 145
24	画像コメント人力設定マーク		ADI ブラケラ	- ィングマー	-ク148
25			HDRマーク.	`	
25	1日IF1世i月和QUEマーン205		多重露出マー	-ク	
20	1	31	レリーズモー	-ド	110
27	フロフフムンフトマーフ		I.		
- 28	露出七一ト123				

インフォ画面を消灯するには シャッターボタンを半押しする インフォ画面またはフラッシュインフォ画面の表示中に、 「 ・ ボタンを押す

操作を行わないまま約10秒経過したときも、インフォ画面は消灯します。



🖉 🕑 マークについて

🖉 関連ページ

- インフォ画面の表示を手動で白黒反転する → ¥ [インフォ画面の表示設定]
 (□ 264)

<u>インフォ画面表示中にボタンと</u> <u>コマンドダイヤルで設定を変更する</u>

インフォ画面を表示中に、次のボタンを押し たままコマンドダイヤルを回すとインフォ画 面上で設定を変更できます。

- QUAL ボタン (ロ86、89)
- WBボタン※ (□151)
- MODEボタン (ロ123)
- Oボタン (□121)
- ■ボタン (□137)
- ISO ボタン (凹116)
- **9**☎ (**\$**) ボタン (□187、189)
- BKTボタン (ロ140)
- AF モードボタン (ロ92)
- カスタムメニューf1 [カスタムボタンの機能](□260)および f10
 [MB-D18のボタンの機能](□261)で割り当てを変更できるコマン ドダイヤルとの併用が可能なボタン

※ マルチセレクターを操作するとホワイトバランスの微調整ができます。

🖉 インフォ画面でホワイトバランスの設定を変更する

- インフォ画面表示中にWBボタンを押しながら メインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバ ランスの設定を変更できます。また、AUTO(オー ト)と業(蛍光灯)のときはサブコマンドダイ ヤルで種類を設定できます。
- ホワイトバランスの設定がば(色温度設定)の 場合はサブコマンドダイヤルを回して色温度を 設定できます(□158)。



- ホワイトバランスの設定がプリセットマニュアルの場合はサブコマンドダイヤ ルを回してプリセットマニュアルデータの保存場所を設定できます(ロ160)。
- 【(色温度設定)とプリセットマニュアルと以外の場合、マルチセレクターを 操作してA(アンバー)、B(ブルー)、G(グリーン)、M(マゼンタ)の4方向 の調整が可能です。



iボタンを使う

ファインダー撮影時に**i**ボタンを押すと、次のメニューが表示されます。マルチセレクターで項目を選んで[®]ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

 ・
 iボタンを押したときの設定はタッチ操作
 (□11)でも行えます。

メニュー項目	
静止画撮影メニューの管理	243
カスタムメニューの管理	253
カスタムボタンの機能	260
アクティブD-ライティング	176
撮像範囲設定	81
長秒時ノイズ低減	246
高感度ノイズ低減	246



iボタン

静止画撮影メニューの管	理 A	
カスタムメニューの管理	А	2
カスタムボタンの機能		
アクティブD-ライティング	FEIOFF	
撮像範囲設定	X	
長秒時ノイズ低減	0FF	
高感度ノイズ低減	NORM	
?	まキャンセル	
	2 1.3-43-32-34	

ツーボタンリセットで基本的な機能を 初期設定に戻す

QUALボタンと⊠ボタン(それぞれ のボタンに緑色の●が付いていま す)を2秒以上同時に押すと、一瞬 表示パネルの表示が消え、カメラの 機能が次のように初期設定に戻り ます。





QUALボタン

⊠ボタン

■ 静止画撮影メニュー項目※1

メニュー項目	初期設定	
静止画撮影メニューの拡張	しない	
画質モード	NORMAL	
画像サイズ		
JPEG/TIFF	サイズL	
RAW	サイズL	
ISO感度設定		
ISO感度	100	
感度自動制御	しない	
ホワイトバランス	AUTO0 白を優先する	
微調整	A-B: 0、G-M: 0	
ピクチャーコントロールの調整値	解除*2	
フリッカー低減		
フリッカー低減機能	無効	
フリッカー検出の表示	する	
多重露出	解除*3	
HDR (ハイダイナミックレンジ)	解除**4	
サイレント撮影(静止画Lv)	しない	

※1 現在選択中の静止画撮影メニュー(「A」~「D」のいずれか)の項目のみが 解除されます(多重露出は全ての静止画撮影メニューで共通です)。

※2 現在選択中のピクチャーコントロールのみ解除されます。

- ※3 多重露出撮影が中断され、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録されます。また、多重露出モードが「する(連続)]または「する(1回)]の場合は[しない]に設定されます。[コマ数]、[合成モード]、および[全画像の保存]は初期設定には戻りません。
- ※4 HDRモードが [する (連続)] または [する (1回)] の場合は [しない] に設 定されます。露出差とスムージングは初期設定には戻りません。

■ 動画撮影メニュー項目

メニュー項目	初期設定
ISO感度設定	
Mモード時のISO感度	100
ホワイトバランス	静止画の設定と同じ
アクティブD-ライティング	しない
電子手ブレ補正	しない

■ その他の撮影関連の機能

機能	初期設定
フォーカスポイント*1	中央
プリセットフォーカスポイント	中央
露出モード	Р
プログラムシフト	解除
露出補正	解除(0.0)
AE-L (ホールド)	解除
露出プレビュー	解除
コマンドロック(絞り)	解除
コマンドロック(シャッタースピード)	解除
AFモード	AF-S
ファインダー撮影時のAFエリアモード	シングルポイントAF
ライブビュー時のAFエリアモード	ノーマルエリアAF
静止画Lv画面のホワイトバランス	撮影時と同じ
マルチセレクターによるパワー絞り	無効
マルチセレクターによる露出補正	無効
ハイライト表示	しない
ヘッドホン音量	15
測光モード	マルチパターン測光
オートブラケティング	解除*2
フラッシュモード	先幕シンクロ
調光補正	解除(0.0)
FVロック	解除
露出ディレーモード*3	しない

※1 AFエリアモードがオートエリアAFのときは、フォーカスポイントは表示されません。

- ※2 撮影コマ数が0に設定されます。AE、フラッシュ、WBブラケティングの補正 ステップは1になります。ADLブラケティングで撮影コマ数が2コマのときの 2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いは、[昭Aオート]になります。
- ※3 現在選択中のカスタムメニュー(「A」~「D」のいずれか)の項目のみが解 除されます。

ピント位置を変えながら連続撮影する (フォーカスシフト撮影)

このカメラは、ピント位置を変えながら自動的に連続撮影を行うフォー カスシフト撮影が可能です。深度合成用の素材を撮影するときに便利で す。素材として撮影した画像をパソコンに取り込んで、他社製の画像編 集ソフトで合成することができます。

■ フォーカスシフト撮影の開始

- **1** 静止画撮影メニューの [フォーカス シフト撮影] を選ぶ
 - マルチセレクターの③を押すと、 フォーカスシフト撮影の設定画面が表示されます。



フォーカスシフト撮影	C C
撮影開始	
撮影回数	100
フォーカスステップ幅	5
待機時間	0″
露出平滑化	0FF
サイレント撮影	0FF
撮影開始時の記録フォルダー	
 7 開始後の中 	·断→OK

▼ フォーカスシフト撮影を開始する前に

- AF-SレンズまたはAF-Pレンズをお使いください。
- フォーカスモードセレクターをAFに切り換えてください。
- 撮影中に絞りが変化しない露出モードAまたはMにして撮影することをおすすめします。
- 絞り値は、開放絞りから2~3段ほど絞った値で撮影することをおすすめします。
- ISO感度は、固定で撮影することをおすすめします。
- 試し撮りをすることをおすすめします。
- フォーカスシフト撮影時は、カメラを三脚で固定し、レンズの VR (手ブレ補正)機能を無効にすることをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いください。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします(ロ113)。

2 フォーカスシフト撮影の設定をする

撮影回数を設定する





- 撮影回数は最大300回まで設定できます。
- 撮影回数は多めに設定しておくことをおすすめします。合成時 には必要な画像を選んで使用してください。
- 昆虫などの小さい被写体をクローズアップ撮影する場合、100枚以上の 画像が必要になることがあります。また、手前から遠くまでをカバーす る風景を広角レンズで撮影する場合は、数枚で充分なこともあります。
- •フォーカスステップ幅(ピント位置の間隔)を設定する



を選んで①を押す



フォーカスステップ幅を 設定して、**⊗**ボタンを押す

- フォーカスステップ幅を大きな数値に設定すると、深度合成したときにピントの合っていない領域ができてしまうことがあります。通常は5以下に設定することをおすすめします。
- フォーカスステップ幅は何度か試して決めてください。

🖉 近接撮影を行う場合

近接撮影では焦点深度が浅くなるため、近接被写体のフォーカスシフト撮影を 行う場合は、フォーカスステップ幅を狭めにし、撮影回数を多めにして撮影す ることをおすすめします。

・ 待機時間を設定する





待機時間を設定して、のボ タンを押す

σ

- シャッターをきってから次にシャッターをきるまでの時間を秒 単位で設定できます。
- 待機時間が [00] の場合、サイレント撮影の設定によって連続 撮影速度が異なります。サイレント撮影が「**しない**」のときは 最大5コマ/秒でシャッターがきれます。サイレント撮影が「す **る**]のときは約1コマ/秒でシャッターがきれます。
- 連続撮影速度は、撮影環境やカメラの設定、装着しているレン ズなどによって変わる場合があります。
- フラッシュを使用して撮影する場合は光量不足にならないよう に充電時間を考慮して設定してください。フラッシュを使用し ない場合は、「00」に設定することをおすすめします。

露出平滑化をするかどうかを選ぶ



- 光源などの撮影環境が安定している場合は「しない」、風景など の光線条件が変化するような場合は「する」をおすすめします。 - 「する」を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化し ないようにカメラが自動で露出を調整します。ただし、輝度の変化が 大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えること があります。その場合は待機時間を短くすることをおすすめします。

- 露出モードMで静止画撮影メニュー [ISO感度設定]の[感度自 動制御](^[118])が [**しない**]の場合、露出の平滑化は行いま せん。
- サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ





サイレント撮影をするか どうかを選んで®ボタンを 押す

- [する]を選ぶと、シャッター音を出さずに撮影できます。
- 撮影開始時の記録フォルダーの設定をする



ダー]を選んで①を押す



- 項目を選んでマルチセレクターの ③を押すと、項目の左側の チェックボックスがオン ☑ になります。もう一度 ④を押すと、 チェックボックスがオフ□になります。
- [新規フォルダー作成]のチェックボックスをオン☑にすると、 フォーカスシフト撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自 動的に作成して画像を保存します。
- [**ファイル番号リセット**]のチェックボックスをオン**№**にする と、新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」 に戻ります。

3 [撮影開始] を選んで®ボタンを押す

- 約3秒後に撮影を開始します。
- 撮影開始時のピント位置から無限遠に 向かって連続撮影を行います。
- 設定した撮影回数に達するか、ピント 位置が無限遠に達すると撮影を終了し ます。
- フォーカスシフト撮影を途中で終了するには、次の操作を行います。
 -撮影待機中に静止画撮影メニュー [フォーカスシフト撮影] で [終了] を選び、のボタンを押す
 - 次の撮影までの間にシャッターボタンを半押しするか、 ∞ボタ ンを押す

✓ フォーカスシフト撮影の待機状態について フォーカスシフト撮影の待機状態では、表示パネ

ルにINTAL マークが点滅します。撮影直前になると シャッタースピード表示部に残りの撮影回数を表 示します。



✔ フォーカスシフト撮影についてのご注意

- 実際のフォーカスシフト撮影には、待機時間の他、シャッタースピードやカメ ラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した待機時間で撮影できな いことがあります。
- フォーカスシフト撮影中は、カスタムメニューc2 [半押しタイマー](□256)の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- スピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。待機時間が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。
- シャッタースピードが buib (バルブ)または -- (タイム)の場合など、 フォーカスシフト撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- フォーカスシフト撮影中にカメラの設定を変更すると、フォーカスシフト撮影 が終了する場合があります。

✓ フォーカスシフト撮影待機中の各種設定について

フォーカスシフト撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の 再生を行うことができます。ただし、メニュー画面や再生画面を表示している 場合、撮影時刻の約4秒前に画像モニターを消灯して、撮影に入ります。

✓ フォーカスシフト撮影の制限について

- 次の場合、フォーカスシフト撮影はできません。
 カメラの日時設定がされていない場合
 AF-SレンズまたはAF-Pレンズが装着されていない場合
 メモリーカードが入っていない場合
- 次の場合など、フォーカスシフト撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。
 - ライブビュー撮影(四35)
 - 動画撮影(口58)
 - 長時間露出 (バルブまたはタイム) 撮影 (四130)
 - セルフタイマー撮影(四113)
 - オートブラケティング撮影(四140)
 - HDR (ハイダイナミックレンジ) (ロ177)
 - 多重露出撮影(凹247)
 - インターバルタイマー撮影(ロ248)
 - タイムラプス動画撮影(ロ252)

🖉 [サイレント撮影] を [する] にした場合の制限について

次の場合など、[**サイレント撮影**]を[**する**]に設定すると使用できない機能や 設定があります。

- ISO感度(□116)のHi 0.3~Hi 2
- •フラッシュ撮影(四182)
- 露出ディレーモード(□257)
- •フリッカー低減(ロ251)

非CPUレンズを使う(レンズ情報手動 設定)

このカメラでは、非CPUレンズ装着時も露出モードAまたはMで撮影が できます。非CPUレンズを使用する場合、絞り値はレンズの絞りリング で設定します。セットアップメニューの[**レンズ情報手動設定**]でレン ズの情報をカメラに登録すると、非CPUレンズ(凹275)を使って撮影 するときに、次の機能が使用できるようになります。

- 焦点距離を設定して使用できる機能:
 - 別売のスピードライトのオートパワーズーム
 - 再生画面での焦点距離表示(焦点距離に*印が付きます)
- 開放絞り値(開放F値)を設定して使用できる機能:
 - レンズで設定した絞り値表示(表示パネル、ファインダー内表示)
 - スピードライトの絞り連動外部自動調光(SA)
 - 再生画面での絞り値表示(絞り値に*印が付きます)
- 焦点距離と開放絞り値の両方を設定して使用できる機能:
 - RGB マルチパターン測光(レフレックスニッコールなど一部のレン ズでは、焦点距離と開放絞り値を設定してもRGBマルチパターン測 光では充分な精度が得られない場合があります。中央部重点測光ま たはスポット測光に設定して撮影してください)
- 焦点距離と開放絞り値の両方を設定すると精度が向上する機能:
 - 中央部重点測光
 - スポット測光
 - i-TTL調光

▶ ズームレンズまたはテレコンバーター使用時のご注意

- ズームレンズ使用時やテレコンバーター使用時など、一致する焦点距離が選択 項目にないときは、装着レンズの焦点距離に最も近く、かつ大きい値を選んで ください。
- テレコンバーターを使用した際の開放絞り値は、合成絞り値を設定してください。

■ レンズ情報の登録方法



5 ◎ボタンを押して、設定を終了する

•レンズの設定が保存されて、セットアップメニュー画面に戻ります。

■ 手動設定済みレンズ情報の選択方法

- 1 カスタムメニューf1 [カスタムボタンの機能] (□260) で 任意のボタンに [手動設定済みレンズの選択] を割り当てる
- 2 [手動設定済みレンズの選択]を割 り当てたボタンを押しながらメイン コマンドダイヤルまたはサブコマン ドダイヤルを回す



- ダイヤル
- レンズNo.は表示パネルに表示されます。使用したいレンズの番号が表示されるまでメインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回します。



🖉 ズームレンズ装着時について

非CPUズームレンズを装着してズーミングをした場合、変化するレンズの焦点 距離や開放絞り値とカメラで設定されているレンズ情報は連動しません。ズー ミングを行った場合は、もう一度レンズ情報を設定してください。

位置情報を画像に記録する

このカメラは、10ピンターミナルに接続した別売のGPSユニットGP-1 またはGP-1Aと通信し、画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC (協定世界時)を記録できます。

■ GP-1/GP-1Aとの接続について

- カメラの電源をOFFにしてから、GP-1/GP-1Aに付属のケーブルを10 ピンターミナルに接続します。詳しくはGP-1/GP-1Aの使用説明書を ご覧ください。
- GP-1/GP-1A と通信して撮影した画像には、再生時の画像情報に位置 情報のページ(ロ230)が追加されます。

■ GP-1/GP-1A接続時のカメラの設定について

セットアップメニューの[位置情報]を選んでマルチセレクターの③を 押すと、GP-1/GP-1Aと接続時の半押しタイマーの設定、取得した位置 情報の表示、衛星による日時合わせの設定ができます。

• [情報表示] では、GP-1/GP-1A接続時に取得した情報を表示します。

緯度	緯度を表示。
経度	経度を表示。
標高	標高を表示。
UTC	UTC(協定世界時)を表示。 UTC(Coordinated Universal Time = 協定世界時)は、GP-1/ GP-1Aと接続して取得された世界標準時で、カメラで設定されて いる時刻とは別に記録されます。

 [GPS機器設定]の[半押しタイマー]では、カメラとGP-1/GP-1Aを 接続しているときの半押しタイマーを設定できます。

有効	カメラを操作していないときは、カスタムメニュー c2 [半押しタ イマー] (□256) で設定された時間で半押しタイマーがオフにな ります。 • カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。 • GP-1/GP-1Aとの接続時には、電源をONにした直後または半押 しタイマーがオンになった直後は、カメラが位置情報を取得で きるまで半押しタイマーがさらに最大1分間延長されます。 • GP-1/GP-1A との接続時には、半押しタイマーがオフになって からも、位置情報の測位を一定時間継続します。
無効	GP-1/GP-1Aと接続中は、半押しタイマーがオフにならず、位置 情報を測位し続けます。

[GPS機器設定]の[衛星による日時合わせ]が[する]の場合、GP-1/GP-1A接続時に取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。
 GP-1/GP-1Aを使用して日時を合わせないときは、[しない]を選んでください。

GP-1/GP-1A使用時の表示について

- GP-1/GP-1A との通信状態は、インフォ画面の 衛星受信状態マーク≫で確認できます。
 - \land (点灯): 位置情報が確定しています。
 - ふ(点滅): GP-1/GP-1A が取得している情報 が確定していないため、位置情報は記録されま せん。ふが点灯するまでお待ちください。
 - ※(消灯):GP-1/GP-1Aとの通信が2秒以上途
 絶えると、
 ※が消灯します。この状態で撮影
 した画像データには位置情報は記録されません。



ライブビュー時は、画像モニターで衛星受信状態マーク、多を確認できます。

🖉 スマートフォンからの位置情報取得について

カメラとスマートフォンを接続して、カメラのセットアップメニュー [位置情報]の[スマートフォンから取得](□266)を [する] にすると、スマート フォンから位置情報を取得して画像データに記録することができます。位置情 報を取得するには、SnapBridgeアプリの位置情報機能を有効にしてください。

217

サムネイル表示モード

1コマ表示モードのときに98(4) ボタンを 押すと、複数の縮小画像(サムネイル画像) を表示する「サムネイル表示モード」に切り 替わります。

- 表示される画像の数は、
 Q≅(4)ボタンを 押すたびに4コマ、9コマ、72コマの順に増
- タッチパネルを上下にスライドすると画面をスクロールできます。



サムネイル表示モード

1コマ表示モード

1コマ表示

モード

画像の再生

画像を再生する

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が画 像モニターに表示されます。

 マルチセレクターの ④ を押すと前の画像 が、③を押すと次の画像が表示されます。 タッチパネルをフリックしても画像を切り 換えられます。

 ●または●を押すと、表示中の画像につい ての詳しい情報が表示されます(□223)。



▶ボタン



画像再生時のボタン操作



■ ∞ ボタンで使える再生機能

マルチセレクターとの組み合わせで次の機能を使えます。

œ	+	[スロット/フォルダー指定] 画面が表示されます。スロットを 選んで◆を押すと、選んだスロット内のフォルダーの一覧が表 示されます。フォルダーを選んで®ボタンを押すと、フォルダー 内の画像が表示されます。
©K)		静止画を再生しているときに、画像編集メニュー(凹 269)が 表示されます。
©K)		WT-7を装着したときに、選んだ画像を画像送信モードでパソコ ンやFTPサーバーに送信できます。

🖉 メモリーカードスロットの切り換えについて

サムネイル表示モードの72コマ表示時に**9**窓(な)ボタンを押して[スロット/フォルダー指定]画面を表示することもできます。

✓ 縦位置で撮影した画像の場合

再生メニューの「縦位置自動回転」(ロ242)を [する]に設定すると、縦位置で撮影された画像を 縦位置で再生します。



✓ 撮影直後の画像確認について

再生メニューの [撮影直後の画像確認] (□ 242) で [する] が設定されている ときは、 ■ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に画像モニターに表 示します。

- レリーズモードがCH、CL、またはQcのときは、撮影終了後に、最初のコマから順次画像を表示します。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、再生メニューの〔縦 位置自動回転〕(□242)を〔する〕に設定しても、撮影直後の画像確認時は 自動回転しません。

✓ 関連ページ

再生時にタッチパネルでできること

このカメラの画像モニターは、再生時に指で画面にタッチして次の操作 ができます。

前後の画像を表示する

左右にフリックすると、前後の画像を表示し ます。



前後の画像を高速で切り換える

1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フ レームアドバンスバーが表示されます。フ レームアドバンスバーに触れたまま指を左 右にスライドすると、前後の画像を高速で切 り換えられます。





拡大表示する(静止画のみ)

1コマ表示中に広げる操作をするか、画面を 素早く2回タッチすると、拡大表示(ロ232) します。

- さらに広げる操作をすると、拡大率が上が ります。
- つまむ操作をすると、拡大率が下がります。
- 画面をスライドすると、見たい部分に移動できます。
- •画面を素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。



サムネイル表示する

1コマ表示中につまむ操作をすると、サムネ イル表示(ロ217)します。

 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数 (4コマ/9コマ/72コマ)が切り替わります。

動画を再生する

「「「「「「「」」」であっている画像で、操作ガイドに タッチすると再生します。

- 再生中に画面をタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
- 再生中につにタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。
- タッチでは操作できない操作ガイドもあります。





操作ガイド



<u>iボタンを使う</u>

1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードで i ボタンを押すと、次のメニューが表示 されます。項目を選んで[®]ボタンまたはマル チセレクターの[®]を押すと、選んだ項目の設 定画面が表示されます。

- ・
 iボタンを押したときの設定はタッチ操作
 (□11)でも行えます。
- 動画再生の一時停止中に*i*ボタンを押すと、
 動画の編集(ロ76)を行えます。
- 再生画面に戻るには、再度*i*ボタンを押して ください。



iボタン



レーティング	選んだ画像にレーティングを設定します(凹235)。
スマートフォンへ	スマートフォンに取り込みたい静止画を送信指定することが
の送信指定/解除	できます (皿236)。
画像編集	選んだ静止画を編集できます(口269)。
音量調節	動画再生時の音量を調節できます。
動画編集	選んだ動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選
(始点/終点設定)	択した範囲だけを残すことができます(凹76)。
	スロットとフォルダーを切り換えられます。スロットを選ん
スロット/	で
フォルダー指定	されます。フォルダーを選んで∞ボタンを押すと、フォルダー
	内の画像が表示されます。

画像情報を表示する

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができま す。マルチセレクターの会または令を押すと、次のように撮影情報の 表示が切り替わります。



※1 再生メニューの [再生画面設定] (ロ241) で設定している場合のみ表示します。
※2 位置情報(ロ215) が記録された画像の場合のみ表示します。





て、ファインダー撮影した画像を選んだ場合のみ表示します。

■ ハイライト表示



1 画像のハイライト部分(画像の中 の非常に明るい部分)を各色ごと に点滅表示します* 3 ハイライト部分が点滅表示してい る色*

- フォルダー番号-ファイル名を表 す4桁の数字243
- ※ Q≊ (\$)ボタンを押しながらマルチセレク ターの③または④を押すと、次のように点滅 表示するハイライト部分が切り替わります。





■ RGBヒストグラム



- ※ Q≥ (\$)ボタンを押しながらマルチセレク ターの③または④を押すと、次のように点滅 表示するハイライト部分が切り替わります。

4 ハイライト部分が点滅表示している色*
 5 RGBのヒストグラム
 6 赤色(R)のヒストグラム
 7 緑色(G)のヒストグラム
 8 青色(B)のヒストグラム



🗣 (🎝) ボタン



☑ 拡大ヒストグラム表示について

RGB ヒストグラム表示で[♥]ボタンを押すと、ヒス トグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒ ストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを 表示することができます。また、拡大表示中にマ ルチセレクターを操作すると画面をスクロールし て見たい部分に移動できます。**♀** (�) ボタンを 押すと画像を縮小表示します。



🖉 ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ(輝度)の分布を表すグラフのことです。横 軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が 写っている画像では、グラフの山 が全体的に分布したヒストグラ ムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布 が左側に寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分 布が右側に寄った形になります。



露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。 屋外などで周りが明るすぎて画像モニターでは画像の明るさが確認しにくいと きでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

🖉 ヒストグラム表示について

- RGBヒストグラムは明るさ(輝度)を表示しています。
- ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと 異なることがあります。目安としてお使いください。

■ 撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。





- 13 フラッシュの種類**5
- 14 リモートフラッシュの制御方法*5
- **15** フラッシュモード*5187
- 16 フラッシュ発光モード**5193 調光補正値*5189



17 ピクチャーコントロール*6170





- ※1 感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。
- ※2 カスタムメニュー b7 [基準露出レベルの調節] (印256) を0以外に設定して いる場合のみ表示します。
- ※3 VRレンズ装着時のみ表示します。
- ※4 AUTO (オート) で撮影した場合は、撮影時の色温度が表示されます。
- ※5 別売のスピードライト使用時にのみ表示します(□280)。
- ※6表示される項目は、撮影時に設定したピクチャーコントロールによって異なります。
- ※7 セットアップメニューの [著作権情報] (□265)を設定して撮影した画像の 場合のみ表示します。

■ 位置情報表示

緯度、経度など、スマートフォンまたは別売のGPS機器(凹287)で取 得した位置情報(凹266)を表示します。

- 表示される項目は、スマートフォンまたは対応するGPS機器によって 異なります。
- 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。

■ 統合表示

17-	1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 7 7 8 30 9 1/125 F5 6 20100 50m 1 2 3 02-0.3 \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$ \$\$	18	19 20 21 22 23 P 1/125 P5.6 50 100 50m P 1/125 P5.6 50 100 50m
16-	2017/04/15 0:02 27		28 27 26 25
	15 14 13 12 11 10		
1	コマ番号/フォルダー内全画像数	18	測光モード121
2	送信指定の有無	19	露出モード123
3	プロテクト設定の有無234	20	シャッタースピード 125、128
4	画像編集の有無269	21	絞り値126、128
5	カメラ名	22	ISO感度**1116
6	画像コメントの有無	23	焦点距離
7	位置情報の有無215	24	アクティブD-ライティングの強度
8	画像のヒストグラムを表示します		
	(\$\$227)\$	25	ピクチャーコントロール170
9	画質モード86	26	色空間245
10	画像サイズ89	27	フラッシュモード*2187
11	撮像範囲81	28	ホワイトバランス151
12	ファイル名243		ホワイトバランス色温度157
13	撮影時刻	_	ホワイトバランス微調整
14	フォルダー名243	20	ブリセットマニュアル159
-15	撮影日付	- 29	調光補止値※2189
16	スロット91	20	コマンターモードの有無**2
17	レーティング235	- 30	蕗出佣止値137

※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 別売のスピードライト使用時にのみ表示します(□280)。

画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに(ボタンまたは中 央ボタンを押すか、画面を素早く2回タッチ すると、拡大表示されます。拡大できる最大 の大きさ(長さ比)は、画像サイズがLの場 合は約32倍、Mでは約24倍、Sでは約16倍 です(撮像範囲が[FX(36×24)]の場合)。 拡大表示中に人物の顔を認識した場合、顔を 白枠で囲み、サブコマンドダイヤルを回して 順次移動することができます。



拡大率を上げる/ 拡大率を下げる	 ●(ボタンを押すか、画面で広げる操作をするごとに拡大率が上がります。 ●(いくの)・「タンを押すか、画面でつまむ操作をするごとに拡大率が下がります。 	拡大表示中に拡大率を操作すると、 画面の右下にナビゲーションウィ ンドウが表示され、拡大表示中の部 分が黄色い枠で囲んで示されます。 ナビゲーションウィンドウの下に は拡大率を示すバーが表示され、拡 大率が100%の場合、バーの色が緑 で表示されます。ナビゲーション ウィンドウは数秒すると消えます。
画面をスクロール (移動)させる	マルチセレクターを押すか、画面をスライドすると見たい部分 に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移 動します。	
拡大表示部分を 切り抜く※	まボタンを押して表示されるメニューから[簡易トリミング] を選ぶと、画像の拡大表示された部分だけを切り抜きます。	

■ 拡大表示中の操作方法
人物の顔へ 移動させる	拡大表示中に人物の顔を認識す ると、画面右下のナビゲーショ ンウィンドウに白枠が表示され ます。サブコマンドダイヤルを 回すか、操作ガイドをタッチす ると、認識した顔に順次移動し ます。
前後の画像を見る	メインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示 範囲で、前後の静止画を表示します(動画を選ぶと、拡大表 示を終了します)。画面下部に表示される ◆▶をタッチしても 画像を切り換えられます。
画像を保護する	○ ([□] ?) ボタンを押すと、表示中の画像にプロテクト<br (保護)を設定します (□]234)。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しするか、 Nボタンを押すと、画像 モニターが消灯し、すぐに撮影できます。
メニューに移る	MENUボタンを押すと、メニューが表示されます(□1241)。

※ RGBヒストグラム表示(ロ226)では、1ボタンを押して表示されるメニューで [簡易トリミング] は選べません。

プロテクトで画像を削除できないよう に保護をする

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設 定できます。ただし、メモリーカードを初期化(フォーマット:ロ263) すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 プロテクトする画像を選ぶ

- 1コマ表示モード/拡大表示の場合は、プロテクトする画像を表示します。
- サムネイル表示モードの場合は、プロテクトする画像をマルチセレクターで選びます。

2 Оп (四)?) ボタンを押す

- ●アイコンが表示されます。
- 画像のプロテクトを解除するには、解除する画像を表示(選択)して、○
 (ご)/?)ボタンを押します。



Оп (ご)/?) ボタン



画像の再生中に、**On**(四./?) ボタンと面(画)ボタンを同時に2秒以上押し 続けると、再生メニューの[**再生フォルダー設定**]で設定されているフォルダー 内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。 画像にレーティングを設定する

1 マルチセレクターでレーティングを 設定する画像を選んでiボタンを押す



iボタン

2 [レーティング] を選んでマルチセ レクターの()を押す

3 レーティングを設定する ● ③または ③を押して、★★★★★~

- ★、星なし、 6(削除候補)から選び ます。
- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



Imation Fn2ボタンを押してレーティングを設定する

カスタムメニューf1 [**カスタムボタンの機能**] で [**Fn2ボタン**] を [**レーティング**] に設定している場合、再生画面で**Fn2**ボタンを押しながら ③または ③を 押してレーティングを設定できます。

🖉 レーティングについて

画像に設定したレーティングは、NX Studioにも反映されます。プロテクトした 画像にはレーティングを設定できません。

スマートフォンに取り込みたい画像を カメラで送信指定する

スマートフォンに取り込みたい静止画をカメラで選んで送信指定する ことができます。動画は送信指定できません。

表示中の画像を送信指定する

1 送信指定する画像を選ぶ

- •1コマ表示モードのときは、送信指定する画像を表示します。
- サムネイル表示モードのときは、送信指定する画像を選びます。
- •送信指定した画像は、2Mサイズで送信されます。

2 iボタンを押す



3 [スマートフォンへの送信指定/解除] を選んで®ボタンを押す



▶ アイコンが表示されます。

✓ 送信指定を解除するには

解除したい画像を選んで、手順2と3を行います。

複数の画像をまとめて送信指定する

1 再生メニューの [スマートフォンへの送信指定] で [画像の選択] を選んでマルチセレクターの ③を押す

2 送信指定する画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選び、中央 ボタンを押すと、▲●が表示されて送 信指定されます。もう一度中央ボタン
 を押すと解除されます。
- ・
 ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。



3 設定を完了する

• ∞ボタンを押して、設定を完了します。

✓ 送信指定を一括解除するには

再生メニューの[スマートフォンへの送信指定]で[送信指定の一括解除]を 選んで、∞ボタンを押します。確認画面で[はい]を選んで∞ボタンを押すと、 メモリーカード内にある全ての画像の送信指定がまとめて解除されます。

画像を削除する

メモリーカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には 戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトおよび非表示設定さ れている画像は削除できません。

ボタン操作で画像を削除する

● (∞) ボタンを押すと、表示中の画像を1コマ削除できます。

- 1 マルチセレクターで削除する画像を 選んで面(****)ボタンを押す
 - 削除確認の画面が表示されます。



甸()ボタン

2 もう一度面(二)ボタンを押す

•表示中の画像が削除されます。



🖉 関連ページ

画像の削除後に表示される画像を変更する → ▶ [削除後の次再生画像](□242)

複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの[**削除**]では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

	選択画像削除	選んだ画像を削除します。	
ALL	全画像削除	 (再生フォルダー設定)(□241) で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。 メモリーカードを2枚使用している場合は、画像を削除するスロットを選択できます。 	削除 副 選択画像削除 ALL 全画像削除

■ 選択画像削除



2 削除する画像を選ぶマルチセレクターで画像を 選びます。

● (ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。)

3 設定する

 中央ボタンを押すと、面が 表示されます。もう一度中 央ボタンを押すと、面が消 えます。



削除する画像全てに設定してください。

4 設定を完了する

- ❷ボタンを押して、設定を終了します。
- ・確認画面で [はい] を選んで ∞ボタンを 押すと、選んだ画像が全て削除されます。



メニュー一覧

ここでは各メニュー項目の一覧が記載されています。各メニュー項目に ついての詳しい説明は、当社ホームページに用意されているメニューガ イド(□)をご覧ください。

▶ 再生メニュー

削除	
選択画像削除	複数の画像を一括して削除するときに使います
全画像削除	(\$\$\mathbf{m}\$239)\$
再生フォルダー設定	初期設定:[全てのフォルダー]
(フォルダーグループ名)	ここで選んだフォルダーに保存されている画像
全てのフォルダー	が、再生時に表示されます。
記録中のフォルダー	
非表示設定	
設定	画像の表示/非表示を設定できます。このメ
一括解除	ニューで非表示設定した画像は、非表示設定画
	面以外では表示されません。
再生画面設定	
標準表示への情報追加	1コマ表示モードで表示する画像情報を追加で
フォーカスポイント	きます (皿223)。
再生画面の追加	
画像のみ	
ハイライト	
RGBヒストグラム	
撮影情報	
統合表示	

画像コピー	
コピー元の選択	メモリーカードを2枚使用しているときに、メモ
コピー元画像の選択	リーカード内の画像をもう一方のメモリーカー
コピー先フォルダーの選択	ドにコピーできます。
コピー実行	
撮影直後の画像確認	初期設定:[しない]
する	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを
しない	設定します (口219)。
削除後の次再生画像	初期設定:[後ろのコマ]
後ろのコマ	画像を削除した後に表示する画像を設定できます。
前のコマ	_
直前コマ送り方向に従う	_
連続撮影後の再生画像	初期設定:[最後の画像]
先頭の画像	最後に撮影した画像が連続撮影の場合、画像を再
最後の画像	生したときに連続撮影した最初のコマまたは最
	後のコマのどちらを表示するかを設定できます。
縦横位置情報の記録	初期設定:[する]
する	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録で
しない	きます。
縦位置自動回転	初期設定:[する]
する	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表
しない	示します (皿219)。
スライドショー	
開始	画像や動画を連続再生します。
再生画像の種類	-
インターバル設定	-
スマートフォンへの送信	指定
画像の選択	スマートフォンに取り込みたい静止画を送信指
送信指定の一括解除	定することができます(口237)。

- - -

● 静止画撮影メニュー

おし 両相影 ノーー の 佐田

静止画撮影 スーユーの官	迂
A~D	静止画撮影メニューの設定内容を、「A」、「B」、
	「C」、「D」の4通り記憶できます。
静止画撮影メニューの拡	張 初期設定:[しない]
する	静止画撮影メニュー(「A」~「D」)ごとに露出
しない	モード、シャッタースピード(露出モードS、M
	のみ)、絞り値(露出モードA、Mのみ)、フラッ
	シュモードを記憶できます。
記録フォルダー設定	
フォルダーグループ名変更	画像を保存するフォルダーを設定します。フォル
フォルダー番号指定	ダーを新しく作成することもできます。
既存フォルダーから選択	_
ファイル名設定	
ファイル名設定	このカメラで撮影した画像のファイル名
	DSC_nnnn.xxxまたは_DSCnnnn.xxxの[DSC]
	の3文字を任意に変更できます。
主スロットの選択	初期設定:[XQDスロット]
XQDスロット	XQDカードとSDカードを同時に使うときの、優先
SDスロット	的に使うスロット(主スロット)を設定できます。
副スロットの機能	初期設定:[順次記録]
順次記録	メモリーカードスロットを両方使用して画像を
バックアップ記録	記録する場合の、副スロットの機能を設定でき
RAW+JPEG分割記録	ます (四91)。
フラッシュ発光	
発光モード	別売のスピードライトを使用する場合の、発光
ワイヤレス設定	モード(四185)とワイヤレス増灯撮影時の設
増灯発光モード	定を行います。
電波リモートフラッシュ情報	-
撮像範囲	
撮像範囲設定	撮像範囲およびファインダーのマスク表示の設
DX自動切り換え	定を変更できます(印81)。
ファインダーのマスク表示	1

画質モード	初期設定:[NORMAL]
RAW+FINE★	画像を記録するときの画質モードを設定できま
RAW+FINE	す(□186)。★がない項目はサイズ優先、★が
RAW+NORMAL★	ある項目は画質優先となります。
RAW+NORMAL	
RAW+BASIC★	
RAW+BASIC	
RAW	
FINE★	
FINE	
NORMAL ★	
NORMAL	
BASIC★	
BASIC	
TIFF (RGB)	
画像サイズ	
JPEG/TIFF	画像を記録するときの画像サイズ(大きさ)を
RAW	ファイル形式ごとに設定できます(ロ89)。
RAW記録	
圧縮方式	RAW 画像を記録するときの圧縮方式や記録
記録ビットモード	ビット数を設定します (印88)。
ISO感度設定	
ISO感度	静止画撮影時のISO感度に関する設定ができま
感度自動制御	す (皿116、118)。

ホワイトバランス	初期設定:[オート]
オート	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定
自然光オート	します (皿151)。
電球	
蛍光灯	
晴天	
フラッシュ	
曇天	
晴天日陰	
色温度設定	
プリセットマニュアル	
ピクチャーコントロール	初期設定:[オート]
オート	記録する画像の仕上がり(ピクチャーコント
スタンダード	ロール)を、撮影シーンや好みに合わせて選べ
ニュートラル	ます (四170)。
ビビッド	
モノクローム	
ポートレート	
風景	
フラット	
カスタムピクチャーコン	トロール
編集と登録	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調
登録名変更	整して、「カスタムピクチャーコントロール」と
削除	して登録できます。
メモリーカードを使用	
色空間	初期設定:[sRGB]
sRGB	記録する静止画の色空間を指定できます。
Adobe RGB	

アクティブD-ライティン	/グ 初期設定:[しない]
オート	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコント
より強め	ラストに近い画像を撮影できます(凹175)。
強め	
標準	
弱め	
しない	
長秒時ノイズ低減	初期設定:[しない]
する	シャッタースピードが遅いときに発生するノイ
しない	ズ(むら、輝点)を低減できます。
高感度ノイズ低減	初期設定:[標準]
強め	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざ
標準	らつき)を低減します。
弱め	
しない	
ヴィネットコントロール	初期設定:[標準]
強め	レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに
標準	応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した
弱め	場合に効果的です。Gタイプ、Eタイプ、または
しない	Dタイプレンズを装着しているときのみ機能し
	ます(PCレンズを除く)。
自動ゆがみ補正	初期設定:[しない]
する	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レ
しない	ンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影

フリッカー低減	
フリッカー低減機能	[フリッカー低減機能] を [有効] にすると、
	ファインダー撮影時に、蛍光灯や水銀灯などの
	光源下で生じるちらつきや横縞(フリッカー現
	象)の影響が少ないタイミングで撮影できます。
フリッカー検出の表示	[フリッカー検出の表示] では、フリッカーを検
	出したとき、ファインダー内にFLICKERアイコン
	を表示するかどうかを設定できます。[フリッ
	カー低減機能]を[有効]にして、[フリッカー
	検出の表示]を [する] にした場合、フリッカー
	検出時にシャッターボタンを半押しするとファ
	インダー内に FLICKER アイコンが点灯します。
	FLICKERアイコンが点滅する場合は [フリッカー
	低減機能]の設定が[無効]になっています。

オートブラケティングのセット

初期設定:[AE・フラッシュブラケティング]

AE・フラッシュブラケティング	オートブラケティング	(🖽 140)	の種類を設定
AEブラケティング	できます。		
フラッシュブラケティング			
WBブラケティング			
ADLブラケティング			

多重露出

多重露出モード	2~10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1
コマ数	つの画像として記録します。詳しい手順は当社
合成モード	ホームページに用意されているメニューガイド
全画像の保存	(罒i)をご覧ください。
1コマ目の画像(RAW)の指定	 [1コマ目の画像(RAW)の指定]で指定できる画像は、Lサイズで撮影されたRAW画像の
	みです。
HDR(ハイダイナミック	レンジ)

HDRモード	輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの
露出差	少ない画像を記録します(□177)。
スムージング	

インターバルタイマー撮影

撮影開始	設定した撮影間隔(インターバル)と撮影回数
開始日時の設定	で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影
撮影間隔	を行えます。詳しい手順は当社ホームページに
撮影回数×1回のコマ数	用意されているメニューガイド (皿i) をご覧く
露出平滑化	ださい。
サイレント撮影	
撮影間隔優先	
撮影開始時の記録フォルダー	
フォーカスシフト撮影	
撮影開始	ピント位置を変えながら自動的に連続撮影を行
撮影回数	うフォーカスシフト撮影を行えます(🕮 206)。
フォーカスステップ幅	
待機時間	
露出平滑化	
サイレント撮影	
撮影開始時の記録フォルダー	
サイレント撮影(静止画	Lv) 初期設定:[しない]
する (モード1)	シャッター音を出さずに撮影できます(0048)。
する (モード2)	
しない	

🖷 動画撮影メニュー

動画撮影メニューのリセ	ット
する	動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻
しない	します。
ファイル名設定	
	このカメラで撮影した動画のファイル名
	DSC_nnnn.xxxの「DSC」の3文字を任意に変
新売=7 /3/ナ	
劉 囲記録元	初期設定:[XQDスロット]
XQDスロット	メモリーカードを2枚使用している場合に、動画
SDスロット	を記録するスロットを設定します。
撮像範囲	
撮像範囲設定	撮像範囲を設定できます (□164)。
DX自動切り換え	
画像サイズ/フレームレ-	ート 初期設定:[1920×108060p]
3840×2160 30p	動画の画像サイズ(ピクセル)とフレームレー
3840×2160 25p	トを設定します(□265)。
3840×2160 24p	
1920×1080 60p	
1920×1080 50p	
1920×1080 30p	
1920×1080 25p	
1920×1080 24p	
1280×720 60p	
1280×720 50p	
1920×1080 30p 4倍スロー	
1920×1080 25p 4倍スロー	
1920×1080 24p 5倍スロー	
動画の画質	初期設定:[高画質]
高画質	動画の画質を選べます(印65)。
標準	1

動画記録ファイル形式	初期設定:[MOV]
MOV	動画のファイル形式を選べます。
MP4	
ISO感度設定	
制御上限感度	動画撮影時のISO感度に関する設定ができます。
Mモード時の感度自動制御	
Mモード時のISO感度	
ホワイトバランス	初期設定:[静止画の設定と同じ]
静止画の設定と同じ	動画撮影時のホワイトバランスを設定できま
オート	す。[静止画の設定と同じ]を選ぶと、静止画撮
自然光オート	影メニューの [ホワイトバランス] と同じ設定
電球	になります(四245)。
蛍光灯	
晴天	
曇天	
晴天日陰	
色温度設定	
プリセットマニュアル	
ピクチャーコントロール	初期設定: [静止画の設定と同じ]
静止画の設定と同じ	動画撮影時のピクチャーコントロールを設定で
オート	きます。[静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止
スタンダード	画撮影メニューの [ピクチャーコントロール]
ニュートラル	と同じ設定になります(□ 245)。
ビビッド	
モノクローム	
ポートレート	
風景	
フラット	
カスタムピクチャーコン	トロール
編集と登録	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調
登録名変更	整して、「カスタムピクチャーコントロール」と
削除	して登録できます。
メモリーカードを使用	

アクティブD-ライティン	ッグ 初期設定:[しない]
静止画の設定と同じ	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラ
より強め	ストに近い動画を記録できます(ロ175)。[静止
強め	画の設定と同じ 〕を選ぶと、静止画撮影メニュー
標準	の [アクティブD-ライティング] (皿246) と同
弱め	じ設定になります。
しない	
高感度ノイズ低減	初期設定:[標準]
治め	IS○咸度が喜くなるほど登生しやすい / イブ(ざ

≠ \	ミノブビューまテ由 (M25) め動画記録由
フリッカー低減	初期設定:[オート]
しない	_
弱め	_
標準	らつき)を低減します。
5990	150窓皮が向くなるほど光土しやりいノイス(ど

3-1	フイノビュー衣示中(山35)や動画記録中
50 Hz	(印58)に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画
60 Hz	面に生じるちらつきや横縞(フリッカー現象)
	を低減できます。

マイク感度	初期設定:[マイク感度 オート]
マイク感度 オート	内蔵マイクまたは外部マイク(□287)の感度
マイク感度 マニュアル	の程度を設定します。
録音しない	-
アッテネーター	初期設定:[無効]
有効	大音量の環境下で動画記録をするときに、マイ
無効	ク感度を減衰させて音割れを抑えます。
録音帯域	初期設定:[広帯域]
広帯域	内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設
音声带域	定します。
風切り音低減	初期設定:[しない]
する	内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えるロー
しない	カットフィルター機能を有効にするかどうかを
	設定できます。
電子手ブレ補正	初期設定:[しない]
する	動画記録時に電子手ブレ補正を行うかどうかを
しない	設定できます。

タイムラプス動画

撮影開始	設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影し
撮影間隔	た静止画をつないで動画として記録できます。詳
撮影時間	しい手順は当社ホームページに用意されている
露出平滑化	メニューガイド(罒i)をご覧ください。
サイレント撮影	-
撮像範囲	
画像サイズ/フレームレート	
撮影間隔優先	

🖋 カスタムメニュー

カスタムメニューの管理

A~D

カスタムメニューの設定内容を、「A」、「B」、「C」、 「D」の4通り記憶できます。

a オートフォーカス	
a1 AF-Cモード時の優分	た 初期設定:[レリーズ]
レリーズ	ファインダー撮影時のAFモードが AF-C のとき
フォーカス/レリーズ	(印96)にシャッターボタンを全押しした場合
レリーズ/フォーカス	の動作を設定できます。
フォーカス	
a2 AF-Sモード時の優先	た 初期設定:[フォーカス]
レリーズ	ファインダー撮影時のAFモードが AF-S のとき
フォーカス	(印96) にシャッターボタンを全押しした場合
	の動作を設定できます。
a3 AFロックオン	
横切りへの反応	ファインダー撮影時のAFモードが AF-C (□ 96)
被写体の動き	のときのピント合わせの動作について設定でき
	ます。
a4 3D-トラッキングの	顔認識 初期設定:[しない]
する	AFエリアモード (凹98) が3D-トラッキングの場
しない	合、カメラが人物の顔を認識したときに顔にピン
	トを合わせるかどうかを選べます。
a5 3D-トラッキングの	捕捉領域 初期設定:[標準]
広い	AFエリアモード (ロ98) が3D-トラッキングの
標準	場合に、半押ししたときに記憶する被写体情報
	の捕捉領域を設定できます。
a6 AF点数切り換え	初期設定:[55 点]
55点	ファインダー撮影時、手動で選べるフォーカス
15点	ポイントの数を設定できます。

a7 縦/横位置フォーカン	ス切換 初期設定:[しない]
フォーカスポイント	ファインダー撮影時、カメラを正位置(横位置)
フォーカスポイントと	にしたときと縦位置にしたときで個別にフォー
AFエリアモード	カスポイントとAFエリアモードを設定できます。
しない	-
a8 半押しAFレンズ駆動	訪 初期設定:[する]
する	シャッターボタンを半押ししたときの、ピント
しない	合わせ動作を設定できます。[しない]を選んだ
	場合は、シャッターボタンを半押ししてもピン
	トを合わせません。
a9 AFエリアモードの	艮定
シングルポイントAF	ファインダー撮影時に、AFモードボタンを押し
ダイナミックAF(9点)	ながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選
ダイナミックAF(25点)	べるAFエリアモード(□ 98)を設定できます。

ダイナミックAF(72点) ダイナミックAF(153点)

3D-トラッキング

グループエリアAF

オートエリアAF

a10 AFモードの制限

初期設定: [制限しない]

AF-S	ファインダー撮影時のAFモード(0096)	を固
AF-C	定できます。	

制限しない

a11 フォーカスポイント循環選択

初期設定: [しない]

する	ファインダー撮影時、フォーカスポイントをマ
しない	ルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循
	環するように設定できます。

a12 フォーカスポイント表示の設定

フォーカスポイント照明	ファインダー内のフォーカスポイントの表示に
マニュアルフォーカス時の表示	関する設定ができます。
ダイナミックAF時の	
アシスト表示	

a13 AF設定時のフォーカ	カスリング操作	初期設定:[有効]
有効	このメニューに対応した一部の	のレンズを装え	着した
無効	ときのみ表示されます。[無効] にすると、フ	オート
	フォーカス時にレンズのフォー	ーカスリングな	を回し
	てもマニュアルフォーカスに	切り替わりませ	+h,,

b 露出・測光	
b1 ISO感度設定ステッ	プ幅 初期設定:[1/3段]
1/3段	ISO感度のステップ幅を設定できます。
1/2段	
1段	
b2 露出設定ステップ幅	初期設定:[1/3段]
1/3段	シャッタースピード、絞り値、およびオートブラ
1/2段	ケティング補正値のステップ幅を設定できます。
1段	
b3 露出・調光補正ステ	ップ幅 初期設定: [1/3段]
1/3段	露出補正時と調光補正時の補正量のステップ幅
1/2段	を設定できます。
1段	
b4 露出補正簡易設定	初期設定:[しない]
する(自動リセット)	図ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルの操
する	作だけで露出補正値を設定できます。
しない	
b5 マルチパターン測光	初期設定:[顔認識する]
顔認識する	測光モード(ロ121)がマルチパターン測光の場
顔認識しない	合、カメラが人物の顔を認識したときに顔の明るさ
	に合わせて露出を決定するかどうかを選べます。
b6 中央部重点測光範囲	
	初期設定:[φ12mm]
<i>¢</i> 8mm∼ <i>¢</i> 20mm、	初期設定:[φ12mm] ファインダー撮影時、測光モードが中央部重点
Ø 8mm~ Ø 20mm、 画面全体の平均	初期設定:[φ12mm] ファインダー撮影時、測光モードが中央部重点 測光の場合の重点測光範囲を変更できます(非
φ8mm~φ20mm、 画面全体の平均	初期設定: [φ12mm] ファインダー撮影時、測光モードが中央部重点 測光の場合の重点測光範囲を変更できます(非 CPU レンズおよびAF-S Fisheye NIKKOR 8-
Ø8mm~Ø20mm、 画面全体の平均	初期設定: [φ12mm] ファインダー撮影時、測光モードが中央部重点 測光の場合の重点測光範囲を変更できます(非 CPU レンズおよびAF-S Fisheye NIKKOR 8– 15mm f/3.5-4.5E EDを装着しているときの測

A second s	
はい	ドごとに適正露出の基準を撮影者の好
いいえ みに合わす	せ、明るめ(+側)または暗め(-側)
に調節で	きます。

c AEロック・タイマー	
c1 シャッターボタンA	Eロック 初期設定: [しない]
する(半押し)	シャッターボタンを押してAEロックを行うか
する(連続撮影時)	どうかを設定できます。
しない	
c2 半押しタイマー	初期設定:[6 秒]
4秒~30分、制限なし	表示パネルやファインダー内表示を自動的に消
	灯するまでの時間を設定できます(□□34)。
c3 セルフタイマー	
時間	セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全
撮影コマ数	押ししてからシャッターがきれるまでの時間
連続撮影間隔	と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影
	間隔を設定できます。
c4 モニターのパワーオ	フ時間
画像の再生	画像モニターが自動的に消灯するまでの時間を
メニュー表示	変更できます。
インフォ画面表示	
撮影直後の画像確認	

d 撮影・記録・表示	
d1 低速連続撮影速度	初期設定:[5コマ/秒]
6コマ/秒~1コマ/秒	レリーズモードがCL時の連続撮影速度を設定で
	きます。連続撮影速度は、電源の種類によって
	変わります (四110)。
d2 連続撮影コマ数	初期設定:[200]
1~200	連続撮影を最大何コマまで継続できるかを設定
	できます。

ライブビュー表示

d3 ISO感度表示	初期設定:[しない]
する	表示パネルの記録可能コマ数表示部に、ISO感度
しない	を表示するかどうかを設定できます。
d4 連動レリーズモード	設定 初期設定:[連動する]
連動する	マスターカメラのレリーズに連動してリモートカ
連動しない	メラをレリーズさせるかどうかを設定できます。
d5 露出ディレーモード	初期設定:[しない]
3秒~0.2秒、しない	シャッターボタンを押すと最初にミラーが作動
	し、約0.2~3秒後にシャッターがきれるように
	変更できます。カメラブレを最小限に抑えられ
	ます。
d6 電子先幕シャッター	· 初期設定:[無効]
有効	電子先幕シャッターを有効にするかどうかを設定
無効	できます。電子先幕シャッターで撮影することに
	より、カメラブレを低減できます。電子先幕シャッ
	ターで撮影するには、レリーズモードダイヤルを
	Q、Qc、 または Mup に合わせてください(凹110)。
d7 連番モード	初期設定:[する]
する	ファイル名に使われるファイル番号の連番につ
しない	いて設定できます。
リセット	

✓ 電子先幕シャッターについて

- Gタイプ、Eタイプ、Dタイプ以外のレンズを装着していると、むら、すじな どが発生する場合があります。その場合は、[無効] に設定して撮影してくだ さい。
- Q、Qc、およびMUP以外のレリーズモードの場合は、常にメカニカルシャッターで撮影します。
- 電子先幕シャッター使用時は、シャッタースピードの上限が1/2000秒、ISO感度の上限が25600に制限されます。

d8 ピーキング表示色	初期設定:[赤]
赤	ピーキング表示で強調する部分の色を変更でき
黄	ます。
	 ピーキング表示するには、撮影時に <i>i</i>ボタンを
白	押して表示されるメニュー(囗44、61)の
	[ピーキングの検出] で [しない] 以外に設定
	します。
d9 ファインダー内格子	線表示 初期設定:[しない]
する	ファインダー内に構図用格子線を表示するかし
しない	ないかを設定できます。
d10 イルミネーター点灯	· 初期設定:[しない]
する	電源スイッチを 🔆 に合わせたときだけではな
しない	く、半押しタイマーの作動中にも、表示パネル
	やボタンのイルミネーター(照明)を点灯する
	ように設定できます。
d11 連続撮影中の表示(Lv) 初期設定: [する]
する	ライブビュー撮影でレリーズモード (四110)を
しない	CL、CH、またはQCに設定しているとき、連続
	撮影中に撮影した画像を1コマずつ再生します。
	• [しない] を選ぶと露光中の画像モニターの
	バックライトも消灯します。
d12 光学手ブレ補正	初期設定:[する]
する	手ブレ補正スイッチのない一部のAF-Pレンズ
しない	をカメラに装着した場合に、手ブレ補正を行う
	かどうかを設定できます。

e フラッシュ・BKT撮影	<i>"</i>	
e1 フラッシュ撮影同調	速度 初期	設定: [1/250秒]
1/250秒(オートFP)~1/60秒	フラッシュ撮影時の同調速度	を設定します。
e2 フラッシュ時シャッ	タースピード制限初期	朝設定: [1/60秒]
1/60秒~30秒	フラッシュ撮影時の露出モー 合に、シャッタースピードの 定できます。	ドがPまたはAの場 低速側の制限を設
e3 フラッシュ使用時の	國出補正 初期設	定:[全体を補正]
全体を補正	フラッシュ撮影時に露出補正	を設定した場合の
背景のみ補正	フラッシュの調光を設定でき	ます。
e4 \$ 使用時の感度自動	制御 初期設定	: [被写体と背景]
被写体と背景	フラッシュ撮影時に感度自動	勧制御を行う場合
被写体のみ	の、露出を合わせる対象を設	定できます。
e5 モデリング発光		初期設定:[する]
する	別売のニコンクリエイティブ	ライティングシス
しない	テム対応スピードライト(ロ	ロ280)使用時に、
	カメラの Pv ボタンを押してモ	デリング発光を行
	うかどうかを設定できます。	

✓ シャッタースピードの同調速度を固定するには

露出モードがSまたはMのときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメ ニューe1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した値に固定するには、最も低速 側(30秒または--)の次の位置を選んでください。表示パネルとファインダー 内表示にX(フラッシュシンクロマーク)と設定した同調速度が表示されます。

✓ FP発光について

- フラッシュ撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます(ロ183)。[1/250秒(オートFP)]に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。
- FP発光に切り替わると、インフォ画面のフラッシュモードに「FP」が表示されます(ロ193)。

e6 BKT変化要素(Mモード)

初期設定:[フラッシュ・シャッタースピード]

フラッシュ・シャッタースピード	露出モードMでオートブラケティングを行うと
フラッシュ・シャッター	きに変化する内容を設定できます。
スピード・絞り値	
フラッシュ・絞り値	
フラッシュ	
e7 BKTの順序	初期設定:[[0] → [−] → [+]]
$[0] \rightarrow [-] \rightarrow [+]$	オートブラケティングの補正順序を変更できます。
$[-] \rightarrow [0] \rightarrow [+]$	

f 操作	
f1 カスタムボタンの機	能
プレビューボタン	カメラの各ボタンを押したときの機能と、コマ
プレビューボタン+	ンドダイヤルを併用したときの機能を設定でき
Fn1ボタン	ます。
Fn1ボタン+	
Fn2ボタン	
AF-ONボタン	
サブセレクター	
サブセレクター中央	
サブセレクター中央+	
BKTボタン+	
動画撮影ボタン+ 🌄	
レンズのフォーカス作動	
ボタン	
f2 中央ボタンの機能	
撮影モード	マルチセレクターの 中央 ボタンを押したときの
再生モード	機能を設定できます。
ライブビュー	
f3 シャッタースピードと絞り値のロック	
シャッタースピードのロック	露出モードSまたはMではシャッタースピード
絞り値のロック	を、露出モードAまたはMでは絞り値を現在の設
	定でロックします。

f4 コマンドダイヤルの	設定
回転方向の変更	メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤ
メインとサブの入れ換え	ルの機能を変更できます。
絞り値の設定方法	
再生/メニュー画面で使用	
サブコマンドダイヤルで画像送り	
f5 マルチセレクターの	半押し起動 初期設定:[しない]
する	半押しタイマー (四34) がきれたときにマルチ
しない	セレクターを操作して、半押しタイマーを起動
	するように設定できます。
f6 ボタンのホールド設	定 初期設定:[しない]
する	[する]に設定して対象のボタンを1回押すと、
しない	ボタンを放しても設定できる状態が維持され、
	コマンドダイヤル単独で設定できます。もう一
	度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押し
	するか、半押しタイマーがオフになると解除さ
	れます。
f7 インジケーターの+	/一方向
	初期設定:[
+_!!!!!!	ファインダー内表示、表示パネルおよびイン
	フォ画面(
	フケティンクのインジケーターの+と-万回を
18 ライフヒューホタン	の設定初期設定:〔有効〕
有効	意図せずに回 ボタンを押したときにライブ
半押しタイマー作動中のみ有効	ビューが開始しないように、回ボタンを無効に
無効	設定できます。
f9 🔆 スイッチの機能	初期設定: [決の点灯/消灯]
☀の点灯/消灯	電源スイッチを、マークの方向に回したときの
、 とインフォ画面の点灯/消灯	動作を設定できます。
f10 MB-D18のボタンの)機能
Fnボタン	別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D18
Fnボタン+	(□290)のボタンの機能を設定します。
AF-ONボタン	
マルチセレクター	

g 動画

g1 カスタムボタンの機能

プレビューボタン プレビューボタン+ 雲 Fn1ボタン	ライブビュー時のライブビューセレクターが ¹ の場合に、カメラの各ボタンを押したときの 能と、コマンドダイヤルを併用したときの機	ーセレクターが 県 シを押したときの機 ŧ用したときの機能
Fn1ボタン+ ミ Fn2ボタン サブセレクター中央 サブセレクター中央+ ミ シャッターボタン	 (シャッターボタン)の設定すると、動画記録以外のシークション 使う操作は行えません。 	Eを [動画撮影] に / ャッターボタンを
g2 ハイライト表示の明	るさ設定	初期設定:[248]
255~180	動画のハイライト表示時に、 をハイライトとして扱うかな が小さいほど暗い部分もハィ します。[255]を選ぶと白と ハイライトされます。	どの程度の明るさ 設定できます。値 イライトとして表示 こびする部分だけが

イセットアップメニュー

カードの初期化(フォーマット)		
XQDスロット	メモリーカードを初期化(フォーマット)しま	
SDスロット	す。初期化したいスロットを選んで [はい] を	
	選ぶと、選んだスロットのメモリーカードを初	
	期化します。 初期化すると、カード内のデータ	
	は全て削除されます。カード内に必要なデータ	
	が残っている場合は、初期化の前にパソコンな	
	どに保存してください。	
言語(Language)		
	メニュー画面やメッセージの表示言語を選びます。	
地域と日時		
現在地の設定	現在地と日時、年月日の表示順、スマートフォンか	
日時の設定	ら日時の情報を取得するかどうかを設定します。	
スマートフォンと同期	 [スマートフォンと同期] で [する] を選ぶと、 	
日付の表示順	スマートフォンから日時情報を取得して、カ	
夏時間の設定	メラの日時情報を更新します。SnapBridgeア	
	プリの日時同期機能を有効にしてください。	
モニターの明るさ		
メニュー /再生	画像の再生時、メニュー表示時、ライブビュー	
ライブビュー	時の画像モニターの明るさを調整できます。	
モニターのカラーカスタマイズ		
	カメラの画像モニターの色調を好みに合わせて	
	変更できます。	

🖉 ボタン操作でメモリーカードを初期化(フォーマット)する

- ・ 面(空)ボタンとISO(空)ボタンを同時に2秒以上押し、表示パネルとファインダー内表示にForが点滅している間に、もう一度面(空)ボタンとISO(空)ボタンを同時に押すと、表示パネルで点滅しているメモリーカードを初期化します。
- メモリーカードが2枚入っている場合は、表示パネルで点滅している側のメモリーカードを初期化します。Forが点滅しているときにメインコマンドダイヤルを回すと、初期化するスロットを切り換えられます。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。

水準器表示	
	カメラに内蔵している傾斜センサーを使って、
	画像モニターに水準器を表示します。
インフォ画面の表示設定	初期設定:[自動]
自動	明るい場所や暗い場所で画像モニターが見づら
手動	いときにインフォ画面の見え方を設定できます。
AF微調節	
AF微調節(する/しない)	装着したレンズごとに自分でピント位置を調節
個別レンズの登録	できます。通常はAF微調節を行う必要はありま
その他レンズの登録	せん。必要な場合のみ調節を行ってください。
個別レンズ登録リスト	正常なレンズを調整すると、ピントが合わなく
	なる場合がありますのでご注意ください。
	• ライブビュー時に自動でAF微調節を行うこと
	もできます。詳しい手順は当社ホームページ
	に用意されているメニューガイド (叩i) をご
	覧ください。
レンズ情報手動設定	
レンズNo.	非CPUレンズの焦点距離と開放絞り値をカメラに
焦点距離(mm)	登録することにより、CPUレンズ装着時と同じ機能
開放絞り値	が一部使えるようになります(囗212)。
イメージセンサークリー	ニング
実行	撮像素子の前面に付いたゴミをふるい落としま
電源スイッチに連動	す (口303)。
クリーニングミラーアッ	プ
	撮像素子前面をクリーニングするために、ミ
	ラーを上げた状態で固定できます(囗305)。
	Bluetoothを使ってスマートフォンと接続して
	いるとき、USBケーブルで外部機器と接続して
	いるとき、またはバッテリー残量表示がころ以
	下のときは選べません。
イメージダストオフデータ取得	
開始	NX Studio (叩ii) の「イメージダストオフ機能」
イメージセンサークリーニング後	を使うためのデータを取得します。
開始	

画像コメント	
コメント添付	あらかじめコメントを登録しておき、撮影する
コメント入力	画像に添付できます。添付されたコメントは、
	NX Studioの[情報]タブで確認できます。
著作権情報	
著作権情報添付	撮影した画像に著作権情報を添付することができ
撮影者名入力	ます。添付された著作権情報は、NX Studioの [情
著作権者名入力	報〕タブで確認できます。
電子音	
電子音設定	電子音の音の高さや音量を設定できます。
音量	
音の高さ	

🖉 文字を入力するには

 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、キーボードエリアで文字をタッチ してください。マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字 上にカーソルを移動させ、中央ボタンを押しても入力できます。



キーボードエリア

文字種変更

- 入力エリアのカーソルを左右に移動する場合は、 (♥)ボタンを押しなが らマルチセレクターの③または③を押します。
- 文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、∞ボタンを押します。
- 文字を1文字削除する場合は、削除する文字の上にカーソルを移動させ、 (())
 ボタンを押します。

タッチ操作	
タッチ操作の設定	画像モニターのタッチ操作の機能を設定できま
1コマ送り時のフリック操作	す (皿11)。
HDMI	
出力解像度	HDMI 対応機器との接続時の設定を変更できます。
外部記録制御	-
詳細設定	-
位置情報	
スマートフォンから取得	位置情報に関する設定を変更できます(□215)。
情報表示	
GPS機器設定	
リモコン(WR)設定	
LEDランプの点灯	別売ワイヤレスリモートコントローラーのLED
リンクモード	ランプの点灯とリンクモードを設定できます。
リモコン(WR)のFnポ	ジタンの機能 初期設定:[設定しない]
プレビュー	別売のワイヤレスリモートコントローラーのFn
FV-L	ボタンを押したときの機能を設定できます。
AE-L/AF-L	_
AE-L	_
AE-L(レリーズでリセット)	_
AF-L	_
AF-ON	_
\$発光禁止/許可切換	_
プラスRAW記録	_
ライブビュー	_
設定しない	
機内モード	初期設定:[無効]
有効	[機内モード]を[有効]に設定すると、Bluetooth、
無効	Wi-Fi、およびEye-Fiを使った無線通信をOFFにで
	きます。
	 内蔵無線機能、Eye-Fi 以外の無線通信機器と
	の接続を無効にする場合は、カメラから無線
	」 通信機器を取り外してください。

スマートフォンと接続	
開始	SnapBridgeアプリを使用して、カメラとスマー
パスワードによる保護	トフォンを接続するときに選びます。詳しくは、
	付属の「SnapBridge接続ガイド(一眼レフカメ
	ラ用)」をご覧ください。
スマートフォンへの自動	送信 初期設定: [しない]
する	[する] に設定すると、撮影するたびに画像をス
しない	マートフォンに自動送信します。
Wi-Fi	
Wi-Fi接続を開始	スマートフォンとカメラをWi-Fi (無線LAN) で
接続設定	接続するときの設定を行います。
現在の設定	
接続設定の初期化	
Bluetooth	
通信機能	スマートフォンとカメラをBluetoothで接続す
ペアリング済み機器	るときの設定を行います。
電源OFF中の通信	• スマートフォンとのペアリングは最大 5 台まで
	可能です。ただし、接続できるのは1台のみです。
ネットワーク	
ハードウェアの選択	WT-7を装着して有線LANまたは無線LANでパ
接続設定	ソコンやFTPサーバーと通信する場合の設定を
オプション	行います。このメニュー項目は、WT-7を装着し
	たときのみ設定できます。
Eye-Fi送信機能	初期設定:[有効]
有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した
無効	保存先へ送信します。この機能に対応したEye-
	トロカートを挿入したときのみ表示されます。
認証マークの表示	
	このカメラが取得している認証マークの一部を
	表示します。
MB-D18電池設定	初期設定:[アルカリ単3形電池]
アルカリ単3形電池	別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D18
Ni-MH単3形充電池	に単3形電池を入れて使用するときに、電池の種
リチウム単3形電池	類を指定することでより正確に電池残量を表示
	できます。

電池の使用順序	初期設定:[MB-D18から]
MB-D18から	別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D18
カメラから	装着時に、MB-D18に入っている電池から使用
	するか、カメラに入っているバッテリーから使
	用するかを設定します。
電池チェック	
	カメラに装着中のバッテリーの情報を表示します。
カードなし時レリーズ	初期設定:[レリーズ許可]
レリーズ禁止	カメラにメモリーカードを入れていないときの
レリーズ許可	レリーズ操作を設定できます。
カメラ設定の保存と読み込み	
保存	カメラの各機能の設定データをメモリーカード
読み込み	に保存できます。また、メモリーカードに保存
	されている設定データをカメラで読み込むこと
	もできます。複数のD850を同じ設定で使う場合
	などに便利です。
カメラの初期化	
初期化する	セットアップメニュー [言語 (Language)] と
初期化しない	[地域と日時]を除く、すべての設定をリセット
	して初期設定に戻します。
ファームウェアバージョン	
	カメラを制御する「ファームウェア」のバージョ
	ンを表示します。

▶ カメラの初期化

- 著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定 は元には戻せないのでご注意ください。
- あらかじめセットアップメニュー [カメラ設定の保存と読み込み] で設定デー タを保存しておくことをおすすめします。
🛃 画像編集メニュー

RAW現像

画像選択	RAWを含む画質モード(印86)で記録したRAW
日付選択	画像を、カメラでRAW現像してJPEG画像を作
全画像選択	成します。
記録先スロットの選択	
トリミング	
	画像の一部を切り抜きます。
リサイズ	
画像選択	サイズの小さい画像を作成します。
記録先スロットの選択	
画像サイズの設定	
D-ライティング	
	画像の暗い部分を明るく補正できます。
赤目補正	
	フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物
	の睡の部方が赤くなってしまった画像を補止で
	289.
傾き補止	
	画像の傾きを±5°の範囲(約0.25°ステップ)で
	補正できます。
ゆがみ補正	
オート	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レン
マニュアル	ズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。
	• [オート] を選ぶと画像のゆがみを自動的に判
	別して補正します。
アオリ効果	
	高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じ
	る、遠近感による被写体のゆがみを補正します。

フィルター効果	
スカイライト	レンズにフィルターを装着して撮影したような
ウォームトーン	画像になります。
	• スカイライト:画像の青みを抑えます。
	 ウォームトーン:画像を暖色にします。
モノトーン	
白黒	モノトーンの画像(1種類の色の明暗のみで構成
セピア	される画像)を作成します。
クール	• セピアはセピア色 (褐色)、クールはブルー系
	のモノトーンの画像になります。
画像合成	
	RAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に
	合成します。このメニュー項目は、MENUボタン
	を押して、タブのプアイコンを選んだときのみ
	表示されます。
動画編集(始点/終点設定	È)
	撮影した動画の前半、後半、または前後両端を
	切り取って、選択した範囲だけを残すことがで
	きます (四76)。
編集前後の画像表示	
	画像編集を行った画像を、編集元の画像と並べ
	て表示して、画像編集の効果を確認できます。
	このメニュー項目は、編集元または編集後の画
	像を1コマ表示して∞ボタンを押しながら⊙を
	押すか、 i ボタンを押して、画像編集メニュー
	を選んだときのみ表示されます。

🖯 マイメニュー / 🗐 最近設定した項目

マイメニュー登録

再生メニュー	再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セッ
静止画撮影メニュー	トアップ、画像編集の各メニューから、よく使
動画撮影メニュー	う項目だけを選んで、20項目までマイメニュー
カスタムメニュー	に登録できます。
セットアップメニュー	

画像編集メニュー

登録項目の削除

マイメニューの登録項目を削除します。

登録項目の順序変更

マイメニューの登録項目の順序を変更します。

このタブの機能変更	初期設定:[マイメニュー]
マイメニュー	「マイメニュー」を「最近設定した項目」に変更
最近設定した項目	します。[最近設定した項目] に設定すると、最
	後に設定したメニュー項目から順番に最新の20
	項目が自動的に表示されます。



このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うと きに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警 告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

CPUレンズ (IXニッコールを除く) をおすすめします。とくにGタイプ、 Eタイプ、Dタイプレンズは、カメラの機能を最大限に引き出すことが できます。

	₹ - ド	フォーカ	スモード	露出于	E-K		測光音	E-K	
		AF	M	Р	A	Ø]	0	-*
ν	דע	(オート フォーカス)	(フォーカス エイド) ※1	s	м	3D-RGB	RGB	·	•
*2	Gタイブレンズ*3、 Eタイブレンズ*3、 Dタイプレンズ*3、 AF-Sレンズ、 AF-Pレンズ、 AF-Iレンズ	0	0	0	0	0	×	○*4	0
	PC NIKKOR 19mm f/4E ED	×	○*5	○*5	○*5	○*5	×	○*4、5	○*5
アレンズ	PC-E NIKKOR シリーズ **6	×	○*5	○*5	○*5	○*5	×	○*4、5	○*5
CPU	PCマイクロ 85mm F2.8D * ^{6、7}	×	○*5	×	○*8	○*5	×	○*4、5	○*5
	AF-S/AF-Iテレコンバー ター ^{※9}	0	0	0	0	0	×	○*4	0
	Gタイプ、Eタイプ、 Dタイプ以外のAF レン ズ(F3AF用を除く)	⊖*10	○*10	0	0	×	0	○*4	×
	AI-Pニッコール	×	○*11	0	0	×	0	○*4	×

■=マルチパターン測光、●=中央部重点測光、●=スポット測光、●*=ハイライト重点測光

	₹ –ド	フォーカ	スモード	露出	モード		測光刊	∃ - ド	
		AF (オート			A	Ø		0	•*
ν :	דע	フォーカス)	エイド) *1	S	M	3D-RGB	RGB	RGB 🖸	
	AI-S、AI、AI改造 レンズ、シリーズE レンズ ^{※13}	×	⊖*11	×	○*14	×	○*15	○*16	×
/ズなど※12	メディカル120mm f/4	×	0	×	○*17	×	×	×	×
	レフレックスレンズ	×	×	×	○*14	×	×	○*16	×
	PCニッコール	×	○*5	×	○*18	×	×	0	×
PU L/	AI-S、AIテレコン バーター ** ¹⁹	×	○*20	×	○*14	×	○*15	○*16	×
н Ш	ベローズアタッチ メントPB-6 ** ²¹	×	○*20	×	○*22	×	×	0	×
	オート接写リング (PK-11A、12、13、 PN-11)	×	⊜*20	×	○*14	×	×	0	×

- ※1 M (マニュアルフォーカス) は全てのレンズで使用可能です。
- ※2 IXレンズは装着できません。
- ※3 このカメラはVRレンズのVR(手ブレ補正)機能に対応しています。
- ※4 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能(ロ121)。
- ※5 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※6 電子先幕シャッター使用時は、むら、すじなどが発生することがあります。その場合は、カスタムメニュー d6 [電子先幕シャッター](□257)を[無効]に設定して撮影してください。
- ※7 カメラの測光モード、および調光制御機能は、アオリ操作(シフトまたはティルト) をしているとき、または開放絞り以外に絞り値が設定されているときには、正しく 機能しません。
- ※8 露出モードはMで使用可能。
- ※9 オートフォーカスとフォーカスエイドが可能なフォーカスポイントについては、 い94をご覧ください。
- ※10 AF80-200mm f/2.8S、AF35-70mm f/2.8S、AF28-85mm f/3.5-4.5S (New)、 AF28-85mm f/3.5-4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した 場合、ファインダースクリーンのマット面の像とオートフォーカスのピント表示が 合致しない場合があります。このような場合は、マニュアルフォーカスによりファ インダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
- ※11 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。
- ※12 一部装着不可能なレンズ(□276)があります。

- ※13 AI ED80-200mm f/2.8Sの三脚座を回転するとカメラと干渉するため、回転方向に 制限があります。AI ED200-400mm f/4Sをカメラに装着したままでのフィルター 交換はできません。
- ※14 レンズ情報手動設定(ロ212)でレンズの開放絞り値を設定することにより表示パネルとファインダー内表示に絞り値が表示されます。
- ※15 レンズ情報手動設定(ロ212)でレンズの焦点距離、開放絞り値を設定することに より可能です。一部のレンズでは焦点距離と開放絞り値を設定しても充分な精度が 得られない場合があります。この場合は中央部重点測光またはスポット測光を選ん で撮影してください。
- ※16 レンズ情報手動設定(ロ212)で焦点距離、開放絞り値を設定することにより、測 光の精度が向上します。
- ※17 露出モードがMでフラッシュ同調シャッタースピードより1段以上低速のシャッター スピードのときに使えます。
- ※18 絞り込み測光で使用します。露出モードがAの場合はレンズ側で絞りプリセットを 行い、AEロック後にアオリ操作を行ってください。露出モードがMの場合はレンズ 側で絞りプリセットを行い、あおる前に測光して露出を決定してください。
- ※19 Al 28–85mm f/3.5–4.55、Al 35–105mm f/3.5–4.55、Al 35–135mm f/3.5–4.55、 AF-S 80–200mm f/2.8Dレンズの組み合わせによっては、露出補正を行う必要があ ります。
- ※20 合成絞り値がF5.6 以上明るい場合に使用可能。
- ※21 オート接写リング PK-12 または PK-13 を併用すると装着できます。カメラの姿勢、 位置により PB-6D が必要です。
- ※22 絞り込み測光で使用可能、露出モードがAの場合はベローズアタッチメント側で絞り込みを行い、測光後撮影してください。
- 複写装置PF-4へはカメラアダプター PA-4を併用すると装備できます。
- 高感度撮影時には、オートフォーカス作動中にノイズ(すじ)が発生することが あります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用し て撮影してください。また、動画撮影時やライブビュー表示中にISO感度が高い 場合は、絞り作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。

CPUレンズ、Gタイプレンズ、Eタイプレンズ、Dタイプレンズの 見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが、 Eタイプレンズには「E」マークが、Dタイプレンズには「D」マークが付いてい ます。G タイプレンズとEタイプレンズには、絞りリングがありません。

🖉 レンズの開放F値とは

レンズの明るさを示す数値で、そのレンズで最も絞りを開いたときの絞り値を 意味します。レンズ名称の最後のほうに「f/2.8」「f/3.5-5.6」などと記されてい ます。

✓ 非CPUレンズを使用する場合は

- ・非CPUレンズを使用する場合は、セットアップメニューの[レンズ情報手動設定](□212)でレンズの焦点距離と開放絞り値を設定することによって、絞り値表示、RGBマルチパターン測光などの機能が使用できるようになります。レンズの焦点距離と開放絞り値を設定しない場合、測光モードをマルチパターン測光に設定しても、自動的に中央部重点測光になります。
- ・
 絞り値はレンズの絞りリングでのみ設定できます。
 [レンズ情報手動設定]
 で
 レンズの開放絞り値を設定しない場合、表示パネルとファインダー内表示の絞
 り値表示が開放からの絞り込み段数表示となりますので、絞り値は、レンズの
 絞りリングで確認してください。

▶ 使用できないレンズ

次の非CPUレンズは使用できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損しますのでご注意ください。

- AFテレコンバーター TC-16AS
- AI改造をしていないレンズ(AI方式以前の連動爪を使用するタイプ)
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ(400mm f/4.5、600mm f/5.6、800mm f/8、1200mm f/11)
- フィッシュアイ(6mm f/5.6、7.5mm f/5.6、8mm f/8、OP10mm f/5.6)
- 2.1cm f/4
- K2リング
- ED180-600mm f/8(製品No.174041~174180)
- ED360-1200mm f/11 (製品 No.174031~174127)
- 200-600mm f/9.5(製品 No.280001~300490)
- F3AF用 (AF80mm f/2.8、AF ED200mm f/3.5、テレコンバーター TC-16S)
- PC28mm f/4 (製品 No.180900以前の製品)
- PC35mm f/2.8(製品 No.851001~906200)
- 旧PC35mm f/3.5
- 旧レフレックス1000mm f/6.3
- ・レフレックス1000mm f/11 (製品 No.142361~143000)
- ・レフレックス2000mm f/11 (製品 No.200111~200310)

✓ VRレンズ装着時のご注意

次のレンズは、高感度や長時間露出で撮影する場合に装着するとVR制御システムの特性により画像にむらが出ることがあるため、このような条件でお使いになることはおすすめしません。

- AF-S VR Zoom-Nikkor 24-120mm f/3.5-5.6G IF-ED
- AF-S VR Zoom-Nikkor 70–200mm f/2.8G IF-ED
- AF-S VR Zoom-Nikkor 70-300mm f/4.5-5.6G IF-ED
- AF-S VR Nikkor 200mm f/2G IF-ED
- AF-S VR Nikkor 300mm f/2.8G IF-ED
- AF-S NIKKOR 16-35mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 28-300mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8G ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VR
- AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18-200mm f/3.5-5.6G IF-ED
- AF-S DX NIKKOR 16-85mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S DX NIKKOR 18-200mm f/3.5-5.6G ED VR II
- AF-S DX Micro NIKKOR 85mm f/3.5G ED VR
- AF-S DX NIKKOR 55-300mm f/4.5-5.6G ED VR
- その他のレンズをお使いの場合、画像への影響を避けるためにVRはOFFにして ください。

✓ レンズの画角と焦点距離について

このカメラでは、さまざまな当社製35mm判カメラ用レンズが使用できます。 35mm判カメラのレンズを装着すると、35mm判カメラと同じ画角(フィルム 面に写し込む範囲)で撮影できます。

 使用しているレンズと異なる画角で撮影することもできます。たとえば、 35mm判カメラのレンズの使用時に、静止画撮影メニュー[撮像範囲]を[DX (24×16)]や[1.2×(30×20)]に設定して画角を狭くしたり、[5:4 (30×24)]や[1:1(24×24)]に設定してアスペクト比(縦横比)の異な る画像を撮影することもできます。[撮像範囲]による撮影画面サイズと画角 は次の通りです。



35mm判力メラの撮影画面サイズは、対角線の長さで[DX (24×16)]のときの約1.5倍、[1.2× (30×20)]のときの約1.2倍、[5:4 (30×24)]のときの約1.1倍、[1:1 (24×24)]のときの約1.3倍です。したがって、このカメラに35mm判力メラのレンズを装着したときのレンズに表記されている集点距離は、[DX (24×16)]のときが約1.5倍、[1.2× (30×20)]のときが約1.2倍、[5:4 (30×24)]のときが約1.1倍、[1:1 (24×24)]のときが約1.3倍に相当します。たとえば、焦点距離50 mmのレンズを装着したときは、[DX (24×16)]では約75 mm、[1.2× (30×20)]では約60 mm、[5:4 (30×24)]では約55 mm、[1:1 (24×24)]では約65 mmの焦点距離に相当する画角になります。

ニコンクリエイティブライティング システム(CLS)について

ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)は、ニコンのス ピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、スピー ドライト撮影に新たな可能性を開く、さまざまな機能を提供します。

■ ニコンクリエイティブライティングシステム対応 スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

			SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
		i-TTL-BL調光※1	0	0	0	0	0	_	-	0	0
	i-TTL	スタンダード i-TTL調光	○*2	○*2	0	○*2	0	_	_	0	0
	⊛a	絞り連動外部 自動調光	0	○*3	_	-	_	_	_	-	_
1灯	A	外部自動調光	*4	○*3	—	-	—	_	—	-	—
	GN	距離優先 マニュアル発光	0	0	0	-	_	_	_	-	_
	м	マニュアル発光	0	0	0	0	○*5	—	-	○*5	0*5
	RPT	リピーティング フラッシュ	0	0	—	_	_	_	_	_	_

				SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
		リモー の発光	-トフラッシュへ 指示	0	0	0	_	○*5	0	_	-	_
		i-TTL	i-TTL 調光	0	0	0	—	○*5	—	-	-	-
Ŭ	エぐぐらい	[A : B]	クイック ワイヤレス コントロール	0	_	0	_	_	○*6	_	_	_
イディン	スターフ	⊛a	絞り連動外部 自動調光	0	0	_	_	_	_	_	_	_
ľŲ	\triangleright	A	外部自動調光	—	<u> </u>	_	—	—	—	_	—	—
1		М	マニュアル発光	0	0	0	—	○*5	—	_	—	—
ナレイキ		RPT	リピーティング フラッシュ	0	0	_	_	_	_	_	_	_
Ķ		i-TTL	i-TTL 調光	0	0	0	0	0	—	0	—	—
通ア ドバン	ミートフラッシュ	[A : B]	クイック ワイヤレス コントロール	0	0	0	0	0	_	0	_	_
光制派		⊛a/a	絞り連動外部 自動調光/ 外部自動調光	○*8	○*8	_	_	_	_	_	_	_
	Ξ	М	マニュアル発光	0	0	0	0	0	—	0	-	-
		RPT	リピーティング フラッシュ	0	0	0	0	0	_	_	_	_
電 に ワイ	皮制 イヤ	御アド レスラ	バンスト イティング	O*9	_	_	_	_	_	_	_	_
発) (フ	七色 ラッ	温度情 /シュ)	報伝達	0	0	0	0	0	_	_	0	0
発) (LE	七色 Dラ	温度情 ライト)	報伝達	_	_	_	_	0	_	_	-	_
オ-シン	ート	FPハイ ロ *10	スピード	0	0	0	0	0	0	0	-	-
FVI	ロッ	ク*11		0	0	0	0	0	0	0	0	0
<u>ا</u> لح	レチ	ポイン	トAF補助光	0	0	0	0	-	○*12	-	-	-
赤国	目軽	減発光		0	0	0	0	0	—	-	0	-
力; 力;	×Э	起動モ	デリング発光	0	0	0	0	0	0	0	-	_

	SB-5000	SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
ユニファイドフラッシュ コントロール	0	_	—	_	0	_	—	0	0
カメラからのスピードライト ファームアップ	0	⊖*13	0	_	0	_	_	-	0

※1 スポット測光時は設定できません。

※2 スピードライト側でも設定できます。

- ※3 ⑤AとAの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。また、セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。
- ※4 セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離 を設定していない非CPUレンズを装着した場合は外部自動調光になります。
- ※5 カメラの [フラッシュ発光] で設定できます。
- ※6 クローズアップ撮影時のみ設定できます。
- ※7 スピードライトのカスタム設定にかかわらず、セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。
- ※8 GAとAの選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
- ※9 使用できる機能は、光制御アドバンストワイヤレスライティングのリモートフラッシュと同じです。
- ※10 発光モードがi-TTL、 GA、A、GN、Mの場合のみ動作します。
- ※11 発光モードがi-TTL、「モニター発光あり」の (のAまたは「モニター発光あり」のAの場合のみ動作します。
- ※12 コマンダー撮影時のみ設定できます。
- ※13 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

■ SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、ワイヤレスでSB-5000、 SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御 するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御で きます。SU-800には発光機能はありません。

🖉 モデリング発光について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト装着時 には、№ボタンを押すとモデリング発光が行われます。アドバンストワイヤレ スライティングによる増灯時には、使用する全てのスピードライトのモデリン グ発光が行われるので、照射光の効果を簡単に確認できます。プレビュー時に モデリング発光を行わないようにするには、カスタムメニュー e5 [モデリング 発光](□259)を [しない] に設定してください。

☑ その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光(A)あるいはマニュアル発 光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

スピードライト A 外部自動調光		SB-80DX SB-28DX		SB-28 SB-26 SB-25 SB-24	SB-30 SB-27**1 SB-22S SB-22 SB-20 SB-16B SB-15	SB-23 SB-29*2 SB-21B*2 SB-29S*2	
	Α	外部自動調光	0	—	0	0	—
尔	м	マニュアル発光	0	0	0	0	0
\mathbf{X}	555	マルチフラッシュ	0	—	0	_	_
	REAR*3	後幕シンクロ	0	0	0	0	0

※1 このカメラと SB-27 を組み合わせると自動的にTTL モードになりますが、 TTL モードでは使えません。SB-27をAモードに設定し直してください。

※2 SB-29・21B・29Sでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDとAF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G EDのみ です。

※3 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

別売スピードライトのFVロックについて

- 別売のスピードライト(□280)の発光モードがTTL、「モニター発光あり」の
 ④Aまたは「モニター発光あり」のAのいずれかにセットされている場合は、
 FVロックを行えます(別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの使用説明書をご覧ください)。
- ・ 増灯時に FV ロックを使用する場合は、主灯(マスターフラッシュ)または補助灯(リモート)グループのうち、少なくとも1グループの発光モードをTTL、
 ・ ③ AまたはAのいずれかにセットしてください。

🖉 スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

撮影状態	発光モード	測光エリア		
	i-∏Lモード	画面中央 ϕ 6mm相当		
1灯撮影時	絞り連動外部自動調光	スピードライトの		
	(\$ A)	外部測光エリア		
	i-∏Lモード	全画面		
デトハンストワイ ヤレス ライティングによる	絞り連動外部自動調光 (袋 A)	スピードライトの		
山口口	外部自動調光(A)	アトロルリルエリア		

▶ スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載のデジタルー眼レフカメラには該当しません。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、 i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性の ある場合に、発光直後に\$(レディーライト)が約3秒間点滅して露出アンダー 警告を行います。
- i-TTLモード時のISO 感度連動範囲はISO 64~12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発 光量にならない場合があります。

	ISO感度と開放側の限界絞り(F)										
64	100	200	400	800	1600	3200	6400	12800			
3.5	4	5	5.6	7.1	8	10	11	13			

露出モードがPの場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

※ 制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りに よって制御されます。

スピードライトSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。

- パワーアシストパック SD-8A または SD-9 をカメラに固定した状態でフラッシュ撮影をすると、筋状のノイズが写り込むことがあります。その場合は、ISO感度を下げるか、SD-8AまたはSD-9をカメラから離してお使いください。
- スピードライト SB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800の使用時に、AF補助光の照射条件が満たされると、スピードライト側のAF補助光を自動的に照射します。
- スピードライトSB-5000のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。AF補助光が照射されるフォーカスポイントは、次の図の通りです。

AF補助光が照射されるフォーカスポイント

焦点距離が24mmから	焦点距離が50mmから	焦点距離が85mmから
49mmの場合	84mmの場合	135mmの場合

 スピードライトSB-910、SB-900のAF補助光は、17~135mmまでのAFレンズ に対応しています。AF補助光が照射されるフォーカスポイントは、次の図の 通りです。

AF補助光が照射されるフォーカスポイント

 スピードライトSB-800、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800のAF補助光は、24~105mmまでのAFレンズに対応しています。AF補助光が 照射されるフォーカスポイントは、次の図の通りです。

AF補助光が照射されるフォーカスポイント 焦点距離が24mmから 焦点距離が35mmから 焦点距離が50mmから

34mm の場合	49mm の場合	105mmの場合

スピードライトSB-700のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。AF補助光が照射されるフォーカスポイントは、次の図の通りです。

AF補助光が照射される	るフォーカスポイント
焦点距離が24mmから	焦点距離が28mmから
27mm の場合	135mmの場合

- 使用するレンズや撮影シーンによっては、オートフォーカスによるピント合わせができずにシャッターがきれなかったり、ピントが合わなくてもピント表示
 (●)が点灯してシャッターがきれることがあります。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからス ピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露 出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り 換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材(拡散板など)を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

✓ 別売スピードライトの調光補正について

i-TTL調光時および絞り連動外部自動調光(愛A)時は、Q☎(\$)ボタンを押し て設定した調光補正と、スピードライト本体または静止画撮影メニュー[フラッ シュ発光]で設定した調光補正を同時に行う場合、両方の補正値を加算します。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意され ています。

電源	 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c/EN-EL15b/ EN-EL15a/EN-EL15 (□ii、13) EN-EL15を使用した場合は、EN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15a を使用したときよりも撮影可能コマ数(電池寿命)が減少す る場合があります(□356)。 バッテリーチャージャー MH-25a (□ii) マルチパワーバッテリーパックMB-D18 (□290) パワーコネクター EP-5B、ACアダプター EH-5c/EH-5b
ワイヤレス トランスミッター (皿 267)	• ワイヤレストランスミッター WT-7
ワイヤレス リモートコント ローラー	 ワイヤレスリモートコントローラーWR-R10(WR用変換ア ダプターWR-A10が必要) ワイヤレスリモートコントローラーWR-T10 ワイヤレスリモートコントローラーWR-1
ファインダー用 アクセサリー	 接眼目当てDK-19 接眼補助レンズDK-17C マグニファイングアイピースDK-17M マグニファイヤーDG-2 (アイピースアダプター DK-18が必要) アンティフォグ ファインダーアイピースDK-14、DK-17A フッ素コート付きファインダーアイピースDK-17F 変倍アングルファインダー DR-5 アングルファインダー DR-4
HDMIケーブル	・HDMIケーブルHC-E1
アクセサリー シューカバー	• アクセサリーシューカバー BS-3、BS-1
ボディーキャップ	• ボディーキャップBF-1B、BF-1A
ニコンデジタルカメ ラ専用ソフトウェア	Camera Control Pro 2

☑ 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

10ピン	 リモートコードMC-22、MC-22A(長さ:約1m) リモートコードMC-30、MC-30A(長さ:約80 cm) リモートコードMC-36、MC-36A(長さ:約85 cm) 延長コードMC-21、MC-21A(長さ:約3 m) 	
ケーションに	- 変換コードMC 25、MC 25A(長さ:約10 cm)	
按航9る	 ・ が ジャン ・ が ・ が	
アクセサリー	● WR用変換アダプター WR-A10	
	• GPSユニットGP-1/GP-1A	
	※販売は終了しています。	
対象フィク	• ステレオマイクロホンME-1	
	• ワイヤレスマイクロホンME-W1	
端子カバー	● USBケーブル用端子カバー UF-4	

🖉 アクセサリーシューカバーの取り付けおよび取り外し方

別売のアクセサリーシューカバーを取り付けるに は、カバーを図のようにカメラのアクセサリー シューに差し込みます。取り外すときは、カメラ をしっかりと支えて、カバー全体を親指で押さえ ながら矢印の方向にスライドさせます。





🖉 付属のアイピースの取り付けおよび取り外し方

カメラのアイピースシャッターを閉じてロックを 解除してから(①)、付属のアイピース(DK-17F) を軽くはさむように2本の指で持ち、図のように 回して取り外します(②)。取り付けるときは、ア イピースを逆に回します。別売のアイピースの取 り付けおよび取り外しの場合も同様に行ってくだ さい。



HDMI/USBケーブルクリップについて

付属のHDMI/USBケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売のHDMI ケーブルやUSBケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます(HDMI/ USBケーブルクリップは、市販のHDMI端子用ケーブルで使用できない場合があ ります)。ここではUSBケーブルを使って説明しています。

HDMI/USB ケーブルクリップを使用するときは、画像モニターを収納してください。





HDMIケーブルの場合 はここに通します。



HDMIケーブルの場合 はここに通します。







HDMIケーブルの場合 はここに差し込みます。





ブルを同時に使用する場合

別売のマルチパワーバッテリーパック MB-D18について

各部の名称

マルチパワーバッテリーパックMB-D18の各部の名称は次の通りです。





※ ご購入時、MS-D12ENはMB-D18に装着されています。MS-D12ENの取り外し 方については、「バッテリーの入れ方」の手順1(ロ295)をご覧ください。

▲ ACアダプター EH-5c/EH-5bとパワーコネクター EP-5Bについて(別売) 別売のACアダプター EH-5c/EH-5bとパワーコネクター EP-5Bを使うと、長時 間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。MB-D18とACアダプ ターを組み合わせて使う場合は、パワーコネクターEP-5Bをバッテリーホルダー MS-D12ENに装着してからACアダプターに接続します。パワーコネクター EP-5BとACアダプター EH-5c/EH-5bの接続方法については、当社ホームページ に用意されているメニューガイド(□□i)をご覧ください。

■ 縦位置シャッターボタン、縦位置マルチセレクター、 縦位置コマンドダイヤル

MB-D18の縦位置シャッターボ タン、縦位置マルチセレクター、 縦位置メインコマンドダイヤ ル、縦位置サブコマンドダイヤ ルの機能は、対応するカメラ本 体の操作部と同じです(カスタ ムメニューf5 [マルチセレク ターの半押し起動](□261)の 設定にかかわらず、MB-D18の 縦位置マルチセレクターでは半 押しタイマーは起動しません)。

 縦位置
 縦位置マルチ

 シャッターボタン
 セレクター

 レクター
 レクター

 縦位置サブ
 縦位置メイン

 コマンドダイヤル
 コマンドダイヤル

■ 縦位置Fnボタン、縦位置AF-ONボタン

MB-D18の縦位置Fnボタンと縦 位置AF-ONボタンの機能は、カス タムメニュー f10 [MB-D18の ボタンの機能](ロ261)で設定 してください。



縦位置Fnボタン

縦位置AF-ONボタン

■ ロックレバー (MB-D18)

MB-D18の各ボタンやダイヤ ル、マルチセレクターを不用意 に操作しないよう、MB-D18に はロックレバーを装備してい ます。MB-D18のボタン、ダイ ヤルを操作する場合は、ロック レバーを回して、ロックを解除 してください。





ロックの状態

- ロック解除の状態
- ロックレバーは電源スイッチではありません。カメラの電源のON/OFF はカメラ本体の電源スイッチで切り換えてください。

<u>バッテリーパックの準備</u>

■ バッテリーパックの取り付け方

MB-D18を取り付ける前に、カメラ本体の電 源がOFFになっていること、およびMB-D18 のロックレバーがL側にセットされているこ とを確認してください。



1 MB-D18の接点端子キャップを取り 外す

 MB-D18をカメラ本体に取り付けていないときには、必ず接点端子キャップを MB-D18に取り付けてください。



2 カメラの底面にあるMB-D18用接点カバーを取り外す(①)

• 取り外したカメラのMB-D18用接点カバーは、MB-D18用接点カ バーホルダーに収納してください(②)。



3 MB-D18をカメラに取り付ける

 カメラの三脚ネジ穴(①)とカメラ取り付けネジ(②)を合わせて、 カメラ取り付けノブをLOCK▶の指標の方向に回して固定します。



カメラにバッテリーを挿入したまま、MB-D18を取り付けることができます。初期設定では、MB-D18に装着したバッテリーから使用して、残量がなくなり次第、カメラ側のバッテリーを使用します。セットアップメニュー [電池の使用順序](□268)で、MB-D18側とカメラ側のどちらのバッテリーから使用するかを設定できます。

▶ バッテリーパックの取り付けについて

- 紛失を防ぐため、取り外したカメラのMB-D18用接点カバーは、MB-D18用接 点カバーホルダーに必ず収納してください。また、MB-D18の接点端子キャッ プはなくさないように保管してください。
- ベローズPB-6をカメラに取り付ける場合は、オート接写リングPK-13とPB-6D を併用して使用してください。

■ バッテリーパックの取り外し方

MB-D18を取り外す場合は、カメラの電源を必ずOFFにし、MB-D18の ロックレバーをL側にセットしてから、カメラ取り付けノブをLOCK▶の 指標の反対方向に回して取り外します。

■ バッテリーの入れ方

MB-D18 は Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15a(1 個)、 EN-EL18c(1個)、または単3形電池(8本)を使用します。 バッテリーを装着する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていること と、MB-D18のロックレバーがL側にセットされていることを確認して ください。

1 MB-D18側面のバッテリー室カバー開閉ノブをC側に回してロックを外し、MB-D18に装着されているホルダーを取り外す



2 バッテリーまたは単3形電池をホルダーに装着する

• EN-EL15a使用時:

EN-EL15aの▲マークをEN-EL15a用ホ ルダー MS-D12EN内にある電源接点の 方向に向け、EN-EL15aの切り欠き部分 をホルダーの突起に合わせて上に置き ます(①)。

EN-EL15aを軽く下に押しながら、電源 接点の方向にカチッと音がして止まる までスライドさせます(②)。





• EN-EL18c使用時:

別売のバッテリー室カバー BL-5 にEN-EL18cを取り付ける前に、 BL-5のバッテリー取り外しノブの 矢印(◁)が見える位置に戻って いる場合は、矢印(◁)の方向に 端までスライドさせます(①)。

バッテリー取り外しノブ



EN-EL18c本体の2つの 突起をBL-5に差し込む と(②)、バッテリー取 り外しノブが矢印(<) の見える位置まで戻り ます(③)。





• 単3形電池使用時:

単3形電池8本を単3形電池用ホルダー MS-D12内の表示に合わせ、+と-の向 きに注意しながらホルダーに装着します。







3 バッテリーまたは単3形電池を装着したホルダーを MB-D18に挿入し、バッテリー室カバー開閉ノブを図のように回してロックする

 ホルダーを挿入してから、バッテリー室カバー開閉ノブを回して ロックしてください。完全にロックされていないと電源供給が行 われません。





4 カメラの電源をONにして、カメラの表示パネル、または ファインダー内表示でバッテリーの残量を確認する

- カメラの電源をONにして作動しない場合は、バッテリーが正しく装着されているかご確認ください。
- セットアップメニュー [MB-D18電池設定] (□267) では、 MB-D18で使用する単3形電池の種類をカメラで指定できます。
 セットアップメニュー [電池チェック] (□268) では、装着中の電池の情報を表示します。

🖉 パワーコネクター EP-5Bの入れ方

- パワーコネクターEP-5Bの▲マークをEN-EL15a 用ホルダー MS-D12EN内にある電源接点の方向 に向け、EP-5Bの切り欠き部分をホルダーの突起 に合わせて上に置きます(①)。EP-5Bを軽く下 に押しながら、電源接点の方向にカチッと音が して止まるまでスライドさせます(②)。
- ホルダーのパワーコネクターカバーを開けて、 EP-5Bのコードを通します(③)。







■ バッテリーの取り外し方

バッテリーの取り外しの際には、バッテリーやホルダーが落下しないよ うにご注意ください。

1 MB-D18側面のバッテリー室カバー開閉ノブをC側に回してロックを外し、MB-D18に装着されているホルダーを取り外す



2 ホルダーからバッテリーを取り外す

• EN-EL15a使用時:

ホルダーの「PUSH」ボタンを押しながら、バッテリーを 「PUSH」ボタンの方向へスライドさせて取り外します。





- パワーコネクター EP-5Bをホルダーから取り外す方法は、 EN-EL15aの場合と同じです。

• EN-EL18c使用時:

バッテリー室カバー BL-5の バッテリー取り外しノブを、 表示されている矢印(<)の 示す方向に端までスライドさ せた状態で、BL-5からバッテ リーを取り外します。



• 単3形電池使用時:

装着した電池を図のように全て取り外してください。取り外しの 際は、**電池が落下しないようにご注意ください。**



	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15a*1(1個)、
	EN-EL18c ^{*2} (1個)、または単3形電池(1.5Vアルカリ電池、
	1.2Vニッケル水素充電池、1.5Vリチウム電池のいずれかのう
	ち、同じ種類の電池8本)、ACアダプター EH-5c/EH-5b(パ
	ワーコネクター EP-5Bと組み合わせて使用)
	※1 EN-EL15aの代わりに EN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15も
	使えます。ただし、EN-EL15を使用したときはEN-EL15c/
電源	EN-EL15b/EN-EL15aを使用したときよりも撮影可能コ
	マ数(電池寿命)が減少する場合があります(🕮 356)。
	※2 別売のバッテリーチャージャーMH-26aまたはMH-26と、
	バッテリー室カバー BL-5 が必要です。EN-EL18cの代わ
	りにEN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18も使えます。EN-EL18
	を使用した場合、EN-EL18c/EN-EL18b/EN-EL18aを使用
	したときよりも撮影可能コマ数(電池寿命)が減少します
	(🖽 356)。
使用温度	0℃~40℃
寸法(W×H×D)	約152×51×79 mm
	 約355g(MS-D12EN、別売のEN-EL15a装着時)
	 約450g(MS-D12、市販の単3形電池8本装着時)
哲曼	 約305g(MS-D12EN、別売のEP-5B装着時)
貝里	 約435g(別売のBL-5、EN-EL18c装着時)
	• 約280g(MS-D12EN装着時)
	• 約265 g(MS-D12装着時)

製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- ・温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くすをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭き ます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布 で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意:カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の 原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますので ご注意ください。
レンズ・ ミラー・ ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払いま す。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いくださ い(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファイ ンダーを傷つけることがあります)。指紋や油脂などの汚れは、柔 らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけない ように注意して拭きます。
画像モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、 表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、 破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

撮像素子のお手入れについて

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にゴミやほこりが付く と、画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニン グを作動させると、撮像素子前面のゴミをふるい落とすことができます。 イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源 のON/OFF時に自動的に行う方法があります。

■ セットアップメニューの [イメージセンサー クリーニング] から操作する

- 効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置(カメラを横位置で構えるときの向き)
 にしてください。
- セットアップメニューの[イメージセン サークリーニング]を選び、[実行]を選ん で®ボタンを押すと、イメージセンサーク リーニングが開始されます。実行中は、表 示パネルにしょ5℃が点滅し、撮像素子の チェックも行われます。
- イメージセンサークリーニング実行中は、 カメラの操作はできません。バッテリーや ACアダプターを取り外さないでください。
- クリーニングが完了すると、セットアップ メニュー画面に戻ります。







■ 電源のON/OFF時にイメージセンサークリーニング する

©0N	電源ONで実行	電源ONと同時にイメージセンサークリーニングが作動 します。
©OFF	電源OFFで実行	電源OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作 動します。
ON	電源ONとOFF で実行	電源ON、OFFと同時にイメージセンサークリーニング が作動します。
	実行しない	電源ON、OFF してもイメージセンサークリーニングは 作動しません。



 [電源スイッチに連動]を選んでマルチ セレクターの③を押すと、[電源ス イッチに連動] 画面が表示されます。



2 イメージセンサークリーニングの方 法を選ぶ

●ボタンを押して設定します。



▶ イメージセンサークリーニングについてのご注意

- 電源スイッチに連動してイメージセンサークリーニングが作動しているとき
 にカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、撮像素子前面を市販のブロアーで掃除する(ロ305)か、ニコンサービス機関にご相談ください。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。
撮像素子前面をブロアーで掃除する

イメージセンサークリーニング(口303)でゴミやほこりを取りきれないときは、撮像素子前面を次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、 または別売のパワーコネクターとACアダプターを組み合わせてお使 いください。
- セットアップメニューの[クリーニングミラーアップ]を使用します。 Bluetoothを使ってスマートフォンと接続しているとき、USBケーブルで外部機器と接続しているとき、またはバッテリー残量表示がでの場合、このメニュー項目は操作できません。

1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

- •レンズを取り外したら、カメラの電源をONにしてください。
- **2** セットアップメニューで [クリーニ ングミラーアップ] を選んでマルチ セレクターの①を押す



3 ◎ボタンを押す

- クリーニングミラーアップの待機状態 になります。
- 画像モニター、表示パネル、ファイン ダー内表示に図のように表示されます。
- 撮像素子のお手入れをやめるには、カ メラの電源をOFFにしてください。



4 シャッターボタンを全押しする

- ミラーが上がり、シャッターが開いた 状態になります。
- このとき、表示パネルは点滅表示になります。ファインダー内の表示は消灯します。



5 カメラの内部に光が当たるように カメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する

ゴミやほこりが付いていない場合は、
 手順7にお進みください。



6 撮像素子前面に付いたゴミやほこり をブロアーで払う

ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。



ブロアーで取り除けない汚れがある場合
 は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。
 絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

7 カメラの電源をOFFにし、付属のボディーキャップを付ける

ミラーがダウンしてシャッター幕が閉じます。

▶ 作業中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕はカメラに 電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。作業中に不意に シャッター幕が閉じて破損することを防ぐために、次の点にご注意ください。

- 作業中に電源をOFFにしないでください。
- 作業中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリー残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、セルフ タイマーランプが点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が 閉じてミラーがダウンするので、直ちに作業を終了してください。

▶ 撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際 に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが 付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑 剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入 を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱 は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャッ プのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラ を保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。撮像素 子前面に付着したゴミなどをイメージセンサークリーニング(凹303)で取り 除ききれないときは、「撮像素子前面をプロアーで掃除する」(凹305)の手順 でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し 付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修 正できます。

▶ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオー バーホールすることをおすすめします(有料)。

- •特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども 併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの使用上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃 や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりする と部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になるこ とがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故 障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度にな じませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、静電気が発生する環境では、記 録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないこ とがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでくだ さい。過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがありま す。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レーザー光などの光線について

レーザー光などの強い光線がレンズに向けて照射されると、撮像素子が破損を起こ すおそれがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾 いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たら した柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾 かしてください。まれに、ブラシなどで表示パネルを拭いた場合に、静電気で表示 パネルが点灯したり、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありませ ん。しばらくすると元に戻ります。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロ アーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのプロアーの場 合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、ミ ラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまっ た場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き 取ってください。

● 撮像素子の手入れ方法について

撮像素子のクリーニングの方法については四303、305をご覧ください。

● レンズの信号接点について

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。

● シャッター幕に触れない

- シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。
- シャッター幕に色むらが見える場合がありますが、異常ではありません。また、 撮影した画像には影響ありません。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管して ください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車 内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因に なります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護する ために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、 カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただ し、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてくださ い。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリ カゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラ を長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるの で、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外 すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行 わないでください。

● 画像モニターについて

- ・画像モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効 ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、 常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することが ありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。 あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- ・画像モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

バッテリーの使用上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので 注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下が るのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充 電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性 能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する 場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼し いところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- ・ バッテリーは 0 ℃~40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。
 バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- ・バッテリーの温度が0℃~15℃、45℃~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる 容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場 合、セットアップメニューの[電池チェック](□268)で劣化度が「1」と表示 されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻 ります。

- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル 充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域に よってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意し て暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使え なかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量 がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でパッテリーの使用時間が 極端に短くなってきた場合は、パッテリーの寿命です。新しいリチャージャブ ルパッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄 しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



数字の有無と数値は、 電池によって異なり ます。

チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-25a対応のバッテリー以外は充電しないでください。

故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関に お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
- 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
- ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやAC アダプターの取り外しでは失われません。
- ファインダー内がはっきり見えない
 - •ファインダー内の見え方は、視度調節ノブを回して調節できます(口8)。
 - ・視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、AFモード(四96)をAF-S、 AFエリアモード(四98)をシングルポイントAFに設定します。次に、中央の フォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカス でピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節し てください。
 - 視度調節の範囲を超える補正が必要な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いになることをおすすめします(四8、287)。

● ファインダー内が暗い

バッテリー残量は充分ですか?バッテリーが入っていない場合や、入っていても 残量がない場合は、ファインダー内が暗く表示される場合があります(凹6、28)。

●ファインダー内や表示パネル、画像モニターの表示が、すぐに消えてしまう カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] やc4 [モニターのパワーオフ時間] で、表示が消えるまでの時間を設定できます(□256)。

●表示パネルやファインダー内の表示が薄い、表示が遅い 低温や高温のときは表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなることがあります。

ファインダー内に模様が見える 液晶の特性上、フォーカスポイントを照明するときにファインダー内が赤くな ることがありますが、故障ではありません。

撮影関連

- 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。
- シャッターがきれない
 - •残量のあるメモリーカードが入っていますか?(22,353)
 - SDカードがロックされていませんか? (□16)
 - Gタイブ、Eタイブレンズ以外のCPUレンズを装着している場合は、レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい数値)に設定しないとシャッターがきれません。表示パネルにFEをと表示されている場合、カスタムメニューf4
 [コマンドダイヤルの設定]の[絞り値の設定方法]を[絞りリング]に設定すると、レンズの絞りリングで絞り値を設定できます(印261)。
 - 露出モードMでシャッタースピードをbuib (バルブ)または・・(タイム)
 に設定し、そのまま露出モードをSに変更した場合は、シャッタースピード
 を再設定してから撮影してください(□323)。
 - セットアップメニュー [カードなし時レリーズ] が [レリーズ禁止] になっていませんか? (四268)
- シャッターがきれるのが遅い カスタムメニュー d5 [露出ディレーモード] を [しない] にしてください (□257)。

● 連続撮影できない

HDR撮影時は、連続撮影できません (□177)。

- ピントが合わない
 - マニュアルフォーカスになっていませんか?オートフォーカスで撮影する
 には、フォーカスモードセレクターをAFに合わせてください(ロ92)。
 - 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合が あります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してく ださい(□105、108)。明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのもの が混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対し て主要被写体が小さい/絵柄が細かい)

● 電子音が鳴らない

- AFモードがAF-Cの場合、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
- [電子音] (□265) の [電子音設定] を [無効] 以外に設定すると電子音が 鳴ります。

● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時 の同調シャッタースピードは、カスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速 度] で、1/250~1/60秒の範囲で設定できます。[1/250秒 (オートFP)] に 設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを使用 すると、全シャッタースピードに同調可能なオートFPハイスピードシンクロ が可能です(ロ187)。

● シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない AFモードがAF-Cに設定されている場合、サブセレクターの中央を押して フォーカスをロックしてください(□105)。

● フォーカスポイントを選べない

- フォーカスポイントロックレバーがL(ロック)の位置になっていませんか?
 (□103)
- AFエリアモードがオートエリアAFのときは、選べません(ロ98)。
- AF エリアモードを顔認識 AF にしてライブビュー撮影を行っている場合は、 選べません(□40)。
- 画像の再生時またはメニューの操作時には、フォーカスポイントを選択できません(□217、241)。
- 半押しタイマーがオフになっていませんか?フォーカスポイントを選ぶには、シャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてください(□34)。

● AFモードを変更できない

カスタムメニュー a10 [**AFモードの制限**] を [**制限しない**] に設定してくだ さい (¹²⁵⁴)。

● 画像の記録に時間がかかる

静止画撮影メニュー [**長秒時ノイズ低減**] が [**する**] になっていませんか? (□246)

● 画像にノイズ(ざらつき、むら、すじ、輝点)が発生する

- ISO 感度を低く設定して撮影すると、ざらつき、むら、すじ、輝点を低減できます。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、静止画撮影メニュー [長秒時 ノイズ低減]を [する] にして撮影すると、むら、輝点を低減できます (¹²²⁴⁶)。
- 高温となる場所での撮影や長時間露出撮影などでカメラが熱くなっている場合は、むら、輝点が強調されることがあります。カメラの電源をOFFにしてカメラ内部の温度が下がるまで涼しいところにしばらく置いてから撮影すると、むら、輝点を低減できます。
- 一部のスピードライトを使用したときに ISO 感度を高く設定して撮影する と、すじが発生することがあります。この場合、ISO感度を下げて撮影して ください。
- 次の場合、静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューの [高感度ノイズ低減]を [しない] 以外に設定すると、ざらつきを低減できます (□246、251)。
 ISO感度を高く設定している場合
 - [感度自動制御]を [する] にしてISO感度が高くなった場合
- 次の条件で撮影する場合、ISO 感度を高く設定しているとざらつき、むら、 すじ、輝点が強調されることがあります。
 - アクティブD-ライティングを [しない] 以外に設定して撮影する場合
 - [ピクチャーコントロール] で [フラット] (四170) を選んで撮影する場合
 - ピクチャーコントロール調整で調整する値が大きい場合(四172)
 - 多重露出撮影する場合
 - 長時間露出撮影する場合
 - 高温となる場所で撮影する場合
- ライブビュー表示中の画像モニターに表示された明るさと、撮影した画像の 明るさ(露出)が違う

ライブビュー時に画像モニターの明るさを調整しても、撮影した画像には反映 されません(ロ44)。

● 動画撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる

動画撮影メニュー[**フリッカー低減**]の設定を、カメラをお使いになる地域の 電源周波数に合わせてください(印251)。

● ライブビューで横帯状の明るい部分が生じる

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミ ネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなった り、明るい横帯が発生することがあります。

● 画像にゴミが写り込む

- レンズの前面または背面(マウント側)が汚れていませんか?
- 撮像素子の前面にゴミが付着していませんか?イメージセンサークリーニングを行ってください(四303)。
- ライブビューが開始されなかったり、自動的に終了する
 - 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブ ビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など
 - カメラが熱くなってライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブビューを一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- ライブビューで画面にノイズ(ざらつき、むら、すじ、輝点)が発生する
 - ライブビューで長時間カメラを使用すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ざらつき、むら、輝点が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
 - ライブビュー時、^Qボタンで画面を拡大すると(ロ43)、ざらつき、むら、 すじや色の変化が発生しやすくなります。
 - 動画撮影メニューの[画像サイズ/フレームレート]の設定によっては(□65)、 撮影した動画のざらつき、むら、輝点の見え方が異なります。
- ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない 被写体が明るすぎるか、暗すぎます(□160)。
- ●ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像 がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして 設定することはできません(凹167)。

- ホワイトバランス(WB) ブラケティング撮影ができない
 - RAWまたはRAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティン グ撮影はできません(四86、145)。
 - ホワイトバランスブラケティングと多重露出による撮影を同時に行うことはできません。
- [ビクチャーコントロール]の効果が安定しない
 [ビクチャーコントロール]、[カスタムビクチャーコントロール]が [オート]
 (□170)に設定されているか、それぞれの調整画面で [輪郭強調]、[明瞭度]、
 [コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]のいずれかが [A](オート)(□173)
 に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を [A](オート)以外に設定してください。

● 測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません(□136)。

● 露出補正ができない

露出モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません(□137)。

● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードを**bulb**(バルブ)または--(タイム)にした場合など、 長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなることがあります。この現 象は、静止画撮影メニュー[長秒時ノイズ低減]を[する]に設定することで 低減できます(¹²⁴⁶)。

● 動画に音声が録音されない

動画撮影メニュー [マイク感度] が [録音しない] になっていませんか? (印251)

再生関連

● RAW画像が表示されない
 [画質モード]を [RAW+FINE★]、[RAW+FINE]、[RAW+NORMAL
 ★]、[RAW+NORMAL]、[RAW+BASIC★]、[RAW+BASIC] にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません (□87)。

●他のカメラで撮影した画像が表示されない この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

● 全ての画像が表示されない

再生メニュー [再生フォルダー設定] を [全てのフォルダー] にしてください (皿241)。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 再生メニュー [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか?
 (ロ242)
- 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (□242)
- •撮影直後の画像確認では自動回転はしません(ロ242)。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

● 画像が削除できない

画像にプロテクトが設定されていませんか? (²²³⁴)

● 画像が編集できない

このカメラでは編集できない画像です。

•	画像を記録したのに[撮影画像がありません]と表示される
	再生メニュー [再生フォルダー設定] を [全てのフォルダー] にしてください
	(□241)。

- ダイレクトブリントができない RAW画像やTIFF画像はダイレクトプリントできません。
- RAW画像をプリントできない
 - 画像編集メニューの[RAW現像]などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください(ロ269)。
 - RAW 画像はパソコンに転送してから、NX Studioなどのソフトウェアを使っ てプリントしてください(ロii)。

● NX Studioでイメージダストオフ機能が動作しない 次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、撮像素子前面のゴミの位置 が変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません。

- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオ フデータを使って、クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込み を取り除こうとしたとき(ロ264)
- [ピクチャーコントロール]、[アクティブD-ライティング]、[ヴィネットコ ントロール]の効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW 画像の現像はNX Studioをお使いください。

● 画像をパソコンに転送できない お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送 できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカー ドの画像をパソコンに保存してください。

<u>Wi-Fi(無線LAN)およびBluetooth関連</u>

● スマートフォンにカメラのSSID(ネットワーク名)が表示されない

- セットアップメニューの [機内モード] が [無効] になっていること、および [Bluetooth] の [通信機能] が [有効] になっていることを確認してください (□266、267)。
- スマートフォンの無線機能をOFFにしてからONにし直してください。

ブリンターなどの無線通信機器と接続できない このカメラは、SnapBridgeアプリがインストールされたスマートフォン以外の機器とは無線接続できません。

<u>その他</u>

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか? カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします(ロ263)。

● 表示されているメニュー項目が選べない

- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。
- セットアップメニュー [電池チェック] は電源に別売のパワーコネクターと ACアダプターを使用している場合は選べません(ロ268)。

警告メッセージ

表示パネル、ファインダー、画像モニターに表示される警告メッセージ の意味は次の通りです。

こんなとき			
表示	ファインダー	原因	対処方法
パネル	内表示		
FE E	FE E	レンズの絞りリングが最小絞りになっていま	レンズの絞りリングを最小絞り (最も大きい値) にしてくださ
(点滅)	(点滅)	せん。	い(皿19)。
-		バッテリー残量は残り	バッテリー交換の準備をしてく
		わずかです。	ださい (皿15、28)。
		 ・バッテリーが消耗しています。 ・バッテリーとの情報通信ができません。 	 バッテリーを交換してください(ロ15)。 バッテリーを充電してください(ロ13)。 このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください(ロ287、366)。 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください(ロ15、28)
	(Frit 1096)	 カメラと通信できな いバッテリーを使用 しています。 バッテリーの温度が 高くなっています。 	 カメラと通信できないバッテ リーを使用している場合は、 ニコン純正品のバッテリーと 交換してください(ロxiv、15、 287)。 バッテリーをカメラから取り出 して、バッテリーの温度が下が るまでお待ちください。

こんなとき			
表示	ファインダー	原因	対処方法
パネル	内表示		
〔 _] (点滅)	【□■ (点滅)	 別売のマルチパワー バッテリーパック MB-D18装着時に、極端に消耗している Li-ion リチャージャ ブルバッテリー、またはカメラと通信できないバッテリーを カメラかMB-D18のいずれかで使用しています。 	 カメラと通信できないバッテ リーを使用している場合は、 ニコン純正品のバッテリーと 交換してください(ロxiv、15、 287)。
۵F	۵F	開放絞りからの絞り段 数が表示されていま す。非CPUレンズが装 着されているか、また はレンズが装着されて いない状態で、レンズ の開放絞り値が設定さ れていません。	レンズの開放絞り値を設定する と、レンズの絞り値が表示され ます(口212)。
_	▶ ◀ (点滅)	オートフォーカスで ピント合わせができま せん。	構図を変えるか、マニュアル (手動)でピント合わせを行っ てください(印30、108)。
buとb (点滅)	bぃとb (点滅)	露出モードがSのとき にシャッタースピード が ちょとち (バルブ) に セットされています。	 シャッタースピードを変えて ください(皿125、128)。 露出モードMで撮影してくだ さい(皿128)。
(点滅) 	(点滅)	露出モードが S のとき にシャッタースピード が(タイム)に セットされています。	 シャッタースピードを変えて ください(□125、128)。 露出モードMで撮影してくだ さい(□128)。
ひぃゝゞ (点滅)	ととび (点滅)	カメラが処理を行って います。	カメラが処理を終えるまでお待 ちください。

こんなとき			
表示 ファインダー		原因	対処方法
パネル	内表示		
_	~ (点滅)	スピードライトがフル 発光しました。	撮影に必要な光量が不足してい る可能性があります。撮影距 離、絞り値、調光範囲、ISO感 度などをご確認ください (□284)。
(シャッタースピード 表示、絞り値表示のい すれかと、露出インジ ケーターが点滅)		被写体が明るすぎてカ メラの制御範囲を超え ています。	 ISO感度を低くしてください (□116)。 露出モードがPのときは市販 のNDフィルター(光量調節 用)を使用してください(S、 Aのときに下記の操作を行っ ても警告表示が消えない場合 も同様に対応してください)。 露出モードがSのときは シャッタースピードをより高 速側にセットしてください (□125)。 露出モードがAのときは絞り を絞り込んでください(より 大きい数値)(□126)。

こんなとき			
表示	ファインダー	原因	対処方法
パネル	内表示		
(シャッタースピード 表示、絞り値表示のい ずれかと、露出インジ ケーターが点滅)		被写体が暗すぎて、 カメラの制御範囲を超 えています。	 ISO感度を高くしてください (四116)。 露出モードがPのときは別売 スピードライトを使用してく ださい(S、Aのときに下記の 操作を行っても警告表示が消 えない場合も同様に対応して ください)(四182)。 露出モードがSのときは シャッタースピードをより低 速側にセットしてください (四125)。 露出モードがAのときは絞りを 開いてください(より小さい数 値)(四126)。
● (点滅)		赤 目軽減モードまたは 赤目軽減スローシンク ロモードが設定され、 赤目軽減発光機能が不 可能なスピードライト が装着されています。	 赤 日軽減発光機能が可能な専用スピードライトをお使いください(皿280)。 フラッシュモードの設定を変更してください(皿187)。

こんなとき			
表示	ファインダー	原因	対処方法
パネル	内表示		
Full (点滅)	Ful (点滅)	 画像を記録する空き 容量がありません。 カメラが扱えるファ イル数をオーバーし ています。 	 メモリーカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください(□238)。 新しいメモリーカードに交換してください(□15)。
Eァァ (点滅)	Eァァ (点滅)	撮影中に何らかの異常 を検出しました。	もう一度シャッターボタンを押 してください。警告表示が解除 されない場合や、頻繁に警告が 表示される場合は、ニコンサー ビス機関にご相談ください (四366)。

こんなとき			
画像モニター	表示 パネル	原因	対処方法
メモリーカードが 入っていません。	(- E -)	メモリーカードが 入っていないか、 正しくセットされ ていません。	メモリーカードを正しくセット してください(口15)。
このメモリー カードにアクセス できません。 カードを交換して ください。	[Rrd , [Err] (点滅)	 メモリーカート へのアクセス異常です。 新規フォルダー が作成できま せん。 	 このカメラ用のメモリーカードであるかどうかを確認してください(ロ352)。 繰り返し抜き差ししてもエラーが解消しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願います(ロ366)。 メモリーカードに記録されている画像を削除して、メモリーカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください(ロ238)。 新しいメモリーカードに交換してください(ロ15)。
8	〔 Я r d、 	Eye-Fiカードをコ ントロールできま せん。	 Eye-Fiカードのファームウェ アが最新版になっているか確 認してください。 新しいEye-Fiカードに交換す るか、必要な画像をパソコン などに転送してバックアップ した後、カメラでEye-Fiカー ドをフォーマットしてからご 使用ください(ロ263)。
メモリーカードが 書き込み禁止に なっています。	〔Я‐d 、 (点滅)	SDカードの書き 込み禁止スイッチ がロックされてい ます。	SDカードのロックを解除して ください(口16)。

こんなとき			
画像モニター	表示 パネル	原因	対処方法
Eye-Fiカードは 書き込み禁止の 状態では使用 できません。	[Я r d 、 E r r (点滅)	Eye-Fiカードの書 き込み禁止スイッ チがロックされて います。	Eye-Fiカードのロックを解除し てください(□16)。
このメモリーカー ドは初期化 (フォーマット) されていません。 フォーマットして ください。	[For] (点滅)	メモリーカードが 正しく初期化され ていません。	 メモリーカードを初期化して ください(凹263)。 正しく初期化されたメモリー カードに交換してください (凹15)。
ライブビューを開 始できません。 しばらくお待ちく ださい。		カメラ内部の 温度が高くなって います。	カメラ内部の温度が下がるま で、ライブビュー撮影または動 画撮影を一時休止してください (囗319)。
撮影画像が ありません。		 撮影画像がありません。 再生するフォルダーの指定に問題があります。 	 ・ 画像が記録されているメモリーカードを入れてください(ロ15)。 ・ 再生メニューの[再生フォルダー設定]で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください(ロ241)。
全ての画像が非表 示に設定されてい ます。		記録されている画 像が非表示設定さ れているために表 示されません。	再生メニューの [非表示設定] で、画像の非表示設定を解除し てください (ロ241)。

こんなとき			
画像モニター	表示 パネル	原因	対処方法
このファイルは 表示できません。		 アプリケーショ ンソフトで編集 された画像や DCF規格外の 画像ファイルの ため再生できま せん。 画像ファイルに 異常があるため 再生できません。 	アプリケーションソフトで編集 された画像を上書き保存しない でください。
このファイルは 選択できません。	—	編集できない画像 です。	このカメラで撮影または編集し た画像しか画像編集できません。
この動画は 編集できません。		編集できない画像 です。	 このカメラで撮影した動画 しか編集できません。 2 秒未満の動画は編集できま せん(ロ79)。
プリンターの 状態を確認して ください。*		プリンターに異常 があります。	用紙切れなどエラーの原因を取 り除いた後、[継続] を選んで ∞ ボタンを押すと、プリントが再 開されます (エラー内容によっ ては、[継続] を選べない場合が あります)。
用紙を確認して ください。※	—	指定したサイズの 用紙がセットされ ていません。	指定したサイズの用紙をセット した後、「継続」を選んで ® ボ タンを押して、プリントを再開 してください。
紙詰まりです。※		用紙が詰まりま した。	詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで 🥺 ボタンを押 して、ブリントを再開してくだ さい。
用紙が ありません。※	_	用紙がセットされ ていません。	指定したサイズの用紙をセット した後、「継続」を選んで ∞ ボ タンを押して、プリントを再開 してください。

こんなとき				
画像モニター	表示 パネル	原因	対処方法	
インクを確認して ください。*	_	インクに異常が あります。	インクを確認した後、[継続] を 選んで ボタンを押して、プリ ントを再開してください。	
インクが ありません。*		インクがなくなり ました。	インクを交換した後、 〔継続〕 を選んで ボタンを押して、 プリントを再開してください。	

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

主な仕様

<u>ニコンデジタルカメラ D850</u>

3	型式			
	型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ		
	レンズマウント	ニコンFマウント(AFカップリング、AF接点付)		
	実撮影画角	ニコンFXフォーマット		
	有効画素数			
	有効画素数	4575万画素		
1	最像素子			
	方式	35.9×23.9 mmサイズCMOSセンサー		
	総画素数	4689万画素		
	ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ		
		取得 (NX Studioが必要)		
-	記録形式			
		• 撮像範囲 [FX (36×24)] の場合:		
		8256×5504ピクセル(サイズL:45.4 M)		
		6192×4128ピクセル(サイズM:25.6 M)		
		4128×2752ピクセル(サイズS:11.4 M)		
		• 撮像範囲 [1.2× (30×20)] の場合:		
		6880×4584ピクセル(サイズL:31.5 M)		
		5152×3432ピクセル(サイズM:17.7 M)		
		3440×2288ピクセル(サイズS:7.9M)		
		• 撮像範囲 [DX (24×16)] の場合:		
	記録画表数	5408×3600ピクセル(サイズL:19.5 M)		
		4048×2696ピクセル(サイズM:10.9M)		
		2704×1800ピクセル(サイズS:4.9 M)		
		• 撮像範囲 [5:4 (30×24)] の場合:		
		6880×5504ピクセル(サイズL:37.9 M)		
		5152×4120ピクセル(サイズM:21.2 M)		
		3440×2752ピクセル(サイズS:9.5 M)		
		• 撮像範囲 [1:1 (24×24)] の場合 :		
		5504×5504ピクセル(サイズL:30.3 M)		
		4128×4128ピクセル(サイズM:17.0 M)		
		2752×2752ピクセル(サイズS:7.6 M)		

記録形式					
記録画素数	 動画撮影メニュー[撮像範囲]を[FX]に設定し、 動画撮影中に静止画撮影した場合: 8256×4640ピクセル(サイズL) 6192×3480ピクセル(サイズM) 4128×2320ピクセル(サイズS) 動画撮影メニュー[撮像範囲]を[DX]に設定し、 動画撮影中に静止画撮影した場合: 5408×3040ピクセル(サイズL) 4048×2272ピクセル(サイズM) 2704×1520ピクセル(サイズS) 				
画質モード	 RAW 12ビット/14ビット(ロスレス圧縮、圧縮、非圧縮)、 サイズL/M/S選択可能(サイズM/Sは12ビット、ロスレス 圧縮に固定) TIFF (RGB) JPEG-Baseline準拠、圧縮率(約): FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能 RAWとJPEGの同時記録可能 				
ピクチャー	オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクロー				
コントロール	ム、ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能、カ				
システム	スタムピクチャーコントロール登録可能				
記録媒体	XQDカード、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、 SDXCメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモ リーカードはUHS-II規格に対応)				
ダブルスロット	メモリーカードの順次記録、同時記録、RAW + JPEG分割記 録ならびにカード間コピー可能				
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.31、PictBridge				

ファインダー		
ファインダー	アイレベル式ペンタプリズム使用一眼レフレックス式ファイ ンダー	
視野率	 FX:上下左右とも約100%(対実画面) 1.2×:上下左右とも約97%(対実画面) DX:上下左右とも約97%(対実画面) 5:4:上下約100%、左右約97%(対実画面) 1:1:上下約100%、左右約97%(対実画面) 	
倍率	約0.75倍(50mm f/1.4レンズ使用、∞、−1.0 m ⁻¹ のとき)	
アイポイント	接眼レンズ面中央から17 mm (-1.0 m ⁻¹ のとき)	
視度調節範囲	$-3 \sim +1 \text{ m}^{-1}$	
ファインダー	B型クリアマットスクリーンVII(AFエリアフレーム付、構図	
スクリーン	用格子線表示可能)	
ミラー	クイックリターン式	
プレビュー	Pvボタンによる絞り込み可能、露出モードA、Mでは設定絞り 値まで絞り込み可能、P、Sでは制御絞り値まで絞り込み可能	
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式	
レンズ		
交換レンズ	 G、EまたはDタイプレンズ(PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ(IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイプレンズ DXレンズ(撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ(ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放F値がF5.6以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 	
交換レンズ シャッター	 G、EまたはDタイプレンズ(PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ(IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイプレンズ DXレンズ(撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ(ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放F値がF5.6以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 	
交換レンズ シャッター 型式	 G、EまたはDタイプレンズ (PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ (IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイプレンズ DXレンズ (撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ (ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先 幕シャッター(静音撮影、静音連続撮影、ミラーアップ撮影時) 	
交換レンズ ジャッター 型式 シャッター	 G、EまたはDタイプレンズ (PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ (IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイプレンズ DXレンズ (撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ (ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先 幕シャッター(静音撮影、静音連続撮影、ミラーアップ撮影時) 1/8000~30秒(1/3、1/2、1ステップに変更可能)、Bulb、 	
交換レンズ シャッター 型式 シャッター スピード	 G、EまたはDタイプレンズ (PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ (IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイプレンズ DXレンズ (撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ (ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先 幕シャッター(静音撮影、静音連続撮影、ミラーアップ撮影時) 1/8000~30秒(1/3、1/2、1ステップに変更可能)、Bulb、 Time、X250 	
交換レンズ シャッター 型式 シャッター スピード フラッシュ同調	 G、EまたはDタイブレンズ (PCレンズ一部制限あり) G、EまたはDタイブ以外のAFレンズ (IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) Pタイブレンズ アタイブレンズ DXレンズ (撮像範囲は [DX (24×16)]) 非CPUレンズ (ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 電子制御上下走行式フォーカルブレーンシャッター、電子先 幕シャッター(静音撮影、静音連続撮影、ミラーアッブ撮影時) 1/8000~30秒(1/3、1/2、1ステップに変更可能)、Bulb、 Time、X250 	
交換レンズ シャッター 型式 シャッター スピード フラッシュ同調 シャッター	 ・G、EまたはDタイプレンズ(PCレンズー部制限あり) ・G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ(IX用レンズ、F3AF 用レンズ使用不可) ・Pタイプレンズ ・Pタイプレンズ ・DXレンズ(撮像範囲は [DX (24×16)]) ・非CPUレンズ(ただし、非AIレンズは使用不可):露出モー ドA、Mで使用可能 ・開放F値がF5.6以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 能。ただしフォーカスポイント15点(選択可能9点)は、F8 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可能。 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先 幕シャッター(静音撮影、静音連続撮影、ミラーアップ撮影時) 1/8000~30秒(1/3、1/2、1ステップに変更可能)、Bulb、 Time、X250 X=1/250秒、1/250秒以下の低速シャッタースピードで同調 ・オートEPリイスピードで同調 	

_			
l			
		S(1コマ撮影)、CL(低速連続撮影)、CH(高速連続撮影)、	
	レリーズモード	Q(静音撮影)、QC(静音連続撮影)、〇(セルフタイマー撮	
		影)、 MUP (ミラーアップ撮影)	
		• EN-EL15a使用時、マルチバワーバッテリーパックMB-D18	
		(電源がEN-EL15aまたは単3形電池の場合)使用時、およ	
		びパワーコネクターとACアダプター使用時	
		CL:約1~6コマ/秒	
		CH:約7コマ/秒	
	連続撮影速度	Qc:約3コマ/秒	
		• マルチパワーバッテリーパックMB-D18 (電源がEN-EL18c	
		の場合)使用時	
		CL :約1~8コマ/秒	
		CH :約9コマ/秒	
		Qc :約3コマ/秒	
	セルフタイマー	作動時間:2、5、10、20秒、撮影コマ数:1~9コマ、	
		連続撮影間隔:0.5、1、2、3秒	
Engl	露出制御		
	测光方式	180Kピクセル (約180,000ピクセル) RGBセンサーによるTTL	
	NG) L) T	開放測光方式	
		• マルチパターン測光: 3D-RGB マルチパターン測光Ⅲ(G、	
		EまたはDタイプレンズ使用時)、RGBマルチパターン測光	
		III(その他のCPUレンズ使用時)、RGBマルチパターン測光	
		(非CPUレンズのレンズ情報手動設定時)	
		 中央部重点測光: φ12 mm相当を測光(中央部重点度約 	
		75%)、 <i>ϕ</i> 8 mm、 <i>ϕ</i> 15 mm、 <i>ϕ</i> 20 mm、画面全体の平均	
	測光モード	のいずれかに変更可能(非CPUレンズおよびAF-S Fisheye	
		NIKKOR 8–15mm f/3.5–4.5E ED使用時は Ø 12 mm)	
		• スポット測光:約 φ4 mm相当(全画面の約1.5%)を測光、	
		フォーカスポイントに連動して測光位置可動(非CPUレン	
		ズおよび AF-S Fisheye NIKKOR 8–15mm f/3.5–4.5E ED使	
		用時は中央に固定)	
		• ハイライト重点測光:G、EまたはDタイプレンズ使用時のみ	
		• マルチパターン測光、中央部重点測光:-3~20 EV	
	測光範囲	• スポット測光: 2~20 EV	
	測元郫田	• ハイライト重点測光: 0~20 EV	
		※ ISO 100、f/1.4レンズ使用時、常温20℃	
	露出計連動	CPU連動方式、AI方式併用	

露出制御		
露出モード	P:プログラムオート(プログラムシフト可能)、S:シャッ	
вещст	ター優先オート、A:絞り優先オート、M:マニュアル	
露出補正	範囲:±5段、補正ステップ:1/3、1/2、1ステップに変更可能	
AEロック	輝度値ロック方式	
	ISO 64~25600(1/3、1/2、1ステップ)、ISO 64に対し	
ISO感度	約0.3、0.5、0.7、1段(ISO 32相当)の減感、	
(推奨露光指数)	ISO 25600に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段(ISO 102400相	
	当)の増感、感度自動制御が可能	
アクティブ	オート より強め 強め 標準 弱め しない	
D-ライティング		
オートフォーカス		
	TTL位相差検出方式:フォーカスポイント153点(選択可能55点)	
	• クロスタイプセンサー 99点(選択可能35点)	
方式	• F8対応15点(選択可能9点)	
	マルチCAM20Kオートフォーカスセンサーモジュールで検	
	出、AF微調節可能	
検出範囲	-4~+20 EV(ISO 100、常温(20℃))	
	• オートフォーカス:シングルAFサーボ (AF-S) またはコン	
レンズサーボ	ティニュアスAFサーボ(AF-C)、被写体条件により自動的	
	に予測駆動フォーカスに移行	
	 マニュアルフォーカス(M):フォーカスエイド可能 	
フォーカス	フォーカスポイント153点	
ポイント	• AF55 点設定時: 55 点のフォーカスポイントから選択可能	
	• AF15点設定時: 15点のフォーカスポイントから選択可能	
	シングルポイントAFモード、ダイナミックAFモード(9点、	
AFエリアモード	25点、72点、153点)、3D-トラッキング、グループエリアAF	
	モード、オートエリアAFモード	
フォーカスロック	サフセレクターの中央押し、またはシングルAFサーボ(AF-S)	
	時にシャッターボタン半押し	
フラッシュ		
	180Kピクセル(約180,000ピクセル) RGB センサーによる	
調光方式	TTL調光制御:i-TTL-BL調光(マルチパターン測光、中央部重	
u-3,7 U7 J 2 V	点測光またはハイライト重点測光)、スタンダードi-TTL調光	
	(スボット測光)可能	
フラッシュ	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、	
モード	赤目軽減スローシンクロ、後幕スローシンクロ、発光禁止	
調光補正	範囲:-3~+1段、補正ステップ:1/3、1/2、1ステップ	

フラッシュ		
レディーライト	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光によ る露出警告時は点滅	
アクセサリー	ホットシュー(ISO 518)装備:シンクロ接点、通信接点、	
シュー	セーフティーロック機構(ロック穴)付	
ニコン クリエイティブ ライティング システム	i-TTL調光、電波制御アドバンストワイヤレスライティング、 光制御アドバンストワイヤレスライティング、モデリング発 光、FVロック、発光色温度情報伝達、オートFPハイスピード シンクロ、マルチポイントAF補助光、ユニファイドフラッ シュコントロール	
シンクロ ターミナル	シンクロターミナル(ISO 519)装備(外れ防止ネジ付)	
ホワイトバランス		
ホワイトバランス	オート(3種)、自然光オート、電球、蛍光灯(7種)、晴天、 フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル(6件登 録可、ライブビュー時にスポットホワイトバランス取得可 能)、色温度設定(2500K~10000K)、いずれも微調整可能	
ブラケティング		
ブラケティング	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	
ブラケティング ブラケティング ライブビュー機能	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	
ブラケティング ブラケティング ライブビュー機能 撮影モード	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング ▲ (静止画ライブビュー)モード、陳 (動画ライブビュー) モード	
プラケティング ブラケティング ライブビュー機能 撮影モード レンズサーボ	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	
プラケティング ブラケティング ライブビュー機能 撮影モード レンズサーボ AFエリアモード	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	
プラケティング ブラケティング ライブビュー機能 撮影モード レンズサーボ AFエリアモード フォーカス	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	
プラケティング ブラケティング ライブビュー機能 撮影モード レンズサーボ AFエリアモード フォーカス 動画機能	AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバ ランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケ ティング	

測光モード	マルチパターン測光、	中央部重点測光、	ハイライト重点測光

	動画機能			
		• 3840×2160 (4K UHD) : 30p/25p/24p		
		• 1920×1080 : 60p/50p/30p/25p/24p		
		• 1280×720 : 60p/50p		
	記録画素数/	• 1920×1080スロー: 30p(4倍)/25p(4倍)/24p(5倍)		
	フレームレート	※ 60p: 59.94fps、50p: 50fps、30p: 29.97fps、25p: 25fps、		
		24p : 23.976fps		
		※ 標準/★高画質選択可能(3840×2160は★高画質のみ、		
		1920×1080スローは標準のみ)		
	ファイル形式	MOV、MP4		
	映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC		
	音声記録方式	リニアPCM、AAC		
	绿杏茫罴	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定		
	政日 衣臣	可能		
		• M∶ISO 64~25600 (1/3、1/2、1ステップ)、ISO 25600に		
		対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段(ISO 102400相当)の増感、		
	ISO感度	感度自動制御(ISO 64~Hi 2)が可能、制御上限感度が設		
	(推奨露光指数)	定可能		
		• P、S、A:感度自動制御(ISO 64~Hi 2)、制御上限感度が		
		設定可能		
	アクティブ	海止雨の設定と同じ、上り強め、強め、標準、弱め、したい		
	D-ライティング			
	その他の機能	インデックスマーク、タイムラプス動画、電子手ブレ補正		
Ī	画像モニター			
	両像モーター	チルト式3.2型TFT液晶モニター(タッチパネル)、約236万		
	画家モーノ	ドット(XGA)、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能		
Ŧ	再生機能			
		1コマ再生、サムネイル(4、9、72分割)、拡大再生、拡大再生		
	百七機能	中のトリミング、動画再生、スライドショー(静止画/動画選択		
	++3工1成用2	再生可能)、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表		
		示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング		
	インターフェース			
		SuperSpeed USB (USB 3.0 Micro-B端子) (標準装備された		
	038	USBポートへの接続を推奨)		
	HDMI出力	HDMI端子(Type C)装備		
	外部マイク入力	ステレオミニジャック(ゆ3.5mm)、プラグインパワーマイ		
		ク対応		
	ヘッドホン出力	ステレオミニジャック(φ3.5 mm)		

インターフェース			
	10ピンターミナル	あり(別売リモートコードMC-30A/MC-36Aなど使用可能)	
١	Wi-Fi(無線LAN)・Bluetooth		
		• 準拠規格: IEEE802.11b、IEEE802.11g	
	Wi_Ei	• 周波数範囲(中心周波数): 2412~2462 MHz (1~11ch)	
	VVI-FI	• 出力:1.6dBm(EIRP)	
		• 認証方式:オープンシステム、WPA2-PSK	
		• 通信方式: Bluetooth標準規格 Ver.4.1	
		• 周波数範囲(中心周波数):	
		Bluetooth: 2402~2480 MHz	
	Bluetooth	Bluetooth Low Energy:2402~2480 MHz	
		• 出力(EIRP):	
		Bluetooth:-0.4dBm	
		Bluetooth Low Energy:-0.4dBm	
	通信距離 (見通し)	約10 m*	
		※ 電波干渉がない場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などに	
		より影響されます。	
11			
	表示言語	日本語、英語	
20	電源		
		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15a* 1個使用	
		※ EN-EL15aの代わりに EN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15 も使	
	(古田市)山		

使用電池	えます。ただし、EN-EL15を使用したときはEN-EL15c/
	EN-EL15b/EN-EL15aを使用したときよりも撮影可能コマ
	数(電池寿命)が減少する場合があります(口 356)。
	マルチパワーバッテリーパックMB-D18(別売):Li-ionリチャー
	ジャブルバッテリー EN-EL18c(別売)**1またはEN-EL15a**2
	1個使用。単3形電池(アルカリ電池、ニッケル水素充電池、リ
	チウム電池)8本使用
	※1 別売のバッテリーチャージャー MH-26a または MH-26
	と、別売のバッテリー室カバー BL-5 が必要です。また、
	EN-EL18cの代わりにEN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18も
N979-N99	使えます。EN-EL18を使用した場合は、EN-EL18c/
	EN-EL18b/EN-EL18aを使用したときよりも撮影可能コ
	マ数(電池寿命)が減少します(四356)。
	※2 EN-EL15aの代わりにEN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15も使
	えます。ただし、EN-EL15を使用したときはEN-EL15c/
	EN-EL15b/EN-EL15aを使用したときよりも撮影可能コ
	マ数(電池寿命)が減少する場合があります(□□356)。

Ē	電源		
		ACアダプター EH-5c/EH-5b(パワーコネクター EP-5Bと組	
	AC/9/9-	み合わせて使用)(別売)	
	三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)	
7	寸法・質量		
	寸法(W×H×D)	約146×124×78.5 mm	
	低量	約1005g(バッテリーおよびXQDカードを含む、ボディー	
	貝里	キャップを除く)、約915g(本体のみ)	
動作環境			
	温度	0℃~40℃	
	湿度	85%以下(結露しないこと)	

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA(カメラ映像機器工業会)規 格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ バッテリーチャージャー MH-25a

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、0.23–0.12 A
定格入力容量	21–28VA
充電出力	DC 8.4 V、1.2 A
適応充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c/EN-EL15b/ EN-EL15a/EN-EL15
充電時間	約2時間35分 ※ 残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃)
使用温度	0°C~40°C
寸法(W×H×D)	約95×33.5×71 mm(突起部除く)
質量	約115g(電源プラグ(直付け型)を除く)

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

~ AC (交流)、--- DC (直流)、 □ クラス I 機器 (二重絶縁構造)

■ Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15a

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.0 V、1900 mAh
使用温度	0℃~40℃
寸法(W×H×D)	約40×56×20.5 mm
質量	約78g(端子カバーを除く)
🖉 このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0: 各社のデジタ ルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- Exif Version 2.31: (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras): デジタルカメラとブリンターの連携を強化し、高品質なプリント 出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターを お使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge:デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証 するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷 するための標準規格です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface):家庭用電化製品および AV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつな ぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

🖉 商標説明

- XQDはソニー株式会社の商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、iPhone®、iPad®、iPod touch®、Mac、macOS およびOS Xは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社 (<u>https://www.aiphone.co.jp/</u>)のラ イセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle Play および Google Play □ゴは、Google LLC の商標で す。Android □ボットは、Google が作成および提供している作品から複製ま たは変更したものであり、Creative Commons 3.0 Attribution ライセンスに 記載された条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- PictBridge は、CIPA(カメラ映像機器工業会)の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HOMI

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

🖉 認証マークの表示

セットアップメニューの [**認証マークの表示**] では、このカメラが取得してい る認証マークの一部を確認できます(ロ267)。

✓ 認証 ● México

IFETEL: RCPMULB16-0363 LBEE5UW1FS

Módulo WLAN instalado adentro de esta computadora La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

• Maroc/

المغرب

AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément : MR 14372 ANRT 2017 Date d'agrément : 20/07/2017

• Paraguay

Número del Registro: 2016-01-I-0000022

Este producto contiene un transmisor aprobado por la CONATEL.

• Uruguay

URSEC: No165/DAE/2016

D850 contiene LBEE5UW1FS con aprobación de la URSEC.

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<u>https://www.freetype.org</u>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属 します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2017 The HarfBuzz Project (<u>https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz</u>) のものです。す べての権利はその所有者に帰属します。

• عُمان

OMAN-TRA R/4615/17 D090024

• الإمارات العربية المتحدة

TRA REGISTERED No: ER45171/16 DEALER No: DA39487/15

• Indonesia



AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR使用説明書

このカメラとAF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VRをレンズキットで ご購入の場合は、こちらをレンズの使用説明書としてお使いください。

国または地域によっては、レンズキットを販売していない場合があります。

■ 各部名称

AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VRの各部名称は次の通りです。



■ ピント合わせの方法

ご使用のカメラや撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択 できます。

カメラの	レンズのフォーカスモード		
フォーカスモード	M/A	М	
AE (A/S/C)	マニュアル優先	マニュアルフォーカス	
AF (AVS/C)	オートフォーカス	(フォーカスエイド可)	
MF	マニュアルフォーカス(フォーカスエイド可)		

カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧くだ さい。

M/A(マニュアル優先オートフォーカスモード)の使い方

- 1レンズのフォーカスモード切り換えスイッチを [M/A] にセットします。
 2 AF (オートフォーカス) 撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはAF作動(AF-ON) ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させると、瞬時にMF(マニュアルフォーカス) 撮影が行えます。
- 3カメラのシャッターボタンの半押しやAF作動ボタンを再度操作する とAF(オートフォーカス)で撮影が可能となります。

■ ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリングを回転させ(焦点距離が変化します) 構図を決めてから、ピント合わせを行ってください。プレビュー(絞り 込み)機構を持つカメラでは、撮影前に被写界深度を確認できます。

- このレンズはIF(ニコン内焦)方式を採用しています。IF 方式は、撮 影距離が短くなるにしたがって焦点距離が短くなります。
- 距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。また、遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。

■ 絞り値の設定

絞り値は、カメラ側で設定してください。

■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

このレンズの装着時にカメラの内蔵フラッシュを使用する場合は、次の ことにご注意ください。

- •内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は約0.6mです。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
 ※ カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえ

ぎられて影になり、写真に写り込む現象です。





 次のカメラに装着するとケラレが発生する可能性があるため、下記の 焦点距離や撮影距離で使用してください。

デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D750(FXフォーマット時)/	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離2.0m以上
D610(FX フォーマット時)/ D600(FX フォーマット時)	 ・ 焦点距離28mm では撮影距離1.0m以上 ・ 作ら距離50mm以上は制約なし。
D810 (FXフォーマット時) / D800シリーズ (FXフォーマット時)	 ・ 焦点距離28mmでは撮影距離1.0m以上 ・ ・ ・
D700(FXフォーマット時)	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離3.0m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし
D300シリーズ/D200/D100	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1.0m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし
D90/D80/D70シリーズ/D50	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし
D5600/D5500/D5300/D5200/ D5100/D3300/D3200	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上 ・ 焦点距離28mm以上は制約なし
D5000/D3100/D3000/D60/ D40シリーズ	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離2.5m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし
D3400	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上 ・ 焦点距離28mmでは撮影距離1.0m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし

AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR使用説明書 347

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正スイッチの使い方

ON:シャッターボタンを半押しすると、手ブレを補正します。ファインダー像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。

OFF:手ブレを補正しません。

手ブレ補正モード切り換えスイッチの使い方

手ブレ補正スイッチを [ON] にし、手ブレ補正モード切り換えスイッチ を設定します。

NORMAL:主に、通常の手ブレを補正します。流し撮りでも手ブレを 補正します。

ACTIVE:乗り物に乗っている等、揺れの激しい条件でのブレから通常の手ブレまで補正します。このモードでは流し撮り自動検出は行いません。

▶ 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することを おすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動く ことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りする場合は、必ずNORMALモードにしてください。NORMALモードでは、流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源をOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください(その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源を再度ONにすれば、音は消えます)。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中は、手ブレ補正は行いません。
- AF作動(AF-ON)ボタンのあるカメラで、AF作動ボタンを押しても、手ブレ 補正は作動しません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFF にしてください。ただし、 三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチ をONにすることをおすすめします。

■フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け方



- フード脱着指標(●)とフードセット指標(一○)が合っていること を確認してください(③)。
- フードの先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、
 フード取り付け指標(↓)
)付近を持って回転させてください。
- •フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレを生じますの でご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ 付属アクセサリー

- •77mmスプリング式レンズキャップLC-77
- 裏ぶた LF-4
- バヨネットフード HB-53
- ソフトケース CL-1218

■ 別売アクセサリー

•77 mmネジ込み式フィルター



型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-Sレンズ
焦点距離	24 mm-120 mm
最大口径比	1:4
レンズ構成	13群17枚(EDレンズ2枚、非球面レンズ3枚、ナノクリ
	スタルコート)
面角	84º-20º20′(FXフォーマットのデジタル一眼レフカメラ)
	61º-13º 20′ (DXフォーマットのデジタル一眼レフカメラ)
焦点距離目盛	24、28、35、50、70、85、120 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF (ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォー
	カス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
撮影距離目盛	∞~0.45 m
最短撮影距離	撮像面から0.45 m(ズーム全域)
絞り羽根枚数	9枚(円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	f/4–22
測光方式	開放測光
アタッチメント	77 mm (D 0.75 mm)
サイズ	// IIIII (P=0.75 IIIII)
寸注	約84 mm(最大径)× 103.5 mm(レンズマウント基準
איני	面からレンズ先端まで)
質量	約710 g

• 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

•本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

▶ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店または ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、 柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズ クリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きむら、拭 き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、ニュートラルカラーNCをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご 注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

使用できるメモリーカード

III XQDカード

- XQDカードが使用できます。
- 動画撮影には、最大 45MB/s (300 倍速)以上の転送速度を持つメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、 動画の記録が途中で終了したり、カメラでの動画再生がスムーズに行われないことがあります。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、メモリーカードメーカーにご相談ください。

■SDカード

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカー ドが使用できます。
- UHS-IおよびUHS-IIに対応しています。
- •動画の撮影には、UHSスピードクラス3以上のカードをお ズ II すすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の記録が途中で終了 することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各 カードメーカーにお問い合わせください。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

撮像範囲(¹¹²81)、画質モード(¹¹²86)、画像サイズ(¹¹²89)の組み 合わせによって、64GBのメモリーカードに記録できるコマ数、および 連続撮影できるコマ数は、次のようになります^{×1}。ただし、カードの種 類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

■ [撮像範囲設定] が [FX (36×24)] の場合*2

面質モード	画像	1コマあたりの	記録可能	連続撮影可能
	サイズ	ファイルサイズ	コマ数*3	コマ数※3、4
	L	約41.5 MB	763コマ	170그マ
NAW (ロスレス圧縮NAW) 12ビット記録)	Μ	約30.0 MB	1000コマ	94コマ
	S	約21.9 MB	1400コマ	56コマ
RAW(ロスレス圧縮RAW/	I	約516 MB	580 77	5177
14ビット記録)	L	101010	5052	512 (
RAW(圧縮RAW/	1	約34.2 MB	1000 77	200 7 7
12ビット記録)		*551.2100	1000 - 1	2003 (
RAW (圧縮RAW/	1	約43.8 MB	865 - 2	74コマ
14ビット記録)		4910101110	000 - 1	
RAW(非圧縮RAW/	L	約70.3 MB	763コマ	55コマ
12ビット記録)				
RAW(非圧縮RAW/	L	約92.0 MB	589コマ	29コマ
14ヒット記録)				
	L	約134.6 MB	408コマ	32コマ
TIFF (RGB)	M	約76.6 MB	718コマ	35コマ
	S	約34.9 MB	1500コマ	39コマ
	L	約22.0 MB	1900コマ	200コマ
FINE ^{*5}	М	約12.6 MB	3200コマ	200コマ
	S	約6.6 MB	6700コマ	200コマ
	L	約11.5 MB	3800コマ	200コマ
NORMAL*5	M	約6.8 MB	6400コマ	200コマ
	S	約3.4 MB	13000コマ	200コマ
	L	約4.2 MB	7400コマ	200コマ
BASIC ^{*5}	М	約2.8 MB	12500コマ	200コマ
	S	約1.8 MB	24500コマ	200コマ

■ [撮像範囲設定] が [DX (24×16)] の場合*6

画館モード	画像	1コマあたりの	記録可能	連続撮影可能
	サイズ	ファイルサイズ	コマ数*3	コマ数※3、4
	L	約19.4 MB	1700コマ	200コマ
KAW (ロスレス圧相KAW) 12ビット記録)	Μ	約14.1 MB	2300コマ	200コマ
	S	約11.0 MB	3000コマ	200コマ
RAW(ロスレス圧縮RAW/	I	約23.0 MB	1300 77	20077
14ビット記録)	L	#JZJ.9 MD	1300 - 1	200 - 1
RAW (圧縮RAW/	1	約15 Q MB	220077	20072
12ビット記録)	L	10.010	2300 - 1	20031
RAW(圧縮RAW/	1	約198 MB	1900 77	20077
14ビット記録)	-	*515.0 110	1900 - 1	200= 1
RAW(非圧縮RAW/		約30.8 MB	1700コマ	200コマ
12ビット記録)				
RAW(非圧縮RAW/	L	約40.2 MB	1300그マ	200コマ
14ビット記録)				
	L	約58.4 MB	936コマ	113그マ
TIFF (RGB)	Μ	約33.3 MB	1600그マ	200コマ
	S	約15.6 MB	3400コマ	200コマ
	L	約10.1 MB	4200コマ	200コマ
FINE ^{*5}	Μ	約6.2 MB	6900コマ	200コマ
	S	約3.4 MB	12900コマ	200コマ
	L	約5.3 MB	8200コマ	200コマ
NORMAL*5	Μ	約3.3 MB	13500コマ	200コマ
	S	約1.8 MB	24500コマ	200コマ
	L	約2.4 MB	15900コマ	200コマ
BASIC ^{*5}	Μ	約1.7 MB	25100コマ	200コマ
	S	約1.0 MB	43100コマ	200コマ

※1 Sony QD-G64EのXQDメモリーカードを使用した場合(2017年9月現在)

※2 [撮像範囲] の [**DX自動切り換え**] が [する] でDXレンズ以外のレンズを装 着した場合を含みます。

※3 撮影条件により、記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数は増減することがあります。

- ※4 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。 次のような場合などには、連続撮影可能コマ数は減少します。
 - ・
 [画質モード]で画質を優先した([★] が付いた)項目に設定してJPEG画像を撮影した場合
 - [自動ゆがみ補正] (ロ246) を [する] に設定した場合
- ※51コマあたりのファイルサイズおよび記録可能コマ数は、[画質モード]で サイズを優先した([★]が付いていない)項目に設定されている場合です。 画質を優先した([★]が付いた)項目に設定した場合、記録可能コマ数は減少します。
- ※6 [撮像範囲]の[DX自動切り換え]が「する]でDXレンズを装着した場合を 含みます。

 ② カスタムメニュー d2 [連続撮影コマ数] (□256) カスタムメニュー d2 [連続撮影コマ数] では、連続撮影時の連続撮影コマ数を 1~200コマの範囲で設定できます。

撮影可能コマ数(電池寿命)について

カメラ単体または別売のマルチパワーバッテリーパックMB-D18装着時の撮影可 能コマ数(電池寿命)は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数(1コマ撮影モード): CIPA基準準拠*1
 約1840コマ(カメラ本体でLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL15a*2使用時)
 約1840コマ(MB-D18を装着してEN-EL15a*21個使用時)
 約3300コマ(MB-D18を装着してEN-EL18c*31個使用時)
 約1740コマ(MB-D18を装着してアルカリ単3形電池使用時)
- 撮影可能コマ数(連続撮影モード):当社試験条件*4
 約4030コマ(カメラ本体でEN-EL15a*2使用時)
 約4030コマ(MB-D18を装着してEN-EL15a*21個使用時)
 約7700コマ(MB-D18を装着してEN-EL18c*31個使用時)
 約2960コマ(MB-D18を装着してアルカリ単3形電池使用時)

• 動画記録可能時間※5

約70分 (カメラ本体でEN-EL15a*2使用時) 約70分 (MB-D18を装着してEN-EL15a*2使用時) 約145分 (MB-D18を装着してEN-EL18c*3使用時) 約65分 (MB-D18を装着してEN-D1単3形電池使用時)

- ※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォー カシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。装着レンズ AF-S NIKKOR 24–120mm f/4G ED VR、温度23(±2)℃。
- ※2 EN-EL15a の代わりに EN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15 も使えます。ただし、 EN-EL15を使用したときはEN-EL15c/EN-EL15b/EN-EL15aを使用したときよ りも撮影可能コマ数(電池寿命)が減少する場合があります。
- ※3 別売のバッテリーチャージャー MH-26a または MH-26 と、バッテリー室カ バー BL-5 が必要です。EN-EL18cの代わりにEN-EL18b/EN-EL18a/EN-EL18 も使えます。EN-EL18を使用した場合、EN-EL18c/EN-EL18b/EN-EL18aを使 用したときよりも撮影可能コマ数(電池寿命)が減少します。
- ※4 画質モードNORMAL、画像サイズL、シャッタースピード1/250秒、シャッターの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、画像モニターを5秒間点灯させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR (VR機能OFF)、温度23(±2)℃。
- ※5 電池寿命測定方法を定めたCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による実撮影電池 寿命です。装着レンズAF-S NIKKOR 24–120mm f/4G ED VR、温度23 (±2)℃。 カメラは初期設定状態。
 - 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は29分59秒です。
 - -1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
 - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画記録が終了することがあります。

※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が異なります。また、単3形電池使用時は、銘柄や保管状態により撮影可能コマ数が減少することがあります。単3形電池は、銘柄によっては使用できないこともあります。

次の場合などはバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビューなどで画像モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- •オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAW、TIFF(RGB)に設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- BluetoothおよびWi-Fi(無線LAN)機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合
- AF-Pレンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15aの性能を最大限に発揮させるため、 次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しない まま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

索引

マーク・英数字

P (プログラムオート)123,124
S (シャッター優先オート)… 123, 125
A (絞り優先オート)123,126
M (マニュアル)123,128
S (1コマ撮影)110
CL (低速連続撮影)110
CH (高速連続撮影)110
Q (静音撮影)110
⊙ (セルフタイマー撮影) 111,113
MUP (ミラーアップ撮影)111,115
[17] (シングルポイントAF)98,101
(ダイナミックAF)
€:∃ (グループエリアAF)
🕮 (オートエリアAF)
🕲 (顔認識AF)40
疑 (ワイドエリアAF)40
闘 (ノーマルエリアAF)40
聞 (ピンポイントAF)40
● (ターゲット追尾AF)40
◙ (マルチパターン測光)121,255
◉ (中央部重点測光)121,255
● (スポット測光)121
Fn (ファンクション) ボタン
Pv (プレビュー)ボタン
Left (インフォ) ボタン54, 69, 198
i ボタン44, 61, 202, 222
₪ (ライブビュー) ボタン
🗲 (連続撮影可能コマ数) 112,353
↓使用時の感度自動制御259
↓使用時の感度自動制御(感度自動
制御)119

☆スイッチの機能	.261
1:1 (24×24) (撮像範囲)	, 85
10ピンターミナル2,215,	288
12ビット記録	88
14ビット記録	88
180Kピクセル(約180,000ピクセ	ル)
RGBセンサー184, 335,	336
1.2× (30×20) (撮像範囲)81	, 85
1コマ撮影	.110
1コマ表示	.217
2点拡大	5, 47
3D-RGBマルチパターン測光III	.122
3D-トラッキング	98
3D-トラッキングの顔認識	.253
3D-トラッキングの捕捉領域	.253
5:4 (30×24) (撮像範囲)	, 85
ACアダプター	.287
ADLブラケティング(オート	
ブラケティングのセット)	.148
Adobe RGB (色空間)	.245
AE-Lマーク	.135
AE・フラッシュブラケティング	
(オートブラケティングのセット	•)
	.141
AEブラケティング(オート	
ブラケティングのセット)	.141
AEロック	.135
AF-C (コンティニュアスAFサー	ť)
	253
AF-Cモード時の優先	.253
AF-F (常時AFサーボ)	38
AF-ONボタン97,	254
AF-S(シングルAFサーボ)	
	253
AF-Sモード時の優先	.253

AFTUアモード 40.98	254
AFTIアモードの限定	25/
AF設定時のフォーカフリング撮作	.2J- :
AF設定時のフォ カスランフ採FF	255
∧□占物扣り協う	255
	200
	204
AFL I	254
AFE 「の制限	100
AF L 1・ホラン	252
RASIC	.233 86
	06
DASIC ■ DVTの順度	ou
BKT変化亜素 (Mモード)	200
BKTボクン 1/1 1/5 1/9	190
Bluetooth	267
	120
Camera Control Pro 2	287
	20,
	27-
DCE Version 2.0	341
DX (24×16) (場像範囲) 81 83) 84
DX (24×10) ()取除地回)…01,02 DX 白動切り換え (場像範囲)	2, OL 81
	02
ロメベースの (動画) フォーマット	
	275
D-ライティング	260
Exif Version 2.31	.341
Fvo-Fi关信機能	267
Eye 112日12月11日	207
FINE	
FINE★	86
FVロック	191
FX (36×24) (撮像範囲) 81	1 84
	81
FXベースの(動画)フォーマット	
	64
Gタイプレンズ	275
07 17 07 77	- / -

HDMI (High-Definition Multimedia
Interface)
HDR(ハイダイナミック
レンジ)177
Hi (ISO感度)117
H.264
ISO感度116, 118, 250, 255
ISO感度設定250
ISO感度設定ステップ幅255
ISO感度表示257
i-TTL調光184,280
JPEG
JPEG/TIFF記録90
Li-ionリチャージャブルバッテリー
ii, 13
Lo (ISO感度)117
L (画像サイズ)
MB-D18261, 267, 268, 287, 290
MB-D18電池設定
MB-D18のボタンの機能261
M (画像サイズ)
M (マニュアルフォーカス)43,108
NEF
NORMAL
NORMAL*
NX Studioii
PictBridge (ピクトブリッジ)341
PRE(プリセットマニュアル)
RAW
RAW+JPEG分割記録(副スロットの
機能)91
RAW圧縮 (RAW記録)
RAW記録
RAW現像
RGBヒストグラム表示226
RGBマルチパターン測光
SDカード15,352

15
39
6
. ii
5
15
15 57
15 57 57

ア

アイビース
アイピースシャッターレバー8,11
アオリ効果
赤目軽減
赤日補正 260
明るさ(ピクチャーコントロール)
17
(使用できるアクセサリー)
アクセサリーシューカバー
アクティブD-ライティング
アクティブD-ライティング
フフケティンク
フラケティンク148 圧縮RAW
フラケティンク14 圧縮RAW
フラケティンク143 圧縮RAW
ファケティンク
フラケティンク
フラケティンク
フラケティンク
フラケティンク144 圧縮RAW
フラケティンク144 圧縮RAW
フラケティンク144 圧縮RAW
フラケティンク
フラケティンク
フラケティンク

色温度設定	152
色空間	
色の濃さ(彩度)	
(ピクチャーコントロール)	
インジケーターの+/-方向	
インターバルタイマー撮影	
インデックスマーキング	60
インフォ画面	198, 264
インフォ画面の表示設定	
ヴィネットコントロール	
オート(ピクチャーコントロ	ール)
	170
オート(ホワイトバランス)	
	151, 154
オートエリアAF	99, 101
オートフォーカス	
	105, 107
オートブラケティング	140, 247
オートブラケティングのセッ	۲
	140, 247
音量調節	

カ

カードなし時レリーズ	268
カードの初期化(フォーマット)
	263
外部マイク2,6	8, 288
開放F値21	2, 275
開放絞り21	2, 275
顔認識	255
顔認識AF	40
画角	278
拡大表示	232
画質モード	
カスタムピクチャーコントロー	ル
	5, 250
カスタムボタンの機能26	60, 262
カスタムメニュー	253

カスタムメニューの管理	.253
風切り音低減62,	251
画像合成	.270
画像コピー	.242
画像コメント	.265
画像サイズ	89
画像サイズ/フレームレート61	I, 65
画像情報	.223
画像編集	.222
画像編集メニュー	.269
画像モニター9,217,256,	263
傾き補正	.269
カメラ設定の保存と読み込み	.268
カメラの初期化	.268
簡易トリミング	.232
感度自動制御	.118
基準露出レベルの調節	.256
機内モード	.266
距離基準マーク	.109
記録可能コマ数	.353
記録ビットモード(RAW記録)	88
記録フォルダー設定	.243
クイック調整	.173
クリーニングミラーアップ	.305
グループエリアAF99,	101
クロスセンサー	93
蛍光灯(ホワイトバランス)	.152
言語 (Language)	.263
現在地の設定(地域と日時)	21
光学手ブレ補正	.258
高感度(Hi)	.117
高感度ノイズ低減	.246
高速連続撮影	.110
このタブの機能変更	.271
コマ送り	75
コマンドダイヤルの設定	.261
コンティニュアスAFサーボ (AF-	C)
	96

コントラスト	
(ピクチャーコントロール)17	'3

サ

最小絞り19,	123
サイズ	269
再生	217
再生画面設定	.241
再生フォルダー設定	.241
再生メニュー	.241
サイレント撮影	5, 48
先幕シンクロモード	.187
削除	238
削除後の次再生画像	.242
撮影画面サイズ	.278
撮影情報	.228
撮影直後の画像確認219,	242
撮影メニュー243,	249
撮像範囲	1, 81
撮像範囲設定44	1, 61
サブセレクター105,	135
サマータイム (夏時間)	21
サムネイル	.217
自然光オート(ホワイトバランス)
	.151
自動ゆがみ補正	.246
視度調節機能8,	287
絞り値123, 126,	133
絞り値のロック133,	260
絞り優先オート	.126
シャッタースピード123, 125,	133
シャッタースピードのロック	
	260
シャッターボタン31,105,135,	191
シャッターボタンAEロック	.256
シャッター優先オート	.125
主スロットの選択	.243
順次記録(副スロットの機能)	91

常時AFサーボ (AF-F)
焦点距離の設定
焦点距離目盛
初期化 (フォーマット)
シングルAFサーボ (AF-S)
シングルポイントAF
シンクロターミナル
水準器
推奨メモリーカード
スタンダードi-TTL調光184,280
スタンダード
(ピクチャーコントロール)170
スピードライト
スポット測光121
スポットホワイトバランス
スマートフォンと接続
スマートフォンへの自動送信
スマートフォンへの送信指定
スマートフォンへの送信指定/解除
スムージング179
スライドショー
スローシンクロモード187
スローモーション動画
スロット/フォルダー指定メニュー
スロット切り換え168,218
制御上限感度(感度自動制御)119
静止画Lv画面のホワイトバランス
静止画撮影メニューの拡張
静止画撮影メニューの管理243
晴天 (ホワイトバランス)152
晴天日陰(ホワイトバランス)152
接眼補助レンズ
設定の保存
セットアップメニュー
セルフタイマー113,256
全押し (シャッターボタン)

全画像削除	239
選択画像削除	239
測光モード	121

タ

ターゲット追尾AF		40
ダイナミックΔF	98	101
タイマー (セルフタイマー)	90,	101
	113	256
タイム撮影 (長時間霞出)	,	130
タイトラプス動画		252
多重露出		247
クッチシャッター		
タッチ操作	.11.	220
縱位置自動回転		242
縦横位置情報の記録		242
縦/横位置フォーカス切換		254
地域と日時	20,	263
チャージャー		13
着脱指標		344
中央部重点測光	121,	255
中央部重点測光範囲		255
中央ボタンの機能		260
調光補正		189
長時間露出		130
調色(ピクチャーコントロー)	IV)	
	173,	174
長秒時ノイズ低減		246
著作権情報		265
チルト式画像モニター		9
ツーボタンリセット		203
低感度(Lo)		117
低速限界設定(感度自動制御))	119
低速連続撮影	110,	256
低速連続撮影速度		256
手ブレ補正スイッチ		348
電球 (ホワイトバランス)		151
電子音		265

電子先幕シャッター	44, 257
電子手ブレ補正	63, 251
電池チェック	
電池の使用順序	
動画	58, 74, 76
動画記録先	62, 249
動画記録ファイル形式	250
動画撮影ボタン	59
動画撮影メニューのリセッ	ト249
動画の画質	61, 65
動画編集	76, 80
動画ライブビュー	58
統合表示	231
同調シャッタースピード	259, 317
登録項目の削除	271
登録項目の順序変更	271
トリミング	269
曇天(ホワイトバランス)	152

ナ____

夏時間の設定(地域と日時)21
日時の設定(地域と日時)21
ニュートラル
(ピクチャーコントロール)170
認証マークの表示
ネガフィルムデジタイズ46, 51
ネットワーク267
ノーマルエリアAF40
ノイズ低減

Л

ハイダイナミックレンジ	177
ハイライト表示62,	262
ハイライト表示の明るさ設定	262
バックアップ記録(副スロットの	
機能)	91
発光禁止	187

発光モード(フラッシュ発光)	185
バッテリーii, 13, 15, 28,	340
バッテリーチャージャーii, 13,	340
バッテリーパック	287
バルブ撮影(長時間露出)	130
パワーオフ時間	256
パワーコネクター	287
半押しAFレンズ駆動	254
半押し(シャッターボタン)	31
半押しタイマー	256
非CPUレンズ212, 273,	275
ピーキング46,63,	258
ピーキングの検出46	63, 63
ピーキング表示色	258
非圧縮RAW	88
ピクチャーコントロール	170
被写界深度126,	127
ヒストグラム表示226,	227
日付と時刻を設定する	20
日付の表示順(地域と日時)	22
ビビッド	
(ピクチャーコントロール)	170
非表示設定	241
標準表示	224
ピンポイントAF	40
ファームウェアバージョン	268
ファイル名設定	243
ファインダー(視度調節)8,	287
ファインダー内格子線表示	258
ファインダーのマスク表示	82
フィルター効果	270
フィルター効果(ピクチャー	
コントロール)173,	174
風景(ピクチャーコントロール)	170
フォーカスエイド	109
フォーカスシフト撮影	248
フォーカスポイント	
	254
フォーカスポイント循環選択	254

フォーカスポイント表示の設定	
フォーカスモード 38 C	108
フォーカフモードセレクター	2,100
22 JAC FED22	100
	2,100
	8, 344
フォーカスロック(AFロック)	105
フォーマット(カードの初期化)
	263
副スロットの機能	91
ブラケティング 141, 145, 14	8, 247
フラッシュ	182
フラッシュ(ホワイトバランス) 152
フラッシュインフォ画面	
フラッシュ撮影同調速度	259
フラッシュ使用時の露出補正	259
フラッシュ時シャッターフピー	255 К
シリクシュロシャクシースに	250
	185
フラケティングのセット)	141
フラッシュモード18	7,188
フラット	
(ピクチャーコントロール)	170
フランジバック	109
プリセットマニュアル	
(ホワイトバランス)15	2, 159
フリッカー低減	7,251
フレームレート	
プログラムオート	124
プログラムシフト	124
プロテクト	234
クロンシー	62
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	270
帰来的後♡回隊衣小	270
	170
	170
ハタノ照明	3, 258
ホタンのホールド設定	261
ボディーキャップ	287
ホワイトバランス	151

ホワイトバランスブラケティング (WBブラケティング)......145

マ

マイク251,288
マイク感度61,251
マイメニュー
マイメニュー登録
マニュアル (露出)
マニュアルフォーカス
マルチセレクターによるパワー絞り
マルチセレクターによる露出補正…62
マルチセレクターの半押し起動261
マルチパターン測光121.255
ミラーアップ撮影
ミレッド
無線I AN
明瞭度(ピクチャーコントロール)
メニューガイド
メモリーカード 15.91.352
+テリンク発光
モデリング発光127,259 モニターの明るさ44.62
モテリンク発光127,259 モニターの明るさ
モデリンク発光127,255 モニターの明るさ44,62 モニターのカラーカスタマイズ263 モニターのパワーオフ時間
モデリンク発光127,255 モニターの明るさ44,62 モニターのカラーカスタマイズ263 モニターのパワーオフ時間256 モニター発光
モデリンク発光127,255 モニターの明るさ44,62 モニターのカラーカスタマイズ265 モニターのパワーオフ時間256 モニター発光184,192 モノクローム
モデリンク発光 127,255 モニターの明るさ 44,62 モニターのカラーカスタマイズ 265 モニターのパワーオフ時間 184,192 モノクローム (ピクチャーコントロール) 17(
モデリンク発光 127,255 モニターの明るさ 44,62 モニターのカラーカスタマイズ 265 モニターのパワーオフ時間 184,192 モノクローム (ピクチャーコントロール) 17(モノトン 27(

ヤ

ゆがみ補正	
ユニファイドフラッシュ	
コントロール	
予測駆動フォーカス	

ライブビュー	35, 58
ライブビュー撮影	35
ライブビューセレクター	35, 58
ライブビューボタンの設定	
リサイズ	
リセット	.203, 249
リモートコード	72, 288
リモコン (WR) 設定	
リモコン(WR)のFnボタン	の機能
輪郭強調(ピクチャーコント	ール)
	173
レーティング	.222, 235
レディーライト	.182, 337
レリーズモード	110
レンズ (使用できるレンズ).	272
レンズ情報手動設定	.212, 213
レンズの取り外し	19
レンズマウント	
連続撮影	.110, 111
連続撮影後の再生画像	242
連続撮影コマ数	256
連続撮影速度	256
連続撮影中の表示(Lv)	258
連動レリーズモード設定	257
連番モード	257
録音帯域	61, 251
露出121, 123, 135,	137, 140
露出インジケーター	129
露出差	179
露出設定ステップ幅	255
露出・調光補正ステップ幅	255
露出ディレーモード	257
露出プレビュー	36, 37
露出補正	.137, 255
露出補正簡易設定	

露出モード	1	23
ロスレス圧縮RAW		88

ワ

ワイドエリアAF	
ワイヤレスリモートコン	/トローラー
	72, 266, 287

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関(修理センター、ニコンプラザサービスセンター)、ご購入店、 または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

■インターネットでのお申込み

https://www.nikon-image.com/support/repair/

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/repair/

■ニコン ピックアップサービス

修理品梱包用資材のお届けから修理が完了した製品のご返送までをセットにした サービスです。全国一律の料金にて承ります(大きさや重さには制限があり、取り扱 いできない製品もあります)。

500 ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル 0120-02-8155

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日)

※ 上記フリーダイヤルは、修理のお申込み専用です。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いいたします。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内を、修理可能期間とさせて いただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニ コンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。ま た、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期 間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス 機関にお任せください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン 映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンブラザショールーム ナビダイヤル 0570-02-8080 ニコンブラザサービスセンター ナビダイヤル 0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

 ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLを ご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/showroom/



ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内



https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。「ニコンイメージング会員のご案内」ページからお手続きいただけます。 ニコンイメージング会員とは登録製品に関するサポート情報や、 お得で便利な会員特典^{**}などフォトライフをよりお楽しみいただ くための会員サービスです。この機会にぜひご登録ください。 **特典は登録製品ごとに異なります。

ニコンイメージングサポートページのご案内



https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報 をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、 定期的なアクセスをおすすめします。

■ 製品の使い方に関するお問い合わせ先 |

https://www.nikon-image.com/support/contact/

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/contact/

お問い合わせ時のお願い

おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象(表示されたメッセージ)」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

株式会社ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン Printed in Thailand

© 2017 Nikon Corporation

6MB40210-08